天神公民館長寿命化改修工事

設　計　図

図面リスト							
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	＜電気設備工事＞				＜電気設備工事＞		＜機械設備工事＞
A-01	特記仕様書（1）	A-26	平面詳細図　2階　和室	E-01	電気設備　特記仕様書（1）	M-01	機械設備工事　特記仕様書（1）
A-02	特記仕様書（2）	A-27	平面詳細図　1階・2階　トイレ	E-02	電気設備　特記仕様書（2）	M-02	機械設備工事　特記仕様書（2）
A-03	特記仕様書（3）	A-28	1階　天井伏図	E-03	電気設備　特記仕様書（3）	M-03	配置図
A-04	特記仕様書（4）	A-29	2階　天井伏図	E-04	凡例・配置図	M-04	衛生器具表・器具表
A-05	特記仕様書（5）	A-30	建具表（1）	E-05	単線結線図	M-05	給排水ガス設備　1階平面図（改修前）
A-06	配置図・仮設計画図	A-31	建具表（2）	E-06	照明器具姿図（1）	M-06	給排水ガス設備　2階平面図（改修前）
A-07	仕上表	A-32	建具表（3）	E-07	照明器具姿図（２）撤去　照明器具リスト	M-07	給排水ガス設備　1階平面図（改修後）
A-08	1階　平面図（改修前）	A-33	建具表（4）	E-08	１階 電灯設備図（改修後）	M-08	給排水ガス設備　2階平面図（改修後）
A-09	2階　平面図（改修前）	A-34	展開図　玄関・ホール（改修前）	E-09	２階電灯設備図（改修後）	M-09	給排水ガス設備　1階平面詳細図
A-10	1階　平面図（改修後）	A-35	展開図　玄関・ホール（改修後）	E-10	１階 電灯設備図（改修前）	M-10	給排水ガス設備　2階平面詳細図
A-11	2階　平面図（改修後）	A-36	展開図　1階　大会議室	E-11	２階 電灯設備図（改修前）	M-11	空調換気機器表
A-12	屋根伏図	A-37	展開図　1階　事務室・湯沸室	E-12	1階・2階　コンセント設備図	M-12	空調換気設備　1階平面図（改修前）
A-13	立面図（1）	A-38	展開図　2階　小会議室・調理室	E-13	弱電機器姿図	M-13	空調換気設備　2階平面図（改修前）
A-14	立面図（2）	A-39	展開図　2階　和室	E-14	1階・2階　弱電設備図	M-14	空調換気設備　1階平面図（改修後）
A-15	断面詳細図（1）	A-40	展開図　2階　廊下	E-15	1階・2階　火災報知設備図	M-15	空調換気設備　2階平面図（改修後）
A-16	断面詳細図（2）	A-41	展開図　1階　男子・女子トイレ	E-16	1階・2階　停電時電灯設備図		
A-17	断面詳細図（3）	A-42	展開図　1階　多目的トイレ・2階　トイレ				
A-18	断面詳細図（4）	A-43	スロープ手摺詳細図				
A-19	断面詳細図（5）	A-44	雑詳細図（1）				
A-20	断面詳細図（6）	A-45	雑詳細図（2）				
A-21	断面詳細図（7）	A-46	雑詳細図（3）				
A-22	平面詳細図　1階　事務室・玄関・ホール	A-47	外構図				
A-23	平面詳細図　1階　大会議室	A-48	カーテン・ブラインドリスト				
A-24	平面詳細図　2階　ホール						
A-25	平面詳細図　2階　調理実習室・小会議室						

株式会社　田端隆建築設計

工 事 特 記 仕 様 書 （ 改 修 ）

Ⅰ. 工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
Ⅱ. 工事概要
1　工事場所　三重県三重郡川越町大字豊田373-2　地内
2　敷地面積　1,136.51 ㎡
3　工事内容　–
　棟名称　天神公民館
　構造　鉄筋コンクリート造
　建築面積　天神公民館：283.567 ㎡
　延べ面積　天神公民館：495.797 ㎡
　工事項目　外壁改修・防水改修・内部改修・電気設備改修・機械設備改修・外構工事

Ⅲ. 建築改修工事仕様
1　共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書　令和6年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2　特記仕様
⑴ 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
⑵ 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
⑶ 項目欄に記載の（　）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等
1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
2）建築工事標準詳細図
　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）

② 施工条件（1.3.5）
⊙ 監督員と協議し決定する。
施工可能日　・ 指定なし
　・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
施工可能時間帯　・ 指定なし　・　時　～　時
概成工期　・ 指定なし　・　年　月　日

3 部分引渡し、部分使用
・ 部分引き渡しあり　・ 部分使用あり
指定部分（　　）
時　期（　年　月　日～　）

4 埋蔵文化財調査
埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
・ 発掘調査等の実施あり
・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

⑤ 発生材の処理等（1.3.12）
・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	⊙有　・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
その他 （　　）	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・ 引き渡しを要するもの　・ 有（　　）
・ 特別管理産業廃棄物　・ 有（　　）　処理方法（　　）
⊙ 水銀使用製品産業廃棄物　・ 有（ ・ 蛍光ランプ　・ HIDランプ　⊙（ 撤去時確認 ））
・ 現場において再利用を図るもの　（　　）
⊙ 再資源化を図るもの　⊙ コンクリート塊
　⊙ アスファルトコンクリート塊
　・ 建設発生木材

成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。

⑥ 建設副産物情報交換システムへの登録
請負金額100万円以上の工事において、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ提出すること。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑦ 三重県産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

8 電気保安技術者（1.3.3）
配置する

⑨ 技能士（1.7.2）
職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

10 施工数量調査（1.6.2）
調査範囲及び調査方法　・ 工種別の特記による

11 調査のための破壊部分の補修（1.6.3）
補修方法　・ 図示（図面番号：　）　・（　）

⑫ 建築材料等
1）　本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
2）　本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。
3）　製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。
4）　本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。
5）　本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
6）　下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
（認定製品の品名：　）
7）下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。
認定製品の品名：　・ 間伐材製工事用バリケード　・ 間伐材工事用看板　・ 間伐材標示板　・（　）

⑬ 化学物質の濃度測定（1.7.9）
測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校,教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
●	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数　⊙ 図示（図面番号：　A-7　）　・（　）
測定方法（ ⊙ パッシブ法　・ アクティブ法）
測定時期　・（　）
報告書提出部数　２部

14 特別な材料の工法
改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑮ 騒音・振動の防止
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑯ 工事写真
営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（令和3年版））に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

⑰ 完成図等
作成する　（ ⊙ 完成図　⊙ 保全に関する資料　⊙（ Ａ３製本３部・ＣＡＤデータ ））
完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

⑱ 完成写真
デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部
箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・ アルバム（大きさ335㎜×290㎜程度、カラー）　１部

⑲ 電子納品
工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数 ⊙ ３部　・　部）
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数 ⊙ ３部　・　部）

⑳ 設備工事との取合い
施工範囲
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ
施工図
⊙ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

㉑ 既存部分等への処置（1.3.13）
工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

㉒ 事故の発生時
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

㉓ 下請次数制限及び県内(管内)企業優先使用
本工事における下請の次数は、２次（建築一式工事は３次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

24 総合評価方式
本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。

㉕ 不当介入を受けた場合の措
暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１４号）を受けた場合の措置について
1）　受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１２号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2）　1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3）　受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

㉖ 消防法関係の手続き
1）　消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・本工事（ ・ 建築工事　・ 電気設備工事　・ 機械設備工事）　・ 別途工事
2）　防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

㉗ 主任技術者又は監理技術者
1）　技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
2）　専任を要しない期間
（1）　現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
（2）　検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

㉘ 工事の一時中止
工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県県土整備部）による。
三重県建設工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持･管理に関する基本的事項を明らかにする。
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

㉙ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
労働安全衛生法第30条第１項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉚ 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 Vo=34 m/s
地表面粗度区分（ ・ Ⅱ ⊙ Ⅲ）
積雪区分（　30　）cm

㉛ 火災保険等
三重県建設工事請負契約書５２条第1項の規定により,火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。
1）　保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
2）　保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間
3）　保険金額　原則として請負金額に相当する金額

㉜ 不正軽油の使用の禁止
1）　一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2）　調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3）　是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33 技術検査
中間技術検査　実施回数　・　回　実施する段階　・（　）

㉞ 保全に関する資料
⊙ ２部　・（　）

35 屋外広告物
屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第２３条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

㊱ 社会保険等未加入対策
適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

㊲ 現場での安全確保(自主施工原則)
受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

㊳ 電子メールの活用
「電子メールを活用した情報共有における実施要領　令和３年１１月」を適用する。
（三重県ＨＰ「三重県の公共事業情報」を参照）

㊴ 設計図書の照査
三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

② 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策（2.1.3）
・ 防音パネル　設置範囲　・ 図示（図面番号：　）
・ 防音シート　設置範囲　・ 図示（図面番号：　）

② 足場等（2.2.1）
足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場　⊙ 設置する（設置範囲　・ 工事に必要な範囲　・　）　・ 設置しない
防護シート　⊙ 設置する（設置範囲　・ 工事に必要な範囲　・　）　・ 設置しない
内部足場　⊙ 設置する（ ⊙ 脚立足場 ）　・ 設置しない

（表2.2.1）
材料、撤去材等の運搬方法
種別（ ・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　・ Ｅ種 ）
Ｃ種：利用可能なエレベーター（　）
Ｄ種：利用可能な階段（　）

令和4年1月2日以降に高さが５ｍ以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし､「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

3 既存部分の養生（2.3.1）
既存部分の養生　・ 図示（図面番号：　）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（　）　保管場所　・ 構内既存施設内　・（　）
固定された備品、机、ロッカー等の移動　・ 行う　・ 行わない

④ 仮設間仕切り（2.3.2）（表2.3.1）
屋内の仮設間仕切り　⊙ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
合板　厚さ　・ ９㎜　・（　）
せっこうボード　厚さ　・9.5㎜　・（　）
合板又は石こうボードの塗装　・ 行う　・ 行わない
仮設扉　設置箇所　⊙ 図示（図面番号：　A-51　）　仕様　・ 合板張り木製扉　・（　）

③ 防水改修工事

⑤ 監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する

監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6 監督員事務所の設備、備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話　FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑦ 仮設便所
構内既存の施設　- 利用できる　⊙ 利用できない

⑧ 工事用水
構内既存の施設　⊙ 利用できる（ ⊙ 有償 ・ 無償）・ 利用できない

⑨ 工事用電力
構内既存の施設　⊙ 利用できる（ ⊙ 有償 ・ 無償）・ 利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑩ 交通誘導警備員
配置　⊙ 図示（図面番号： A-06 ）

1 既存防水層の処理
(3.1.4)
(3.2.6)

既存保護層（立上り部等）の撤去
・行う（・ＰＯＤ ・ＰＯＤＩ ・ＰＯＡＳ ・ＰＯＡＳＩ ・ＰＯＳ ・ＰＯＳＩ ・ＰＯＸ）
⊙行わない

既存防水層（立上り部等）の撤去
⊙行う（・ＰＯＤ ・ＰＯＤＩ ・ＰＯＡＳ ・ＰＯＡＳＩ ・ＰＯＳ ・ＰＯＳＩ ・ＭＡＳ ・ＭＡＳＩ ・Ｓ４Ｓ ・Ｓ４ＳＩ ・ＰＯＸ）
・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
⊙行う（・Ｍ４ＡＳ ・Ｍ４ＳＩ ・Ｍ４Ｃ ・Ｍ４ＤＩ ・Ｌ４Ｘ ）
・行わない

2 既存下地の処理
(3.2.6)

既存下地の補修箇所の計上、長さ、数量等　・図示（図面番号：　）・（　）

ＰＯＳ工法、ＰＯＳＩ工法（機械固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
・改修標準仕様書[3.2.6(4)(ウ)(g)①～③]　・（　）

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口等及び防水層末端部の納まり部の処理　・監督員と協議する　・（　）

3 アスファルト防水
(3.3.2)～(3.3.5)
(表3.3.3)～(表3.3.10)

押え金物の材質、形状及び寸法
・アルミニウム製（Ｌ－３０×１５×２．０mm程度）　・（　）

屋根保護防水
防水層の種類

工法	種 別	断熱材の厚み	絶縁用シート	立上り部 保護	立上り部 断熱材、絶縁ｼｰﾄ
・Ｐ２Ａ	・Ａ－１ ・Ａ－２ ・Ａ－３		・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(0.15mm以上) ・ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ(70kg/㎡程度) ・（　）	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ・モルタル押え	
・ＰＩＢ	・Ｂ－１ ・部分粘着 ・砂付 ・Ｂ－２ ・部分粘着 ・砂付				
・Ｐ２ＡＩ	・Ａ－１－１ ・Ａ－１－２ ・Ａ－１－３	・（　mm）	・ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ(70kg/㎡程度) ・（　）		・設置する ・設置しない
・Ｐ１ＢＩ	・Ｂ－１ ・部分粘着 ・砂付 ・Ｂ－２ ・部分粘着 ・砂付				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書　表3.3.3から3.3.9までによる　・（　）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書　表3.3.3から3.3.9までによる　・（　）

平場の保護コンクリート
こて仕上げ　厚さ　・水下80mm以上　・（　）
平坦さ　・a種　・b種　・c種
床タイル張り　厚さ　・水下60mm以上　・（　）
屋根排水溝　・図示（図面番号：　）

屋根露出防水
防水層の種類

工法	種別	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備 考
・Ｍ４Ｃ	・Ｃ-1 ・Ｃ-2 ・Ｃ-3 ・Ｃ-4		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	
・Ｍ３Ｄ ・ＰＯＤ	・Ｄ-1 ・Ｄ-2		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置 ・設ける　・設けない
・ＰＯＤＩ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・ＤＩ-1 ・ＤＩ-2	種類（　） 厚さ（　）	・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	改修用ドレン ・設ける　・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　・アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・（　）　設置数　・（　）
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　・図示（　）

屋内防水
防水層の種類

工法	種別	保護層
・Ｐ１Ｅ	・Ｅ－１	・設ける
・Ｐ２Ｅ	・Ｅ－２	・設ない

Ｅ－１の工程３を行う部位　・貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・（　）

4 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)
(3.4.3)
(表3.4.1)～(表3.4.3)

防水層の種類

工法	種別	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用料	備 考
・Ｍ４ＡＳ	・ＡＳ－Ｔ１ ・ＡＳ－Ｔ２ ・ＡＳ－Ｊ２		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	
・Ｍ３ＡＳ ・ＰＯＡＳ	・ＡＳ－Ｔ３ ・ＡＳ－Ｔ４ ・ＡＳ－Ｊ１ ・ＡＳ－Ｊ３		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける　・設けない
・Ｍ３ＡＳＩ ・Ｍ４ＡＳＩ ・ＰＯＡＳＩ	・ＡＳＩ－Ｔ１ ・ＡＳＩ－Ｊ１	種類（　） 厚さ（　）	・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける　・設けない 防湿層　・設ける　・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書　表3.4.1から3.4.3までによる　・（　）

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書　表3.4.1から3.4.3までによる　・（　）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書　表3.4.1から3.4.3までによる　・（　）

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
数量　・改質アスファルトシートの製造所の指定　・（　）
設置数量　・改質アスファルトシートの製造所の指定　・（　）

屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない

押え金物の材質、形状及び寸法　・アルミニウム製　Ｌ-30×15×20mm程度　・（　）

5 合成高分子系シート防水ルーフィング
(3.5.2)～(3.5.4)
(表3.5.1)～(表3.5.3)

屋根防水
防水層の種類

工法	種別	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用料	備 考
・ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ	・Ｓ-Ｆ1 ・Ｓ-Ｆ２ ・Ｓ-Ｍ１ ・Ｓ-Ｍ２		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける　・設けない
・Ｓ３Ｓ	・Ｓ-Ｆ1 ・Ｓ-Ｆ２		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない
・Ｍ４Ｓ	・Ｓ-Ｍ１ ・Ｓ-Ｍ２		・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	
・ＰＯＳＩ ・Ｓ３ＳＩ ・Ｓ４ＳＩ ・Ｍ４ＳＩ	・ＳＩ－Ｆ1 ・ＳＩ－Ｆ２ ・ＳＩ－Ｍ１ ・ＳＩ－Ｍ２	種類（　） 厚さ（　）	・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける　・設けない

ルーフィングシートの厚み（Ｓ-Ｆ2、Ｓ-Ｍ2）
・軽歩行（・ＰＯＳ　・Ｓ４Ｓ　・Ｓ３Ｓ　・Ｍ４ＳＩ ）
・非歩行（・ＰＯＳ　・Ｓ４Ｓ　・Ｓ３Ｓ　・Ｍ４ＳＩ ）

防湿用フィルム（ＳＩ－Ｆ２、ＳＩ－Ｍ２）　・設置する　・設置しない

ルーフィングシートの種類及び厚さ　・改修標準仕様書　表3.5.1～3.5.3までによる　・（　）

絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質　・発泡ポリエチレンシート　・（　）

固定金具の材質及び寸法形状
・厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又は樹脂積層加工した鋼板　・（　）

脱気装置の種類及び設置数量　・ルーフィングシートの製造所の仕様　・（　）

接着工法の目地処理　・プレキャストコンクリート下地（・　）

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）　・行う　・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（　）倍の風圧力に対応した工法

屋内防水
防水層の種類

工法	種別	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタルの塗厚
・Ｐ1Ｓ	Ｓ－Ｃ１		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	・7mm以上 ・（　）

床塗りの場合の床の目地
目地割り（・２㎡程度　最大目地間隔３m程度　・　）
目地の種類（・押し目地　・　）

6 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)～(表3.6.3)

屋根防水
防水層の種類

工法	種別	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用料	備 考
・ＰＯＸ	・Ｘ－１ ・Ｘ－１Ｈ ・Ｘ－２ ・Ｘ－２Ｈ	・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける　・設けない
・Ｌ４Ｘ	・Ｘ－１ ・Ｘ－１Ｈ ・Ｘ－２ ・Ｘ－２Ｈ	・製造所の仕様 ・（　）	・製造所の仕様 ・（　）	脱気装置　・設ける　・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
・主材料の製造所の仕様　・（　）

屋内防水
防水層の種類

工法	種別	保護層
・Ｐ１Ｙ	・Ｙ－２	・設ける　・設けない
・Ｐ２Ｙ	・Ｙ－２	・設ける　・設けない

7 シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
⊙ SR-1	シリコーン系	ガラス廻り、面台取合
⊙ MS-2	変成シリコーン系	建具廻り、金物取合
・ PS-2	ポリサルファイド系	
⊙ PU-2	ポリウレタン系	外壁目地

(3.7.4～7)
工法
⊙ シーリング充填工法　⊙ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法　・ ブリッジ工法

(3.7.8)
シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　・ 行わない

8 とい
(3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2)

材種　⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）　・ 配管用鋼管（白管）
・（　）

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工法　・ 図示（図面番号：　）

9 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(3)(表3.9.1)
(3.9.3)(2)
(3.9.2)(4)
(3.9.3)

部材の種類
・ 押出し250形　・ 押出し300形
・ 押出し350形　⊙ 板材折曲げ形（本体幅（300～500 ）mm、板厚 ・ 2.0mm　⊙（既設同等とする））

固定金具の間隔（　mm）
固定方法　⊙（ 既設同等とする ）
表面処理　⊙（ 陽極酸化皮膜　A2種 ）
工法　既存笠木等の撤去　・ 図示（図面番号：　）
下地補修の工法　・ 図示（図面番号：　）
板材折曲げ形の笠木の取付方法　・ 図示（図面番号：　）
笠木固定金具の工法　・ 図示（図面番号：　）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

④ 外壁改修工事

1 施工数量調査

⊙ 行う　・ 行わない
調査範囲　⊙ 全面　・（　）
調査項目　⊙ ひび割れ部（・ 幅0.2mm　・ 0.2mm～1.0mm　・ 1.0mm以上）
⊙ はがれ及びはく落部分
⊙ 浮き部
調査方法　⊙ 打診、目視及びクラックスケール等（ ⊙ 足場　・ ゴンドラ）
報告書　２部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
⊙ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	⊙ 樹脂注入工法
	欠損部	⊙ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ⊙ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

3 改修工法等

(4.2.4)(1)
(4.2.5)
(4.3.6)
(4.4.6)
⊙ 樹脂注入工法
種類 ⊙ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法　注入量（　）注入間隔（　）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法　注入量（　）注入口間隔（　）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法　注入量（　）注入口間隔（　）
コア抜取検査　・ 行う　・ 行わない
・ 抜取り個数（　）　・ 抜取り部分補修方法（　）

(4.2.4)(2)
(4.2.6)
(4.3.7)
⊙ Ｕカットシール材充填工法
材料 ⊙ シーリング用材充填　（ ・ＰＵ－１　⊙ ＰＵ－２　・（　））
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う　・ 行わない

(4.2.4)(3)
(4.2.7)
(4.3.8)
・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂　・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.4)(4)
(4.2.8)
(4.3.9)
・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル　・ ポリマーセメントモルタル

(4.3.5)(5)
(4.3.10)
・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料　・ 既調合材料
・ 既製目地材の適用及び形状（　）　・ 仕上げ厚（　）

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　Ａ３ ： No Scale
DATE　Ｒ７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　工事特記仕様書２

A-02
原図：A3

(4.3.5)(6)
(4.3.11)(4.4.9)
(図4.3.1)

- アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
  アンカーピンの本数 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）

(4.3.5)(6)
(4.3.12)(4.4.10)
(図4.3.2)

- アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
  アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）

(4.3.5)(6)
(4.3.13)(4.4.11)
(図4.3.2)

- アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
  アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）

(4.3.5)(7)
(4.3.14)(4.4.12)
(図4.3.3)

- 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
  注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）
  呼び径 ・ ６㎜ ・（　　）

(4.3.5)(7)
(4.3.15)(4.4.13)
(図4.3.4)

- 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
  注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）
  呼び径 ・ ６㎜ ・（　　）

(4.3.5)(7)
(4.3.16)(4.4.14)
(図4.3.4)

- 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
  注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・（　　）
  材料 ・ ポリマーセメントスラリー（　　）
  ・ 注入口付アンカーピン（ ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　））
  呼び径 ・ ６㎜ ・（　　）

(4.4.15)

- 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定法
  注入口付アンカーピンの本数 ・（　　）
  材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（　　）
  呼び径 ・ ６㎜ ・（　　）

(4.4.5)

タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法
材料

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・役物（・一体成型 ・接着加工）

外壁タイル接着張りのシーリング材
打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ・（　　）
伸縮調整目地及びその他の目地 ・（　　）

(4.4.7)

- タイル部分張替え工法
  張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
  ・ 接着剤（一液反応硬化形変成シリコーン樹脂）（目地詰め ・有り ・無し ）
  一か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える箇所 ・有り ・無し

(4.4.5)
(4.4.8)
(表4.4.2)

⊙ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法		備考
⊙ 外装 タイル	小口平二丁掛100角	・ 密着張り		・現場調合モルタル
		⊙ 改良圧着張り		⊙既調合モルタル
	小口以上二丁掛け以下	・ 接着剤張り		目地詰め ・有り ・無し
・ ユニットタイル	50二丁掛以下	・ マスク張り		・現場調合モルタル
		・ モザイクタイル貼り		・既調合モルタル
		・ 接着剤張り		目地詰め ・有り ・無し

(4.4.8)(3)
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ⊙ 行う ・ 行わない

(4.4.8)(8)
有機系接着剤張りのコンクリート素地面の下地処理の方法 ・（　　）
下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない

(4.4.5)(5)
(4.4.16)

- 目地ひび割れ部改修工法
- 伸縮調整目地改修工法
  伸縮調整目地 （位置 寸法 × ）
  検査 シーリング接着性試験 ・ 行う（ ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ）

④ 塗り仕上げ
(4.5.4)

既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
⊙ サンダー工法	外壁
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
⊙ 水洗い工法（⊙ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ）	外壁 タイル面、金属仕上

(4.5.5)
下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・（　　）

(4.5.2)
(表4.5.1(その1)
(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法	備考
薄付け仕上塗材	⊙ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて	
		・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー	
		⊙着色骨材砂壁状	⊙ 吹付け ・ こて	
	・（　　）	・（　　）	・（　　）	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	上塗材 ・セメントスタッコ ・（　　）
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー	
複層仕上塗材	・ 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー	耐候性 ・耐候形３種 ・（　　）
		・ 凸部処理 ・ 凹凸状	吹付け	
	・（　　）	・（　　）	・（　　）	
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー	耐候性 ・耐候形３種 ・（　　）
		・ ゆず肌状	吹付け	

(4.6.2)(表4.6.1)
・ マスチック塗材塗り ・ Ａ種 ・ Ｂ種

(表4.5.2)
複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無

（注） 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(表4.7.1)
外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法	仕上塗料	下地挙動緩衝材
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	種類 ・（　　）	・ 適用する
	・ 凸部処理			・ 適用しない
	・ ゆず肌状	・ ローラー	耐候性 ・（　　）	
	・ さざ波状			

⑤ 建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)

⊙ かぶせ工法
⊙ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法
⊙ 撤去工法
⊙ はつり工法 ・ 引抜き工法

② 防火戸
(5.1.4)

・ 例示仕様 ・ 個別認定（認定番号： ）
・ 自動閉鎖機構 ・ 図示（図面番号： ）

③ 見本の製作
(5.1.5)

・ 製作する ・ 製作しない

④ 防犯建物部品
(5.1.7)

・ 図示（図面番号： ）

⑤ ブラインドボックス等
(5.1.6)(3)

⊙ 再使用する ・ 再使用しない

⑥ アルミニウム製建具
(5.2.2)(5.2.4)
(表5.2.1)
(表5.2.2)

外部建具の性能等級等 ・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・ 結露水の処理方法 ・ 図示（図面番号： ）

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・ 外部に面する建具（過酷な環境の屋外）
・ BA-1 ・ BA-2 ・（　　）
⊙ 外部に面する建具（一般的な環境の屋外）
⊙ BB-1 ・ BB-2 ・（　　）
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・（　　）

⑦ 網戸
(5.2.3)(5)

・ 可動式 ・ 固定式
防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製
網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

⑧ 樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)

外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・ 日射熱取得性（等級 ）

ガラス ・ 複層ガラス ・（　　）
建具枠見込寸法 ・ 図示（図面番号： ）
水切り ・ 図示（図面番号： ）
ぜん板 ・ 図示（図面番号： ）
丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示（図面番号： ）

⑨ 鋼製建具
(5.4.2)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・ 耐震ドアセット（等級 ）

(5.4.4)
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示（図面番号： ）
・ くつずりの仕上げ ・ ＨＬ ・（　　）

(5.4.6)
標準型鋼製建具

形式	幅(mm)		高さ(mm)
片開き	・ 900	・ 950	・ 2000
親子開き	・ 1200	・ 1250	・ 2100
両開き	・ 1800	・ 1900	

⑩ 鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・ 耐震ドアセット（等級 ）
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示（図面番号： ）

表面仕上げ
⊙ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板（ ・ＨＬ ・鏡面 ）・（　　）

⑪ ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2)

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・ 耐震ドアセット（等級 ）

(5.6.3)
材料 ・ SUS304 ・（　　）
(5.6.4)
表面仕上げ ・ HL仕上げ ・（　　）
(5.6.5)
曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

⑫ 木製建具
(5.7.2)

含水率 ・ Ａ種 ・ Ｂ種
・フラッシュ戸 表面材 ・（　　）
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・（　　）
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・（　　）
・ ＭＤＦ 表裏面の状態による区分 ・（　　）
曲げ強さによる区分 ・（　　）
接着剤による区分 ・（　　）
難燃性による区分 ・（　　）
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
・かまち戸 見込み寸法 ・ 36㎜ ・（　　）
かまち及び鏡板の樹種 ・（　　）
⊙ふすま 見込み寸法 ・ 19.5㎜ ・（　　）
種別 ・ Ｉ種 ・ Ⅱ種
ふすま紙の上張り種類 ⊙ （図示 ）
縁の仕上げ ・（　　）
・戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30㎜ ・（　　）
表面材 ・（　　）
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・（　　）
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・（　　）
・ ＭＤＦ 表裏面の状態による区分 ・（　　）
曲げ強さによる区分 ・（　　）
接着剤による区分 ・（　　）
難燃性による区分 ・（　　）
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
上張りの種類 ・（　　）
⊙紙張り障子 見込み寸法 ・ 30㎜ ⊙ （ 強化障子 ）
枠及びくつずりの材料 ・（　　）

⑬ 建具用金物
(5.8.2)

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による
・ 図示（図面番号： ）
(5.8.4)
マスターキー ⊙ 製作する ・ 製作しない
⊙ 既設内部建具のドアノブ（MIWA145SP）を改修
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

⑭ 自動ドア開閉装置
(5.9.2)
(5.9.3)(表5.9.4)
(5.9.3)(9)

駆動装置及び検出装置の性能値（ ・ 車椅子使用者用便房出入口用 ）
・ 図示（図面番号： ）
引き戸用検出装置の種類 ・ 図示（図面番号： ）
凍結防止措置 ・ あり ・ なし

⑮ 自閉式上吊り引戸装置
(5.10.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ 改修標準仕様書(表5.10.1)による ・（　　）

⑯ 重量シャッター
(5.11.2)

種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
耐風圧強度（ Pa以上）
(5.11.2)(3)
(表5.11.1)
開閉機能
・ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
(5.11.2)(6)
(5.11.3)
管理用重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・（　　）

⑰ 軽量シャッター
(5.12.2)
(表5.12.1)
(5.12.3)
(5.12.4)

開閉形式 ・ 上部電動式（手動併用） ・ 手動式
耐風圧強度（ Pa以上）
スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・（　　）
JIS G 3322 ・ AZ90 ・（　　）

⑱ オーバーヘッドドア
(5.13.2)

型式及び機構
セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度（ Pa以上）
開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形
(5.13.3)
ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

⑲ 板ガラス
(5.14.2)(1)(5.14.3)

⊙ 図示（図面番号： A-30～33 ）

⑳ ガラス留め材
(5.14.2)(2)

⊙ シーリング ・ ガスケット（　　）

㉑ ガラス溝のすき間、形状等
(5.14.3)

・ 図示（図面番号： ）
⊙ 建具の製造所の仕様による

㉒ ガラスブロック積み
(5.14.5)

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示（図面番号： ）
金属枠、補強材 ・ 図示（図面番号： ）
化粧カバー ・ 図示（図面番号： ）
工法 ・ 図示（図面番号： ）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥ 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3)(2)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
⊙ 天井	⊙ 図示（図面番号：28・29 ）
⊙ 壁	⊙ 図示（図面番号：26・27 ）
⊙ 床	⊙ 図示（図面番号：27 ）

(6.1.3)(3)
天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ⊙ 図示（図面番号：27 ） ・（　　）
(6.1.3)(5)
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示（図面番号： ） ・（　　）

② 既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(1)(ｱ)
(6.2.2)(1)(ｲ)

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ⊙ 行う ・ 行わない
合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

③ 既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・（　　）

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１ 一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ ： No Scale
DATE R７，３

工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称 工事特記仕様書３

A-03
原図：A3

4 木下地等

(6.5.2)(1)(イ)
(表6.5.1)

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種別
下地材	⊙ Ａ種 ・ Ｂ種
造作材	・ Ａ種 ・ Ｂ種

(6.5.2)(2)(ア)

製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用 針葉樹製材	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）
造作用 針葉樹製材	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）
広葉樹製材	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）

(6.5.2)(2)(イ)
(6.5.2)(2)(ウ)
(表6.5.2)

「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ）
造作材の材面の品質 ・ Ａ種 ・（ ）
樹種

(6.5.6)(1)
(6.5.7)(1)
(6.5.8)(1)
(6.5.9)(1)

部位	樹種	県産材
・内部間仕切軸組、床組		
・窓、出入口		
・床板張り		
・壁、天井下地		

(6.5.2)(3)(ア)

造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位	品名・樹種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）	
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）
化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 （図面番号： ）		・（ ）

(6.5.2)(3)(イ)

「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・ １５％以下 ・（ ）

(6.5.2)(4)(ア)

造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）	・（ ）

(6.5.2)(4)(イ)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・ １４％以下 ・（ ）

(6.5.2)(5)

「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板
品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）

(6.5.2)(6)

・ 合板等

品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.3)(1)

接合具等
造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ （ ）

(6.5.3)(2)

諸金物
形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）

(6.5.5)(1)

・ 防腐、防蟻処理
適用部位 図示（図面番号： ）
保存処理性能区分（ ）
薬剤の塗布等の処理方法（ ）
附属書Ａに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（ ・薬剤の種類（ ） ・ 適用部材（ ））
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）

(6.5.5)(2)

・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）

5 軽量鉄骨天井下地

(6.6.2)
(表6.6.1)
(6.6.3)

野縁等の種類
⊙ 屋内 ⊙ 19形 ・（ ）
⊙ 屋外 ⊙ 25形 ・（ ）
形式及び寸法
・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ）
・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ）
・ ふところ≧3.0m ・ 図示（図面番号： ）

(6.6.4)

既存埋込みインサート ⊙ 使用する ・ 使用しない （※使用する場合は、確認試験を行う）
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験
・ 行う（ 図示（図面番号： ））） ・ 行わない
⊙ 確認試験の箇所数（ 3 箇所） ・ 確認強度（ 400N ）
耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）

6 軽量鉄骨壁下地

(6.7.3)

スタッド、ランナー等の種類
⊙ 図示（図面番号：A-26・27）

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

(6.8.2)
(6.8.2)(1)

材料
⊙ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
ＦＳ	プレーン	2.0mm	抗菌

(6.8.2)(2)

・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考
ＫＴ			2.0mm	

(6.8.2)(3)(ア)(イ)

・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	寸法	厚さ	備考

(6.8.2)(3)(ウ)

・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(3)(エ)

・ 耐動荷重性床シート

種類	厚さ	備考

(6.8.2)(3)(オ)(ハ)

⊙ 防滑性床シート又は床タイル

種類	寸法	厚さ	備考
防滑性床材	プレーン	2.5mm	抗菌

(6.8.2)(5)

・ ゴム床タイル

種類	色柄	寸法	厚さ	備考

(6.8.3)(1)

工法
下地 ⊙ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他（ ）

(6.8.3)(2)(ウ)

ビニル床シート張り
熱溶接工法 ⊙ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き

(6.9.2)(1)
(表6.9.1)

・ 織じゅうたん

種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種	・ 毛 ・ 紡糸 ・（ ）	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・（ ）	・ 無地 ・ 柄物

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.2)(2)
(表6.9.2)

・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・（ ）

(6.9.2)(3)
(表6.9.2)

・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（ ）	・6.5 ・（ ）	・（ ）

(6.9.2)(4)
(6.9.2)(5)

下敷き材 ・ 第２種第１号、厚さ８mm ・（ ）
見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号： ））

(6.9.3)(3)

織じゅうたんの接合方法
・ ヒートボンド工法 ・ （ ）

(6.9.3)(5)

タイルカーペットの敷き方

平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）

⊙ ニードルパンチカーペット

9 合成樹脂塗床

(6.10.3)(2)(ア)
（表6.10.4）
(6.10.3)(2)(イ)
(6.10.3)(3)
（表6.10.5）～
（表6.10.8）

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
・ 薄膜流しのべ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 厚膜流しのべ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 薄膜型塗床仕上げ（・ 平滑）

10 フローリング張り

(6.11.4)
（表6.11.2）

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード（根太張用） ・ フローリングボード（直張用）		・ なら ・（ ）
・ 複合フローリング（根太張用） ・ 複合フローリング（直張用）	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種	

防湿処理 ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.5)
（表6.11.5）
（表6.11.6）

・ 接着工法

材種	樹種	厚さ	幅・長さ
・ フローリングボード（直張用）	・ なら ・（ ）		
・ 複合フローリング（直張用） ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種			
・ フローリングブロック（直張用）			

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.6)

塗替え
下地調整 ・ （ ）
塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種） ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り ・（ ）

11 畳敷き

(6.12.2)
（表6.12.1）

種別 ⊙ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種
・ Ｄ種の畳床 ＫＴ－（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ｋ ・Ｎ ）
衝撃緩和型畳の畳表（ＪＩＳ Ａ 5902） ・ Ｃ１ ・ Ｃ２

12 せっこうボード、その他ボード及び合板張り

(6.13.2)
（表6.13.1）

材種	種別	厚さ(mm)	
⊙ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃)	⊙ 12.5(不燃)
		天井 ⊙ 9.5(準不燃)	・ 12.5(不燃)
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ トラバーチン模様	⊙ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	
	⊙ 木目模様	⊙ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	⊙ 12.5(不燃)
⊙ ロックウール化粧吸音板	⊙ 普通	・ 9(　)	⊙（ 12 ）
	⊙ 立体模様	・ 9(　)	⊙（ 19 ）
⊙ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	・ 5	⊙ 6(化粧)
・ 強化せっこうボード		・ 12.5	

(6.13.3)(4)(ウ)

合板類の張付け ⊙ Ａ種 ・ Ｂ種

(6.13.3)(7)(ア)
（表6.13.5）

せっこうボードの目地工法
・ 継目処理 ⊙ 突付け（・ベベルエッジ ・スクエアエッジ） ・ 目透し（・ベベルエッジ ・スクエアエッジ）

13 壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能
各室	ビニルクロス	⊙ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

(6.14.3)

素地ごしらえ

下 地	種 別
モルタル、せっこうプラスター面	・ Ａ種 ・ Ｂ種
コンクリート面	⊙ Ａ種 ・ Ｂ種
せっこうボード面	⊙ Ａ種 ・ Ｂ種

14 モルタル塗り

(6.15.3)
(6.15.5)
(6.15.6)

モルタル ・ 現場調合材料 ⊙ 既調合材料
既製目地材 ・ 使用する（形状： ）
床の目地 ・ 図示（図面番号： ）
下地処理 ⊙ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）

15 タイル張り

(6.16.2)
(6.16.3)

伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号： ）

タイルの種類

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

(6.16.3)(2)

試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

(6.16.3)(5)

壁タイル張りの工法
・ 内装タイル（ ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ）
・ ユニットタイル（ ・ マスク張り ・モザイクタイル張り ）

16 セルフレベリング材塗り

(6.17.2)(6.17.3)

・ せっこう系 ・ セメント系
塗厚（ ）mm

17 断熱材

(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3)

断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ Ａ種１ ・ Ａ種１Ｈ ・（ ）	・（ ）	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（ ）

7 塗装改修工事

1 材料
(7.1.3)

・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

2 下地調整

(7.2.1～7.2.7)
（表7.2.1）～
（表7.2.7）

既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
・ 図示（図面番号： ）

種別（改修面）

下地	種別	ひび割れ部の補修
⊙ 木部	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
⊙ 鉄鋼面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ モルタル、せっこうプラスター面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ 押出成形セメント板面、コンクリート面（DP塗装）	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
⊙ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	

3 素地ごしらえ

(7.3.1～7.3.7)
（表7.3.1）～
（表7.3.7）

種別（新規面）

下地	種別
・ 木部	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ 鉄鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ モルタル、せっこうプラスター面	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ 押出成形セメント板面、コンクリート面（DP塗装）	・ Ａ種 ・ Ｂ種
⊙ せっこうボード、その他ボード面	・ Ａ種 ⊙ Ｂ種

4 錆止め塗料塗り

(7.4.2) (7.4.3)
（表7.4.3）～
（表7.4.5）

錆止め塗料種別
鉄鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 亜鉛めっき鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 亜鉛めっき鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

(7.5.3～7.5.4)
（表7.5.1）～
（表7.5.3）

塗料種別 ・ １種 ・（ ）
種別

下地	種別
⊙ 木部	・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
⊙ 鉄鋼面	・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

6 クリヤラッカー塗り(CL)

(7.6.2)（表7.6.1）

種別
木部 ・ Ａ種 ⊙ Ｂ種

7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)

(7.7.2)（表7.7.1）

種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種

8 耐候性塗料塗り(DP)

(7.8.2)～
(7.8.4)
（表7.8.3）

上塗り等級 ・ １級（フッ素系） ⊙ ２級（シリコン系） ・ ３級（ポリウレタン系）

下地	種別
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ Ａ－１種 ・ Ａ－２種 ・ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種 ・ Ｃ－１種 ・ Ｃ－２種

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１ 一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ ： No Scale
DATE R７，３

工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称 工事特記仕様書４

A-04
原図：A3

９　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
鉄鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

⑩　合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

種別
・　Ａ種　⊙　Ｂ種　・　Ｃ種
しみ止め　・（　　）

１１　ウレタン樹脂ワニス塗り
(UC)
(7.11.2)
(表7.11.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種
工程１の着色　・　適用する　・　適用しない

１２　ステイン塗り
(7.12.2)
(表7.12.1)

種類　・　ピグメントステイン塗り　・　オイルステイン塗り
オイルステイン塗りの工程、塗料　・　（　　）

１３　木材保護塗料塗り(WP)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

⑨　環境配慮改修工事

①　石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

施工調査
⊙　石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。

調査範囲　・　図示（図面番号：　　）　⊙（含有の可能性のある建材）
貸与資料　（　　）

⊙　分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・　JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第１部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）による
・　JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第２部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）による
・　JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第３部:アスベスト含有率のＸ線回析定量分析方法)による
・　JIS A 1481-4(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第４部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法）による

材料名	定性分析	定量分析
	・　箇所数（　　）	・　箇所数（　　）
	・　箇所数（　　）	・　箇所数（　　）
	・　箇所数（　　）	・　箇所数（　　）
	・　箇所数（　　）	・　箇所数（　　）

※事前調査の結果は「石綿事前調査結果報告システム」を利用し、関係官庁への報告を行うこと。

サンプル数　　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・　図示（図面番号：　　）　・　（　　）

・　石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 （各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	計　　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	計　　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	計　　点
・	測定４		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計　　点
・	測定５		処理作業室外（敷地境界）	計　　点
・	測定６	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	計　　点
・	測定７	処理作業後シート撤去後１週間以降	処理作業室内	計　　点
・	測定８		調査対象室外部の付近	計　　点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1　・（　　）	・5　・（　　）	・10　・（　　）
試料の吸引時間(min)	・5　・（　　）	・120　・（　　）	・240　・（　　）

(9.1.3)
・　石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去工法　・　改修標準仕様書9.1.3(2)(ｱ)による　・（　　）
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・　湿潤化　・　固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.4)
・　石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去方法　・　改修標準仕様書9.1.4(1)による　・（　　）
除去した石綿含有保温材等の処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.5)
⊙　石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　⊙　事前調査により除去範囲を決定する
石綿含有せっこうボードの処分
⊙　埋立処分（管理型最終処分場）
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・　埋立処分（安定型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.6)
・　石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去方法　・　（　　）
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）
汚泥としての処理　・　必要　・　不要
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。

⊙　除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士　№３５２５５１　田端　進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　Ａ３　：　No Scale
DATE　Ｒ７，３

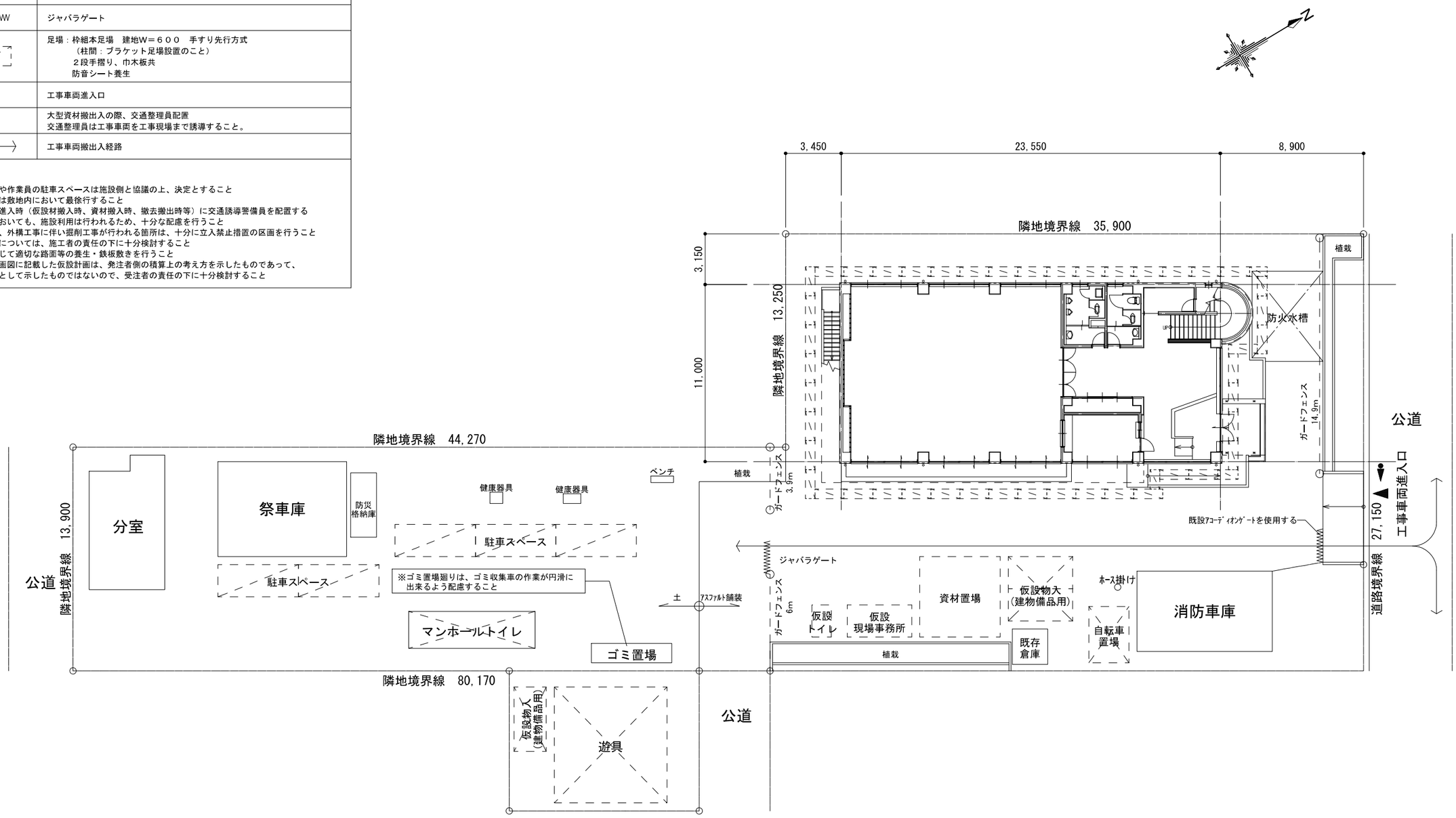
工事名称　天神公民館　長寿命化改修工事
図面名称　工事特記仕様書５

A-05
原図：A3

凡 例	
⊖ ― ― ⊖	仮囲：ガードフェンス（目隠シ型）Ｈ＝１，８００
WWWWW	ジャバラゲート
	足場：枠組本足場　建地Ｗ＝６００　手すり先行方式 （柱間：ブラケット足場設置のこと） ２段手摺り、巾木板共 防音シート養生
▼	工事車両進入口
↓	大型資材搬出入の際、交通整理員配置 交通整理員は工事車両を工事現場まで誘導すること。
⟷	工事車両搬出入経路

●特記事項

※仮設計画や作業員の駐車スペースは施設側と協議の上、決定とすること
※工事車両は敷地内において最徐行すること
※大型車両進入時（仮設材搬入時、資材搬入時、撤去搬出時等）に交通誘導警備員を配置する
※工事中においても、施設利用は行われるため、十分な配慮を行うこと
※設備工事、外構工事に伴い掘削工事が行われる箇所は、十分に立入禁止措置の区画を行うこと
※仮設計画については、施工者の責任の下に十分検討すること
※必要に応じて適切な路面等の養生・鉄板敷きを行うこと
※本仮設計画図に記載した仮設計画は、発注者側の積算上の考え方を示したものであって、
施工条件として示したものではないので、受注者の責任の下に十分検討すること



備考		設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−06
	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１−８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	Ａ３ ： 1/250 DATE Ｒ７，１	図面名称	配置図・仮設計画図（参考）	原図：A3

外部仕上表

屋根	改修前	W角はぜ横葺き屋根t0.5 ﾌｯ素樹脂塗装鋼板
	改修後	屋根：【下地処理の上、塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 断熱絶縁工法】 役物共改修 (田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ﾋﾟｭｰﾄｯﾌﾟ防水 VIT-M920G同等品 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t 50)
屋根 (玄関庇)	改修前	ｱﾙﾐ電解発色 t 1.5【既設のまま】
	改修後	－
軒樋	改修前	ﾓﾙﾀﾙ下地、塗膜防水 t 2【既存防水層撤去】
	改修後	【下地調整の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】(※X-2工法)
軒樋笠木	改修前	ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)W=200【撤去】
	改修後	ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)W=200【新設】
バルコニー	改修前	床：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水【防水層ｻﾝﾀﾞｰ掛け】
	改修後	【下地調整の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】(※X-2工法)

外壁・巾木	改修前	小口ﾀｲﾙ貼
	改修後	【水洗い(高圧ポンプ)の上、撥水処理仕上】
見付・下端 上げ裏	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、外装薄塗材E
	改修後	【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
(玄関庇) 笠木・幕板	改修前	ｱﾙﾐ電解発色 t 1.5
	改修後	【下地調整の上、DP塗装】
屋外階段	改修前	踏面・蹴上面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上、ｻﾂﾗ巾木：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上、段鼻：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ 手摺壁(内外共)・手摺壁笠木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 外装薄塗材Ｅ 上げ裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 外装薄塗材Ｅ
	改修後	踏面・蹴上面：【水洗い(高圧ポンプ)】、ｻﾂﾗ巾木：【水洗い(高圧ポンプ)】、段鼻：【水洗い(高圧ポンプ)】 手摺壁(内外共)・手摺壁笠木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材E】 上げ裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】

飾桝	改修前	玄関庇 竪樋部：塩ビ製【撤去】
	改修後	玄関庇 竪樋部：塩ビ製【新設】
ポーチ	改修前	床：モルタル下地、磁器質タイル 100角【既設のまま】、軒天：アルミスパンドレル【撤去】
	改修後	床：タイル破損部【モルタル下地、磁器タイル 100角 補修】、軒天：アルミスパンドレル【新設】
ドレン	改修前	軒樋部：鋳鋼製ﾄﾞﾚﾝ 100φ【撤去】、ﾊﾞﾙｺﾆｰ部：中間ﾄﾞﾚﾝ 鋳鋼製 100φ【撤去】
	改修後	軒樋部：軒樋部：改修用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ 100φ【新設】、ﾊﾞﾙｺﾆｰ部：中間ﾄﾞﾚﾝ 鋳鋼製ﾘｯﾌﾟﾄﾞﾚﾝ 100φ【新設 中継用】
樋	改修前	竪樋：VP普 101.6×2【撤去】 支持金物・飾り桝共
	改修後	竪樋：VP普 φ100【新設】 支持金物・飾り桝共
スロープ	改修前	ｽﾛｰﾌﾟ床：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ貼【既設のまま】
	改修後	ｽﾛｰﾌﾟ床：タイル破損部【モルタル下地、磁器ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ 100角 補修】、玄関・屋外ｽﾛｰﾌﾟ：ｽﾛｰﾌﾟ手摺【新設】

内部仕上表

階	室名		床	巾木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
1階	玄関	改修前	磁器ﾀｲﾙ貼(100角)【既設のまま】	御影石 本磨【既設のまま】	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、内部用吹付ﾀｲﾙ	塩ビ【既設のまま】	PB t 9捨貼 岩綿吸音板貼 t 19	6950	－
		改修後	－	－	【下地調整の上、EP塗装】	－	【下地調整の上、EP塗装】	6950	玄関スロープ手摺【新設】
	ホール	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、長尺ｼｰﾄ貼【長尺ｼｰﾄ貼 撤去】 ｽﾛｰﾌﾟ部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、防滑ｼｰﾄ貼【防滑ｼｰﾄ貼 撤去】	塩ビ製 H=75【撤去】	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、内部用吹付ﾀｲﾙ	塩ビ【一部撤去】	PB t 9捨貼 ﾘﾌﾞ付岩綿吸音板貼 t 19【一部撤去 下地共】	2700	ピクトサイン・掲示板等・下足入れ【一時取外し】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】 ｽﾛｰﾌﾟ部：防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=75【新設】	既設壁：【下地調整の上、EP塗装】 間仕切壁：PB t 12.5×2下地、EP塗装【新設】	撤去部：塩ビ【新設】	既設部：【下地調整の上、EP塗装】	2700	ピクトサイン・掲示板等・下足入れ【再取付】
	事務室 ★	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、長尺ｼｰﾄ貼【長尺ｼｰﾄ貼 撤去】	塩ビ巾木 H=75【撤去】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ撤去】	塩ビ【撤去】	PB t 9捨貼 岩綿吸音板貼 t 12【撤去】	2700	予定黒板【一時取外し】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=75【新設】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ貼替】	塩ビ【新設】	PB t 9捨貼 岩綿吸音板貼 t 12【新設】	2700	予定黒板【再取付】
	大会議室 ★	改修前	床：ｶｰﾍﾟｯﾄ敷【撤去】	ﾀﾓ柾練付 CL H=75【一部撤去】	LGS65、PB t 12.5下地、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ撤去 一部下地共】 PS壁：LGS65、PBt12.5下地、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【一部撤去 下地共】	塩ビ【一部撤去】	天井：LGS下地、PBt t 9.5 ｸﾛｽ貼仕上【ｸﾛｽ撤去、一部撤去 下地共】 下がり天井：LGS下地、PBt t 9.5下地、ﾘﾌﾞ付岩綿吸音板 t 19 【一部撤去 下地共】 幕板：ﾀﾓ練付 CL	2700・2950	ｽﾃﾃﾞｨﾝｸﾞｽﾃｰｼﾞ 2000×2000【既設のまま】
		改修後	床：ｶｰﾍﾟｯﾄ敷【新設】	既設部：【下地調整の上、CL塗装】 新設部：【木巾木 H=75、 下地調整の上、CL塗装】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ貼替】 間仕切り壁【新設】：LGS90下地(千鳥配置 10mmずらし)、 PB t 12.5×2(両側)下地、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上、ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24K充填 PS壁：LGS65、PBt12.5下地、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【撤去部復旧】	撤去部：塩ビ【新設】	天井：LGS下地、PBt t 9.5ｸﾛｽ貼仕上【ｸﾛｽ貼替、一部新設 下地共】 下がり天井：LGS下地、PBt t 9.5下地、ﾘﾌﾞ付岩綿吸音板 t 19 【既設部：下地調整の上、EP塗装、一部新設 下地共】 幕板：ﾀﾓ練付【下地調整の上、CL塗装】	2700・2950	－
	湯沸室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、長尺ｼｰﾄ貼【撤去】	塩ビ製 H=75【撤去】	ｷｯﾁﾝ前壁：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、陶器ﾀｲﾙ100角【ﾀｲﾙ撤去】 配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ：CB t 100下地、陶器ﾀｲﾙ100角【撤去 下地共】 壁：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、VP塗装 ｷｯﾁﾝ前壁：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ薄塗り下地、ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t 3【新設 下地共】 配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ：LGS90、構造用合板1類t=12下地、ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t 3【新設】 壁：【下地調整の上、EP塗装】	塩ビ【既設のまま】	PB t 9 目透貼 EP塗装	2550	ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ【一時取外し】、食器戸棚【既設のまま】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=75【新設】	－	－	【下地調整の上、EP塗装】	2550	ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ【再取付】
	女子・男子ﾄｲﾚ	改修前	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ下地、ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 50角【撤去 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共】 踏込部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、長尺ｼｰﾄ貼【撤去 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共】	－	ﾓﾙﾀﾙ下地、陶器ﾀｲﾙ貼(100角)【撤去 下地共】 PS壁：CB下地、陶器ﾀｲﾙ貼(100角)【撤去 下地共】	塩ビ【撤去】	LGS下地組、PB t 9 目透貼 EP塗装【撤去 下地共】	2450・2500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【撤去】、面台：大理石【撤去】
		改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ金こて下地、防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5【新設】	塩ビ巾木 H=100【新設】	ｼｰｼﾞﾝｸﾞPB t 12.5下地(GL工法)、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 6【新設】 PS壁：LGS90、ｼｰｼﾞﾝｸﾞPB t 12.5下地、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 6仕上【新設 下地共】	塩ビ【新設】	LGS下地組、化粧PB t 9.5【新設】	2450	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【新設】、面台：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t 25【新設】
	多目的ﾄｲﾚ	改修前	－	－	－	－	－	－	－
		改修後	ﾓﾙﾀﾙ金こて下地、防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5【新設】	塩ビ巾木 H=100【新設】	既設壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、内部用吹付ﾀｲﾙ【下地調整の上、EP塗装】 間仕切り壁： LGS90下地(千鳥配置 10mmずらし)、 PB t 12.5×2(両側)下地、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 6 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24K充填 配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ：LGS90、ｼｰｼﾞﾝｸﾞPB t 12.5下地 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 6仕上【新設 下地共】	塩ビ【新設】	LGS下地組、化粧PB t 9.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24K充填【新設】	2700	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ 150×150 ｱﾙﾐ製(多目的ﾃﾞｻﾞｲﾝ)【新設】
2階	廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、長尺ｼｰﾄ貼【長尺ｼｰﾄ貼 撤去】	塩ビ製 H=75【撤去】	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、内部用吹付ﾀｲﾙ 分電盤廻り：PB t 12.5下地、内部用吹付ﾀｲﾙ	塩ビ【一部撤去】	PB t 9.5捨貼 岩綿吸音板貼 t 12【一部撤去】	2550	室名札【一時取外し】、下駄箱【既設のまま】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=75【新設】	【下地調整の上、EP塗装】 分電盤廻り：【下地調整の上、EP塗装】	撤去部：塩ビ【新設】	既設部：【下地調整の上、EP塗装】 撤去部：PB t 9捨貼 岩綿吸音板貼 t 12【新設】	2550	室名札【再取付】
	小会議室 ★	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、床：長尺ｼｰﾄ【撤去】	ﾀﾓ柾練付 CL H=75	ﾀﾓ柾練付合板 CL	ナラ CL	LGS下地組、PB t 9.5捨貼 岩綿吸音板貼 t 19(ｸﾛｽ)【一部撤去】	2550	黒板・掲示板【一時取外し】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	【下地調整の上、CL塗装】	【下地調整の上、CL塗装】	【下地調整の上、CL塗装】	既設部：【下地調整の上、EP塗装】 撤去部：PB t 9捨貼 岩綿吸音板貼 t 19(ｸﾛｽ)【新設】	2550	黒板・掲示板【再取付】
	調理実習室 ★	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、床：長尺ｼｰﾄ【撤去】	塩ビ製 H=75【撤去】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地組、化粧PB t 9.5【撤去 一部下地共】	2550	黒板・掲示板・調理台【一時取外し】、食器棚・道具収納棚【既設のまま】
		改修後	塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=75【新設】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上【ｸﾛｽ貼替】	塩ビ【新設】	LGS下地組、化粧PB t 9.5【新設 一部下地共】	2550	黒板・掲示板・調理台【再取付】
	和室 (18帖・15帖) ★ ★	改修前	畳敷き【撤去】(床組【既設のまま 一部撤去】)	ﾀﾀﾐ寄せ【既設のまま】	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、ｼﾞｭﾗｸ調ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(不燃)【ｸﾛｽ撤去】 一部：PB t 12.5下地、ｼﾞｭﾗｸｸﾛｽ貼(不燃)【ｸﾛｽ撤去】	木 素地【既設のまま】	LGS下地組、PB t 9.5下地、ｸﾛｽ貼仕上【ｸﾛｽ撤去、一部下地組共】 LGS下地組、化粧PB t 12.5(杉柾)(不燃)【撤去、一部下地組共】	2400～2650	－
		改修後	畳敷き(綿引 1等)【新設】(床組【一部新設】)	－	ｼﾞｭﾗｸ調ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(不燃)【ｸﾛｽ貼替】	－	LGS下地組、PB t 9.5下地、ｸﾛｽ貼仕上【ｸﾛｽ貼替、一部下地共】 LGS下地組、和風化粧PB t 12.5 目透貼(不燃)【新設 一部下地共】	2400～2650	－
	押入	改修前	ｼﾅﾍﾞﾆﾔ t 6【一部撤去】(床組【既設のまま 一部撤去】)	－	木下地組、PB t 9.5(不燃)【一部撤去 下地組共】	－	LGS下地組、PB t 9.5貼【撤去 下地組共】	2400	－
		改修後	撤去部：ｼﾅﾍﾞﾆﾔ t 6【新設】(床組【一部新設】)	－	木下地組、PB t 12.5【一部新設 下地組共】	－	LGS下地組、PB t 9.5貼【新設 下地組共】	2400	－
	トイレ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ下地、磁器ﾀｲﾙ 50角【撤去】 踏込部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ長尺ｼｰﾄ貼【撤去】	－	ﾓﾙﾀﾙ下地、陶器ﾀｲﾙ貼(100角)【撤去 下地共】	塩ビ【撤去】	LGS下地組、PB t 9 目透貼 EP塗装【撤去 下地共】	2350・2400	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【撤去】、面台【撤去】
		改修後	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地、防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5【新設】 踏込部：防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5仕上【貼替 下地補修共】	塩ビ巾木 H=100【新設】	ｼｰｼﾞﾝｸﾞPB t 12.5下地(GL工法)、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 6【新設】	塩ビ【新設】	LGS下地組、化粧PB t 9.5【新設】	2350	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【新設】、面台：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t 25【新設】

備考
- 右記の材料は新規に使用しない。①吹付け石綿 ②吹付ロックウール８含有石綿0.1%超)
- 内装材（天井裏等の措置も含む）は全てＦ☆☆☆☆とする。
- 塗装塗替えはモルタル面、ボード面、木部、鉄部、各下地調整を行うものとする。
- 手洗い、鏡、便所内手摺、厨房セット、流し、コンロ等の【撤去】、【新設】、【脱着】は設備工事とする。
- 浮き部分は全面調査のもと、監督員と協議し、可能な範囲で張替えを行うこと。
- 室名★は、環境測定対象室とする。

備考

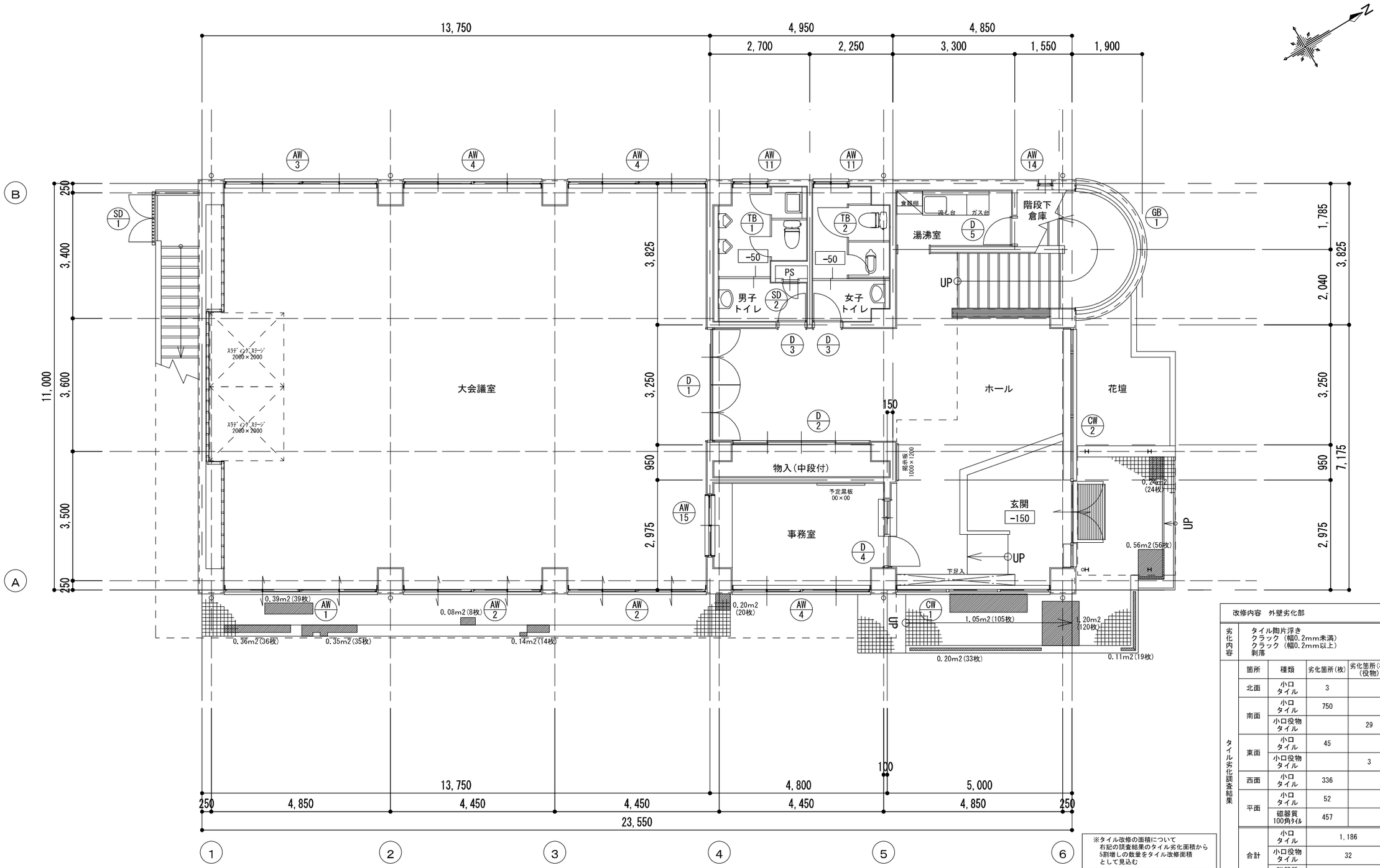
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１ 一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ : No Scale
DATE R７，３

工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称 仕上表

A−07
原図：A3



※タイル改修の面積について
右記の調査結果のタイル劣化面積から
5割増しの数量をタイル改修面積
として見込む

小口タイル	7.12m2 × 1.5 ≒ 10.7m2
小口役物タイル	0.32m2 × 1.5 ≒ 0.5m2
磁器質100角ﾀｲﾙ	7.81m2 × 1.5 ≒ 11.7m2

改修内容　外壁劣化部

劣化内容：タイル陶片浮き／クラック（幅0.2mm未満）／クラック（幅0.2mm以上）／剥落

タイル劣化調査結果

箇所	種類	劣化箇所(枚)	劣化箇所(枚)(役物)	面積(m2)
北面	小口タイル	3		0.02
南面	小口タイル	750		4.50
	小口役物タイル		29	0.29
東面	小口タイル	45		0.27
	小口役物タイル		3	0.03
西面	小口タイル	336		2.02
平面	小口タイル	52		0.31
	磁器質100角ﾀｲﾙ	457		7.81
合計	小口タイル	1,186		7.12
	小口役物タイル	32		0.32
	磁器質100角ﾀｲﾙ	781		7.81

モルタル等劣化調査結果

箇所	劣化数(箇所)	面積(m2)
北面	1	0.05

備考

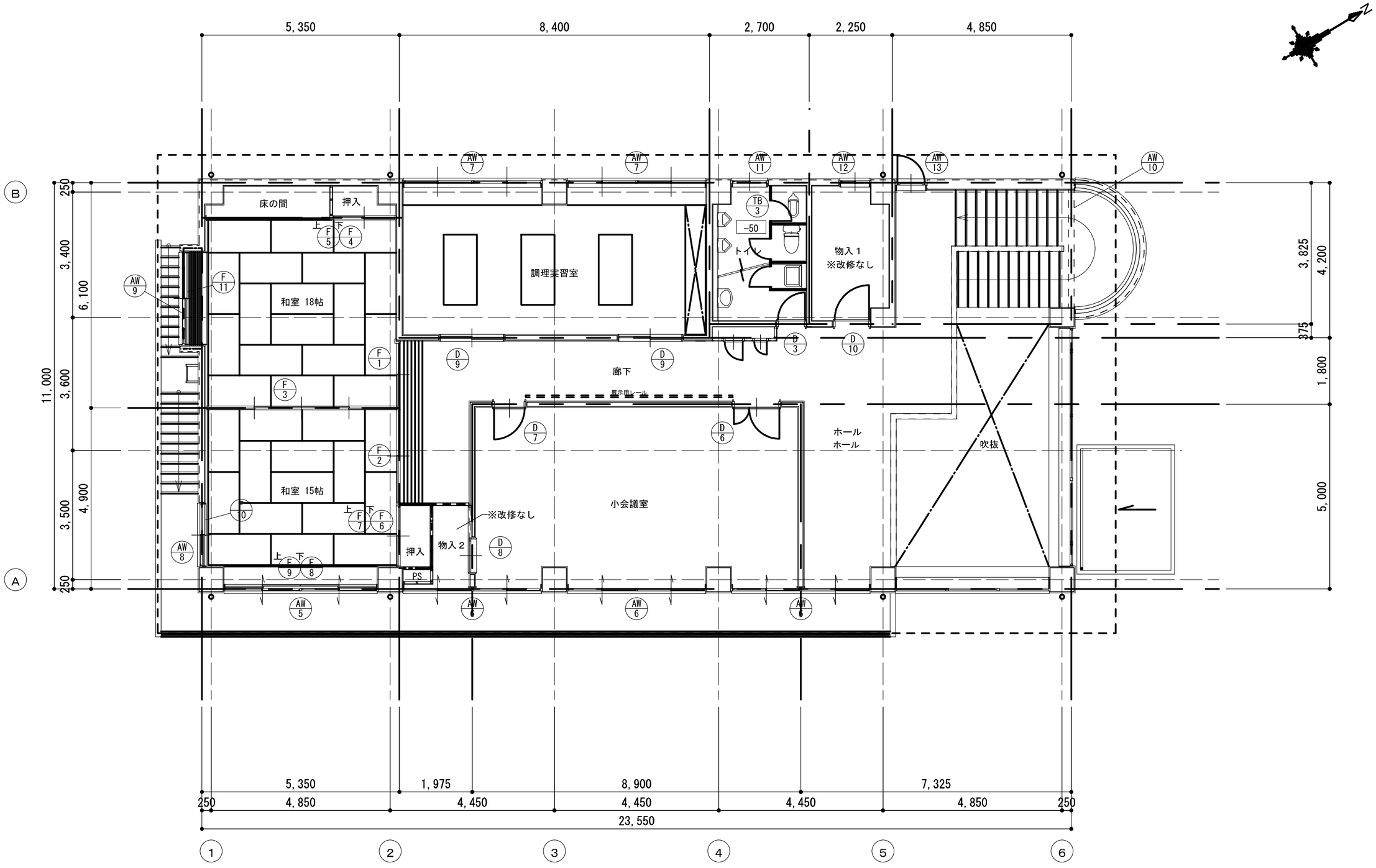
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　A３ : 1/100
DATE　R７，３

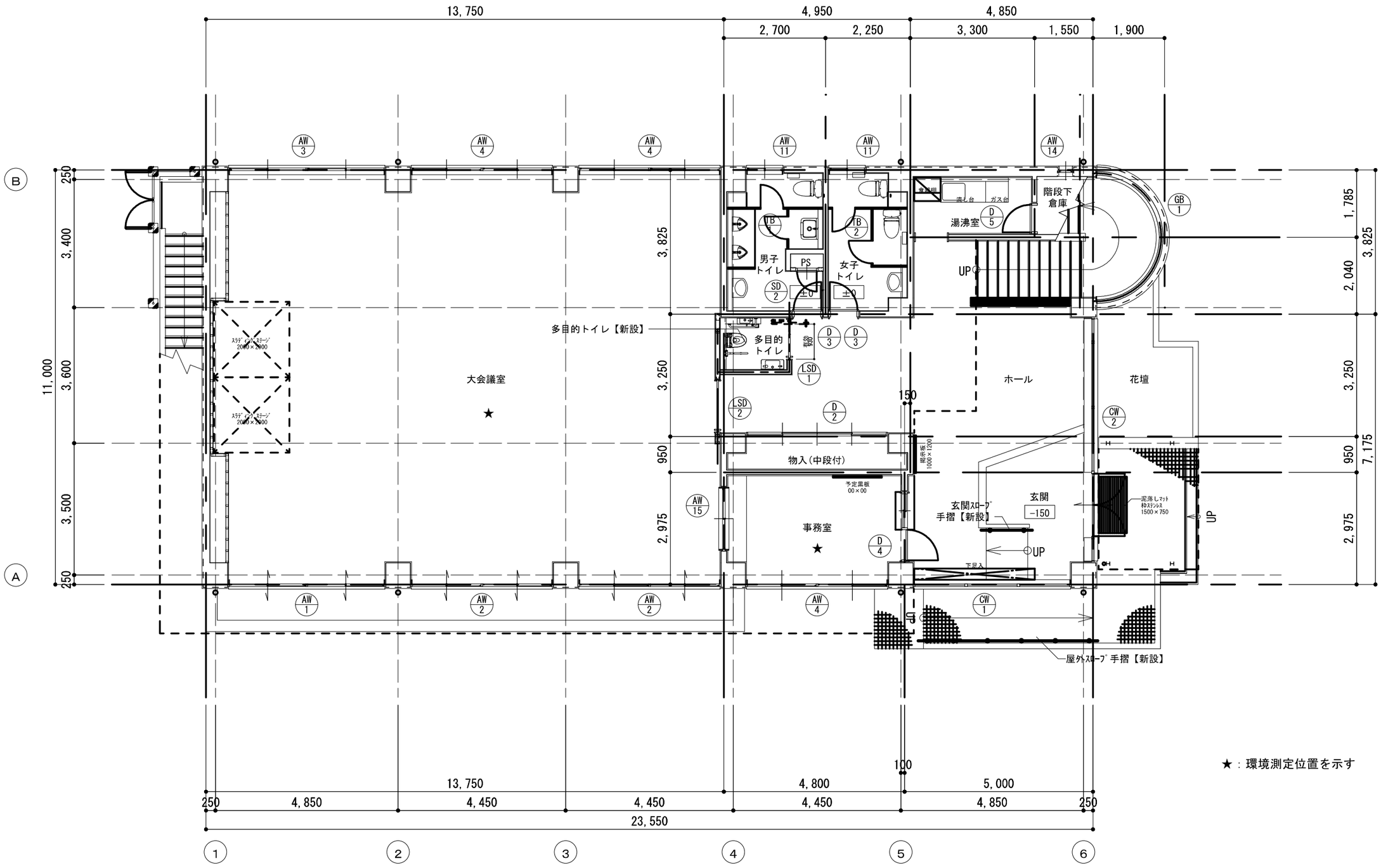
工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　１階 平面図（改修前）

A−08
原図：A3



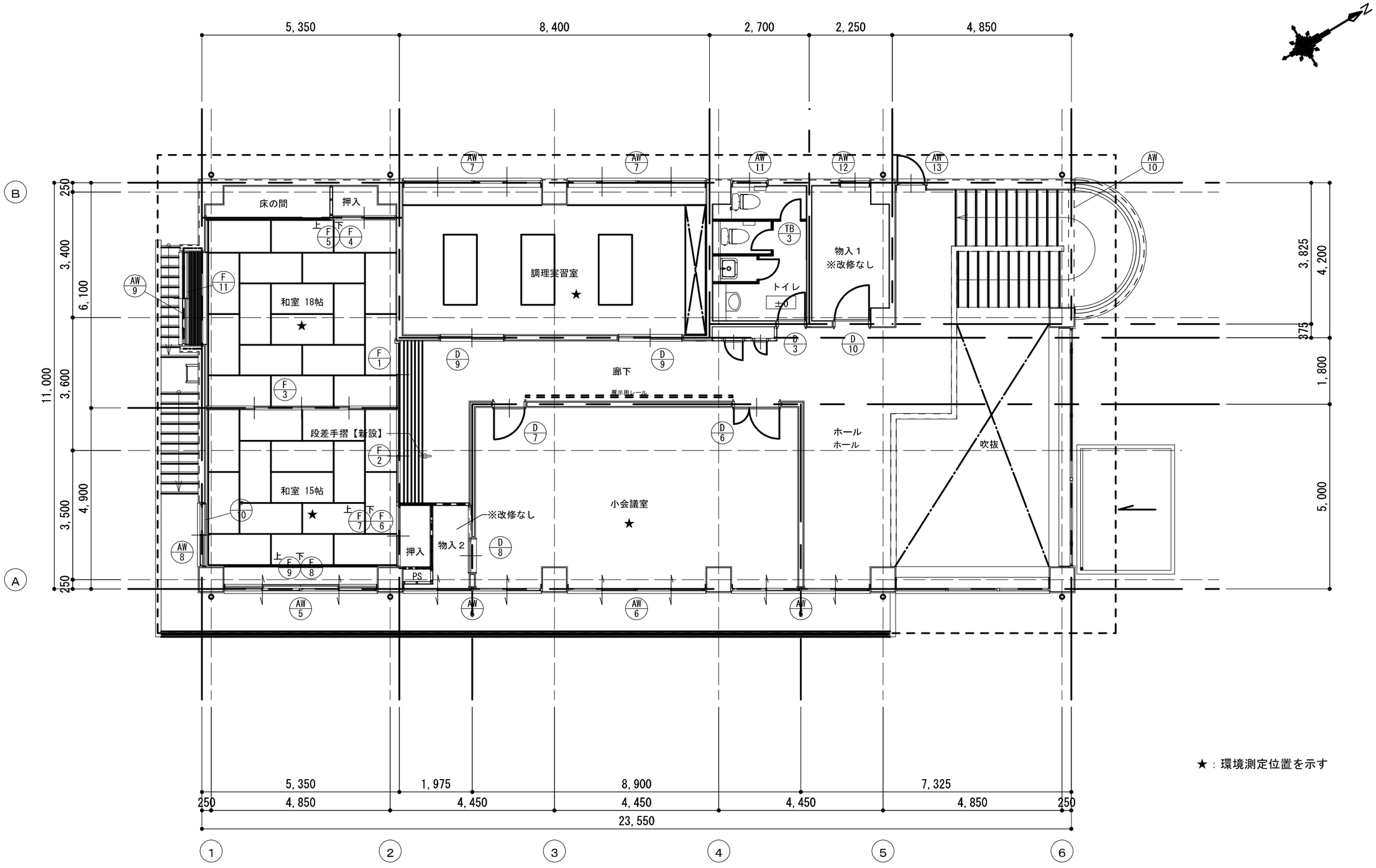
備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ ： 1/100 DATE Ｒ７，３	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事
					図面名称	２階 平面図（改修前）

A−09
原図：A3

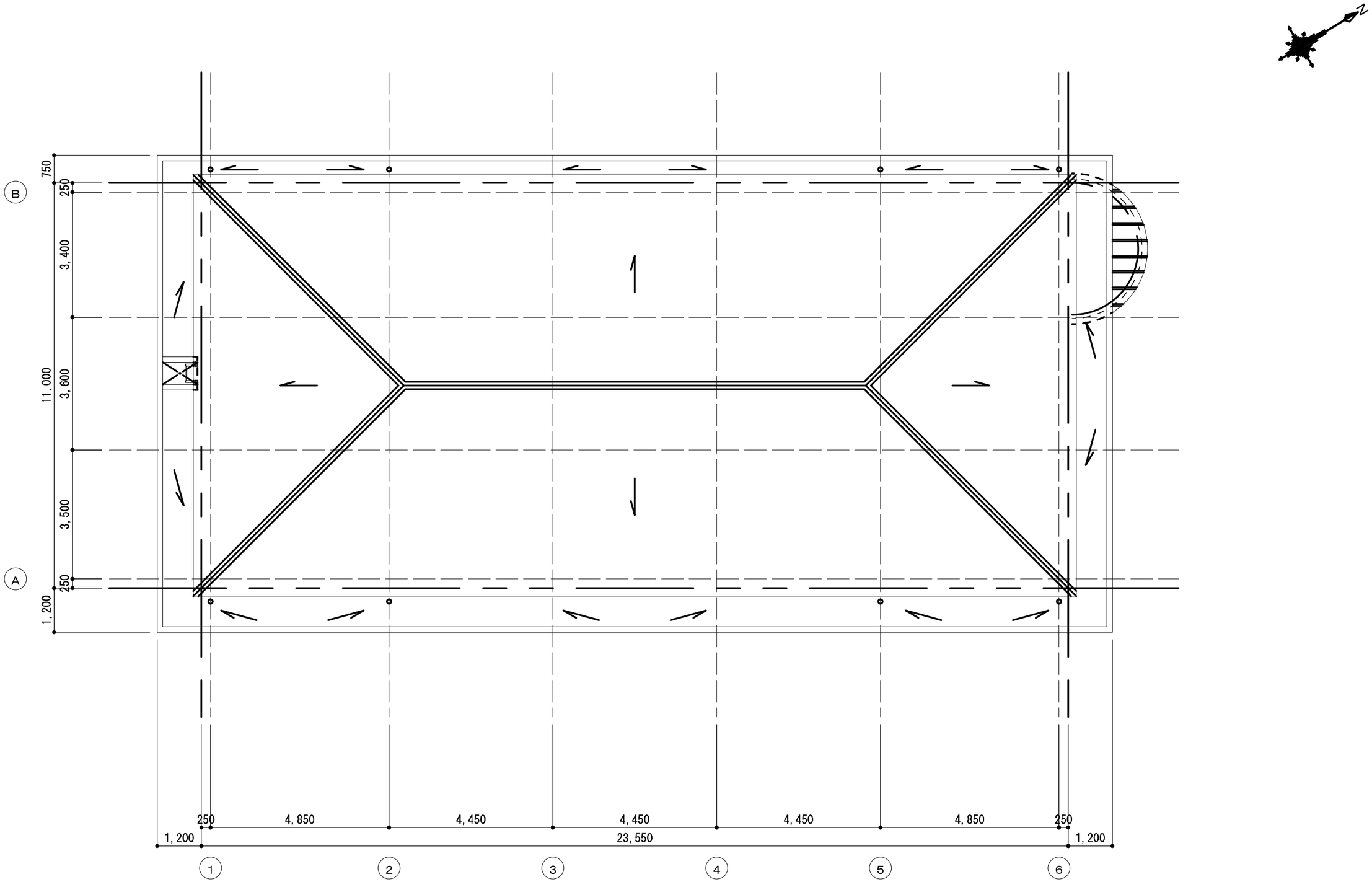


備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/100 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　１階 平面図（改修後）

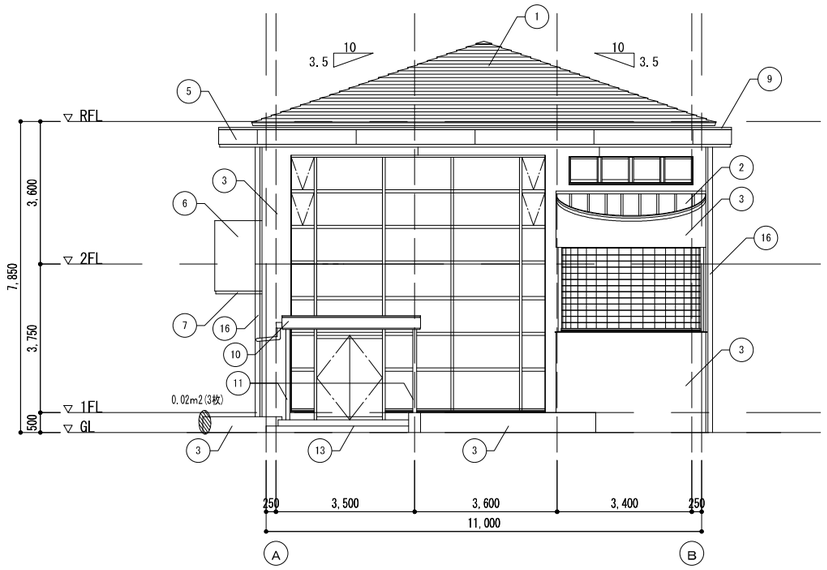
A−10
原図：A3



備考							
	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ ： 1/100 DATE Ｒ７，３	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−11
					図面名称	２階 平面図（改修後）	原図：A3



備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/100 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　屋根伏図	A−12 原図：A3



北側立面図

東側立面図

改修内容 外壁劣化部					
劣化内容	タイル陶片浮き クラック（幅0.3mm超） クラック（幅0.3mm以下） 剥落				
補修方法	タイル部分張替え工法				
タイル劣化調査結果	箇所	種類	劣化箇所(枚)	劣化箇所(枚)(役物)	面積(m2)
	北面	小口タイル	3		0.02
	南面	小口タイル	750		4.50
		小口役物タイル		29	0.29
	東面	小口タイル	45		0.27
		小口役物タイル		3	0.03
	西面	小口タイル	336		2.02
	平面	小口タイル	52		0.31
		磁器質100角ﾀｲﾙ	457		7.81
	合計	小口タイル	1,186		7.12
		小口役物タイル	32		0.32
		磁器質100角ﾀｲﾙ	781		7.81
モルタル等	箇所	劣化数(箇所)		面積(m2)	
	南面	1		0.05	

※タイル改修の面積について
上記の調査結果のタイル劣化面積から5割増しの数量を
タイル改修面積として見込む

小口タイル	7.12m2 × 1.5 ≒ 10.7m2
小口役物タイル	0.32m2 × 1.5 ≒ 0.5m2
磁器質100角ﾀｲﾙ	7.81m2 × 1.5 ≒ 11.7m2

外壁劣化部改修内容	劣化内容	補修方法	
	クラック（幅0.3mm超）	ア	Uカットシール材充填工法　シール用材充填（PU-2）
	クラック（幅0.3mm以下）	イ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

クラック調査結果

箇所	長さ 合計(m) 幅0.3mm以上	箇所数	補修方法	長さ 合計(m) 幅0.3mm以下	箇所数	補修方法
北面	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
東面	-	-	-	24.10	21	イ
	-	-	-	1.10	1	イ

凡　例

	タイル浮き箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設
	タイル剥落箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設
／ *.*m (**枚)	クラック箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】クラック補修、ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設

改修内容　　※【ー】内に記した改修を行う。

1	改修前	屋根：W角はぜ横葺き屋根t0.5 ﾌｯ素樹脂塗装鋼板
	改修後	屋根：【高圧水洗浄、下地処理の上、超速硬化ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】（ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ：高耐久高反射保護塗料）
2	改修前	屋根：フッ素樹脂塗装鋼板ｔ0.5　瓦棒葺き
	改修後	屋根：【高圧水洗浄、下地処理の上、超速硬化ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】（ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ：高耐久高反射保護塗料）
3	改修前	外壁：小口ﾀｲﾙ貼
	改修後	外壁：【水洗い(高圧ポンプ)の上、撥水処理仕上】
4	改修前	出窓部外壁：防水ﾓﾙﾀﾙ、外装薄塗材E
	改修後	出窓部外壁：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
5	改修前	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ見付：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E（目地切）
	改修後	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ見付：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
6	改修前	ﾊﾞﾙｺﾆｰ見付・屋外階段部立上壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E（目地切）
	改修後	ﾊﾞﾙｺﾆｰ見付・屋外階段部立上壁：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
7	改修前	ﾊﾞﾙｺﾆｰ・屋外階段　軒裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E
	改修後	ﾊﾞﾙｺﾆｰ・屋外階段　軒裏：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
8	改修前	屋外階段 踏面・蹴上：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ
	改修後	屋外階段 踏面・蹴上：【水洗い(高圧ポンプ)】
9	改修前	軒出 笠木：ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)【撤去】
	改修後	軒出 笠木：ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)【新設】
10	改修前	庇部 幕板・笠木：ｱﾙﾐ電解発色ｔ1.5
	改修後	庇部 幕板・笠木：【下地調整の上、DP塗装】
11	改修前	庇柱：H-100×100×5.5×8　ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾍﾟｲﾝﾄ塗
	改修後	庇柱：【下地調整の上、DP塗装】
12	改修前	ｽﾃﾝﾚｽﾗﾗｯﾌﾟ
	改修後	-
13	改修前	ポーチ床：磁器質ﾀｲﾙ　100角
	改修後	-
14	改修前	ｽﾁｰﾙ製ﾌｪﾝｽ、ｽﾁｰﾙ両開き戸【撤去】
	改修後	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ、両開きﾌｪﾝｽ【新設】
15	改修前	ｱﾙﾐ手摺　網入型板ｶﾞﾗｽｔ6.8【ｶﾞﾗｽ撤去】
	改修後	ｱﾙﾐ手摺　ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾊﾟﾈﾙｔ2(ｶﾗｰ)【ﾊﾟﾈﾙ新設】
16	改修前	竪樋：VP管 101.6×2【撤去】 支持金物・飾り桝共
	改修後	竪樋：VP管 φ100【新設】 支持金物・飾り桝共

備考

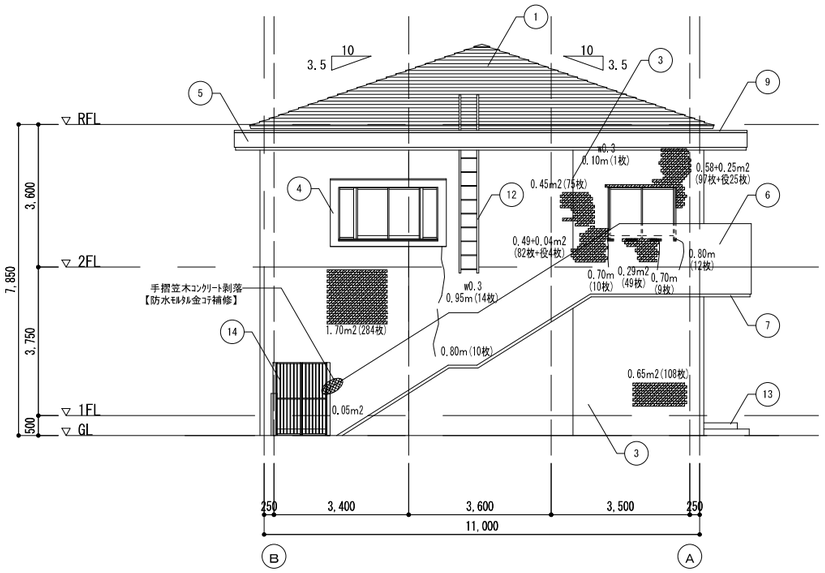
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

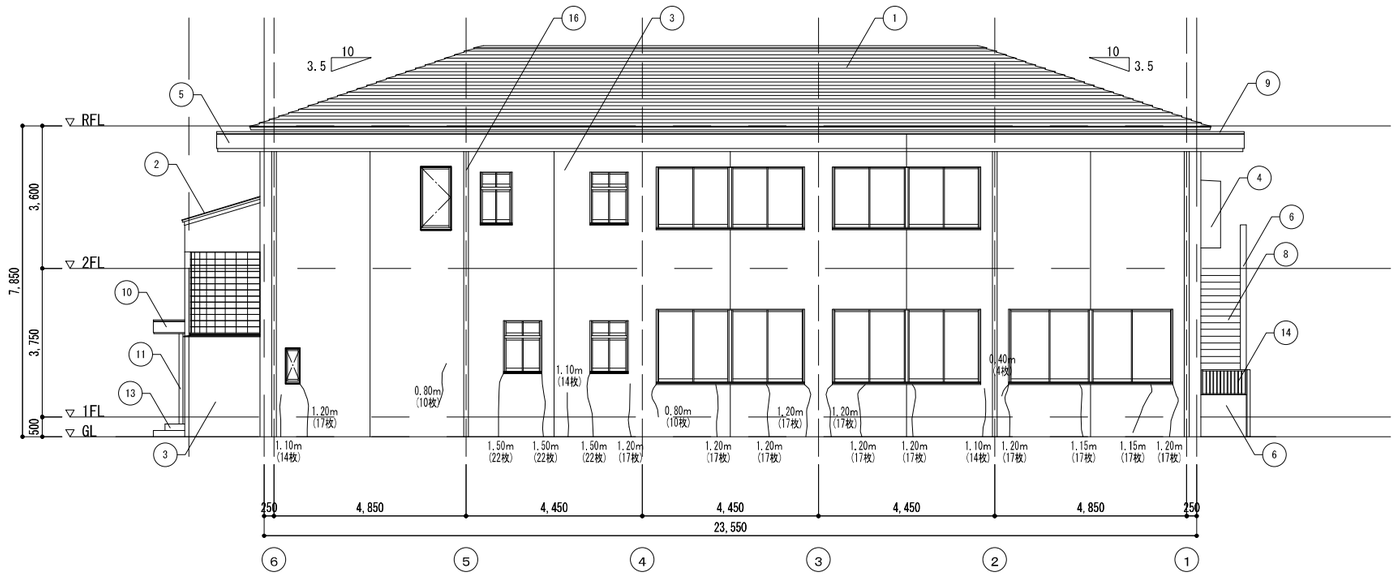
SCALE　A３ : 1/150
DATE　R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　立面図（１）

A−13
原図：A3



南側立面図



西側立面図

改修内容　外壁劣化部					
劣化内容	タイル陶片浮き クラック（幅0.3mm超） クラック（幅0.3mm以下） 剥落				
補修方法	タイル部分張替え工法				
タイル劣化調査結果	箇所	種類	劣化箇所(枚)	劣化箇所(枚)(役物)	面積(m2)
	北面	小口タイル	3		0.02
	南面	小口タイル	750		4.50
		小口役物タイル		29	0.29
	東面	小口タイル	45		0.27
		小口役物タイル		3	0.03
	西面	小口タイル	336		2.02
	平面	小口タイル	52		0.31
		磁器質100角ﾀｲﾙ	457		7.81
	合計	小口タイル	1,186		7.12
		小口役物タイル	32		0.32
		磁器質100角ﾀｲﾙ	781		7.81
劣化調査結果 モルタル等	箇所	劣化数(箇所)		面積(m2)	
	南面	1		0.05	

※タイル改修の面積について
上記の調査結果のタイル劣化面積から5割増しの数量を
タイル改修面積として見込む

小口タイル	7.12m2 × 1.5 ≒ 10.7m2
小口役物タイル	0.32m2 × 1.5 ≒ 0.5m2
磁器質100角ﾀｲﾙ	7.81m2 × 1.5 ≒ 11.7m2

外壁劣化部改修内容	劣化内容	補修方法	
	クラック（幅0.3mm以上）	ア	Uカットシール材充填工法　シール用材充填（PU-2）
	クラック（幅0.3mm以下）	イ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

クラック調査結果

箇所	長さ 合計(m) 幅0.3mm以上	箇所数	補修方法	長さ 合計(m) 幅0.3mm以下	箇所数	補修方法
南面	-	-	-	4.05	6	イ
	-	-	-	-	-	-
西面	-	-	-	24.10	21	イ
	-	-	-	-	-	-

凡　例

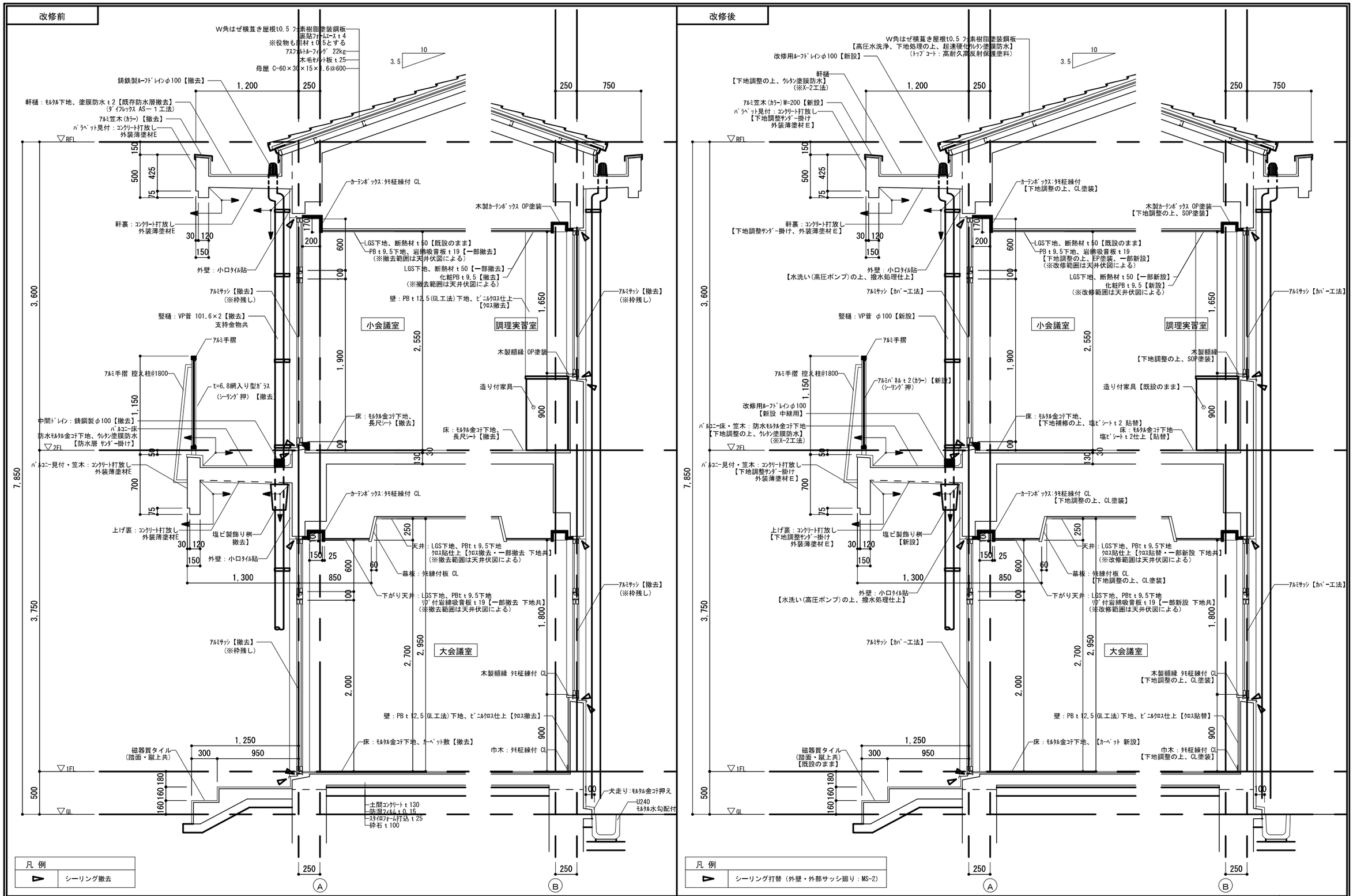
	タイル浮き箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設
	タイル剥落箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設
／ *.*m (**枚)	クラック箇所	【既設】ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ 撤去 下地共
		【改修】クラック補修、ﾓﾙﾀﾙ下地、小口ﾀｲﾙ貼 新設

改修内容　　※【ーー】内に記した改修を行う。

①	改修前	屋根：W角はぜ横葺き屋根t0.5 ﾌｯ素樹脂塗装鋼板
	改修後	屋根：【高圧水洗浄、下地処理の上、超速硬化ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】（ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ：高耐久高反射保護塗料）
②	改修前	屋根：フッ素樹脂塗装鋼板ｔ0.5　瓦棒葺き
	改修後	屋根：【高圧水洗浄、下地処理の上、超速硬化ｳﾚﾀﾝ塗膜防水】（ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ：高耐久高反射保護塗料）
③	改修前	外壁：小口ﾀｲﾙ貼
	改修後	外壁：【水洗い(高圧ポンプ)の上、撥水処理仕上】
④	改修前	出窓部外壁：防水ﾓﾙﾀﾙ、外装薄塗材E
	改修後	出窓部外壁：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
⑤	改修前	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ見付：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E（目地切）
	改修後	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ見付：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
⑥	改修前	ﾊﾞﾙｺﾆｰ見付・屋外階段部立上壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E（目地切）
	改修後	ﾊﾞﾙｺﾆｰ見付・屋外階段部立上壁：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
⑦	改修前	ﾊﾞﾙｺﾆｰ・屋外階段　軒裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材E
	改修後	ﾊﾞﾙｺﾆｰ・屋外階段　軒裏：【下地調整ｻﾝﾀﾞｰ掛け、外装薄塗材Ｅ】
⑧	改修前	屋外階段 踏面・蹴上：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ
	改修後	屋外階段 踏面・蹴上：【水洗い(高圧ポンプ)】
⑨	改修前	軒出 笠木：ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)【撤去】
	改修後	軒出 笠木：ｱﾙﾐ笠木(ｶﾗｰ)【新設】
⑩	改修前	庇部 幕板・笠木：ｱﾙﾐ電解発色ｔ1.5
	改修後	庇部 幕板・笠木：【下地調整の上、DP塗装】
⑪	改修前	庇柱：H-100×100×5.5×8　ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾍﾟｲﾝﾄ塗
	改修後	庇柱：【下地調整の上、DP塗装】
⑫	改修前	ｽﾃﾝﾚｽﾗﾗｯﾌﾟ
	改修後	-
⑬	改修前	ポーチ床：磁器質ﾀｲﾙ　100角
	改修後	-
⑭	改修前	ｽﾁｰﾙ製ﾌｪﾝｽ、ｽﾁｰﾙ両開き戸【撤去】
	改修後	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ、両開きﾌｪﾝｽ【新設】
⑮	改修前	ｱﾙﾐ手摺　網入型板ｶﾞﾗｽｔ6.8【ｶﾞﾗｽ撤去】
	改修後	ｱﾙﾐ手摺　ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙｔ2(ｶﾗｰ)【ﾊﾟﾈﾙ新設】
⑯	改修前	竪樋：VP管 101.6×2【撤去】 支持金物共
	改修後	竪樋：VP管 φ100【新設】 支持金物共

備考		(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/150 DATE R７，３

工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−14
図面名称	立面図(２)	原図：A3

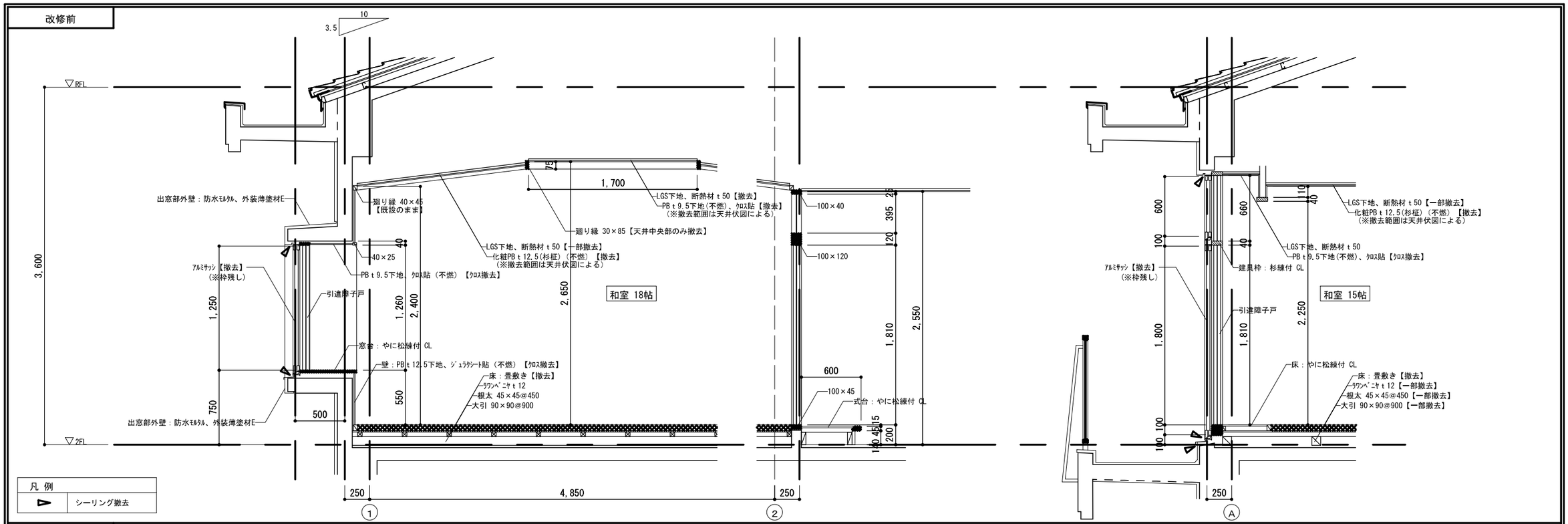


備考	※【――】内に記した改修を行う。

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

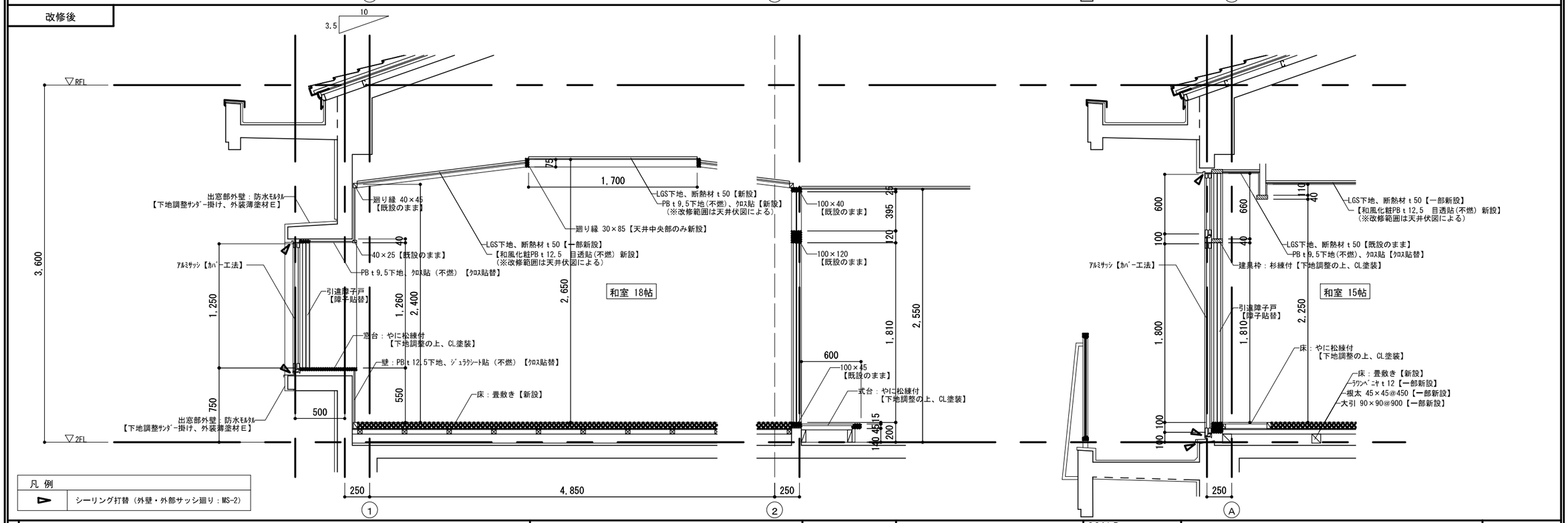
設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A-15
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/40	図面名称	断面詳細図（1）	原図：A3
		DATE R７，３			

改修前



凡 例	
▶	シーリング撤去

改修後



凡 例	
▶	シーリング打替（外壁・外部サッシ廻り：MS-2）

備考
※【―】内に記した改修を行う。

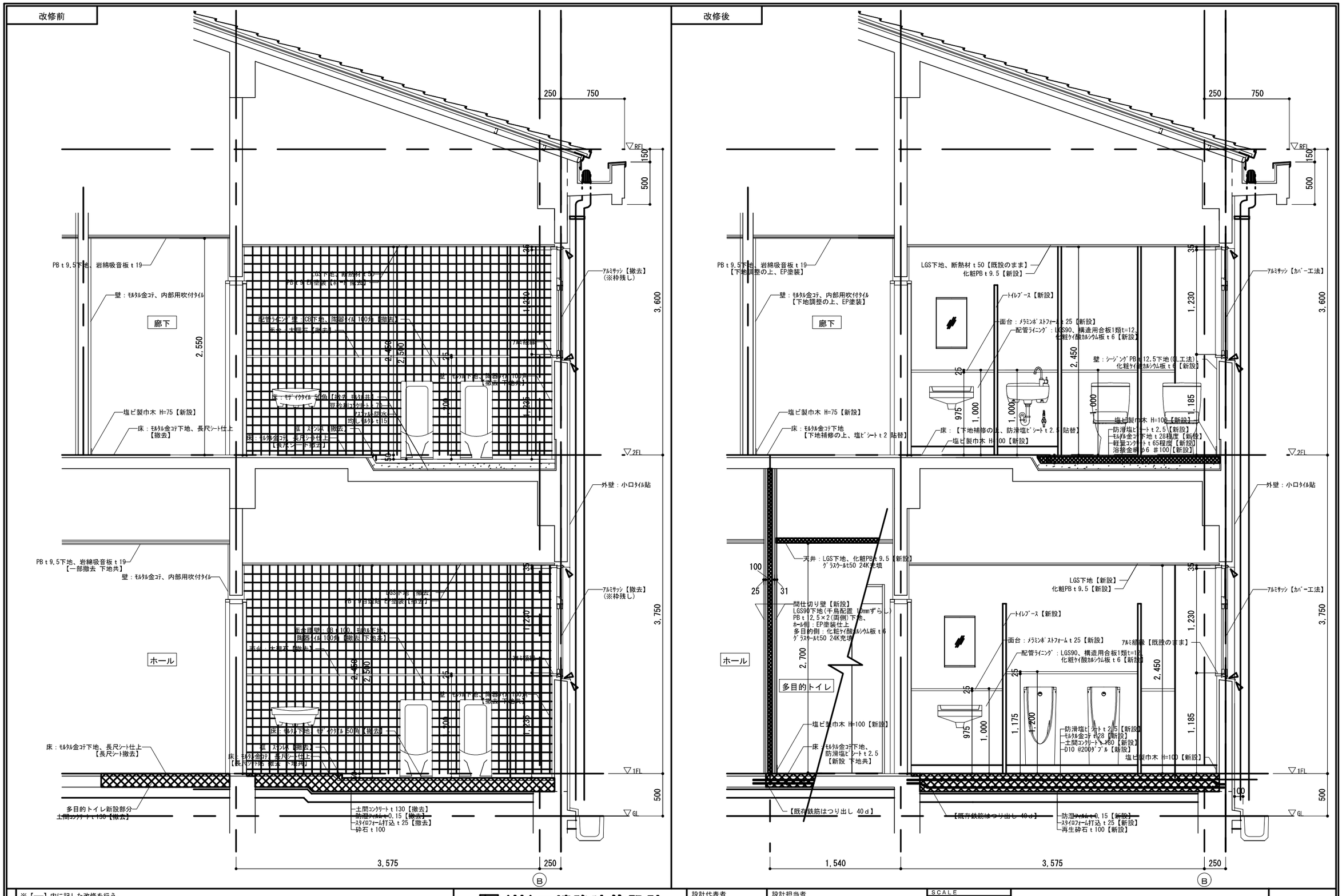
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ : 1/40
DATE R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　断面詳細図（２）

A−16
原図：A3



※【―】内に記した改修を行う。

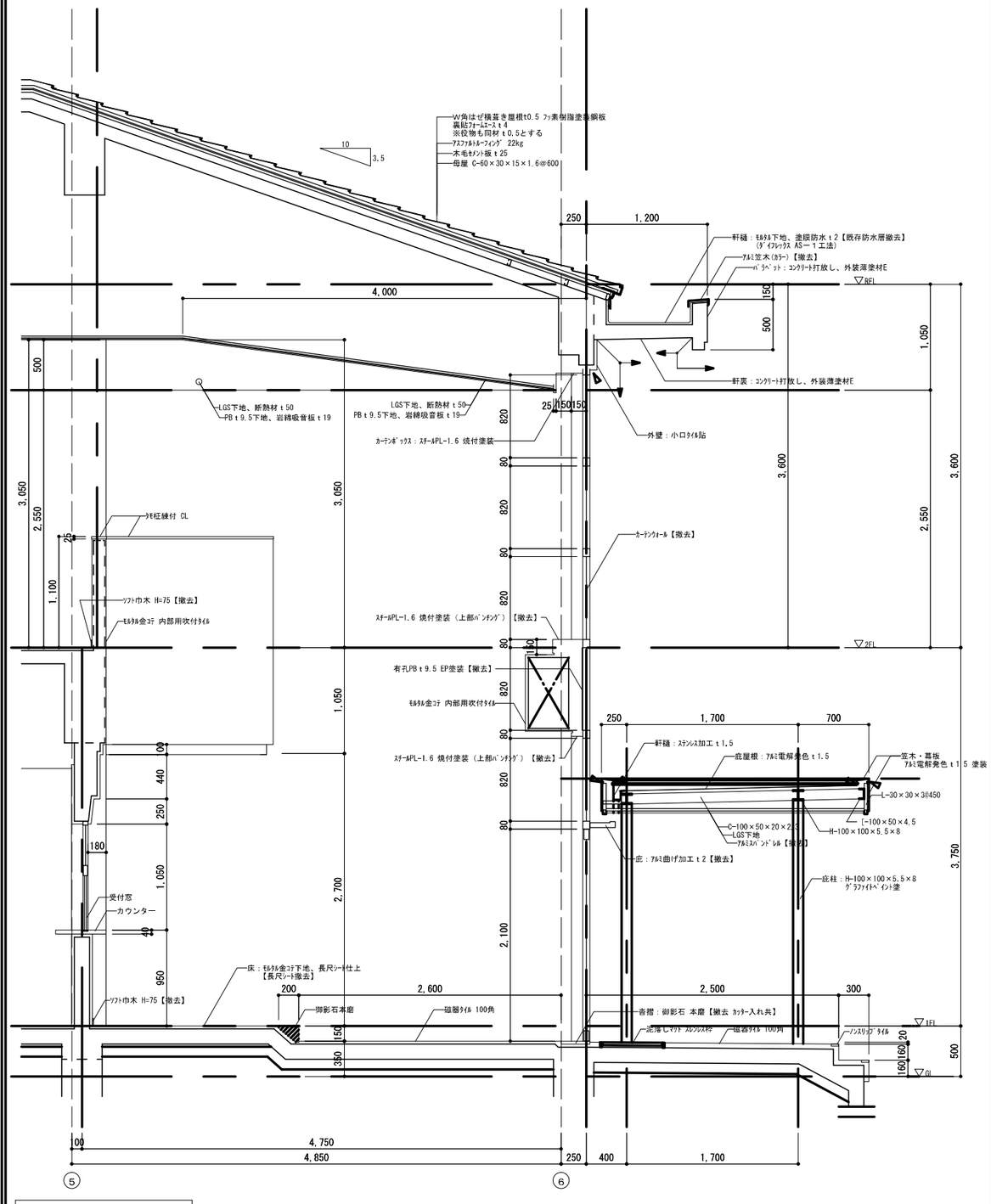
備考

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

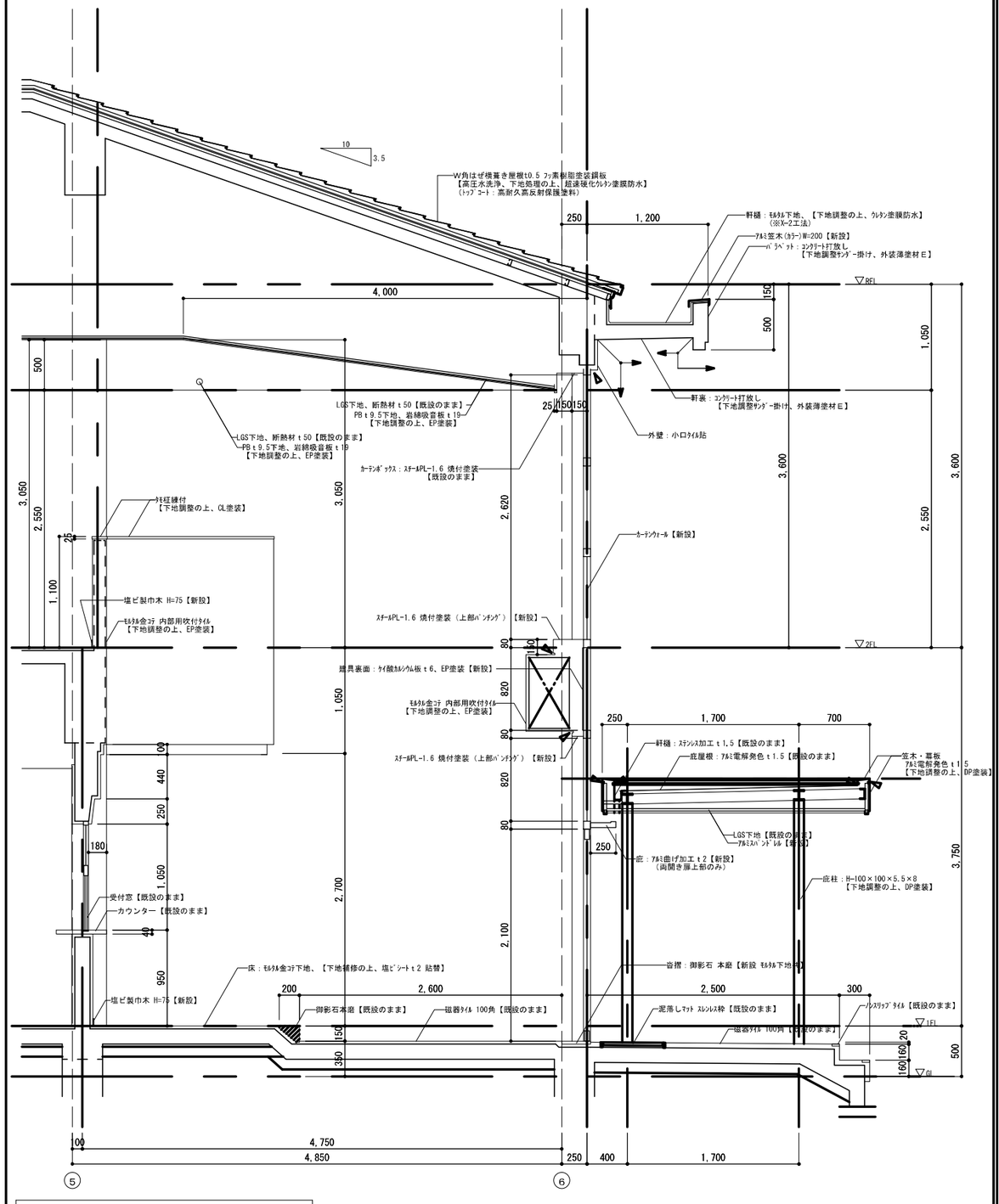
設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A-17
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/40	図面名称	断面詳細図（３）	原図：A3
		DATE R７，３			

改修前



凡 例	
▷	シーリング撤去

改修後



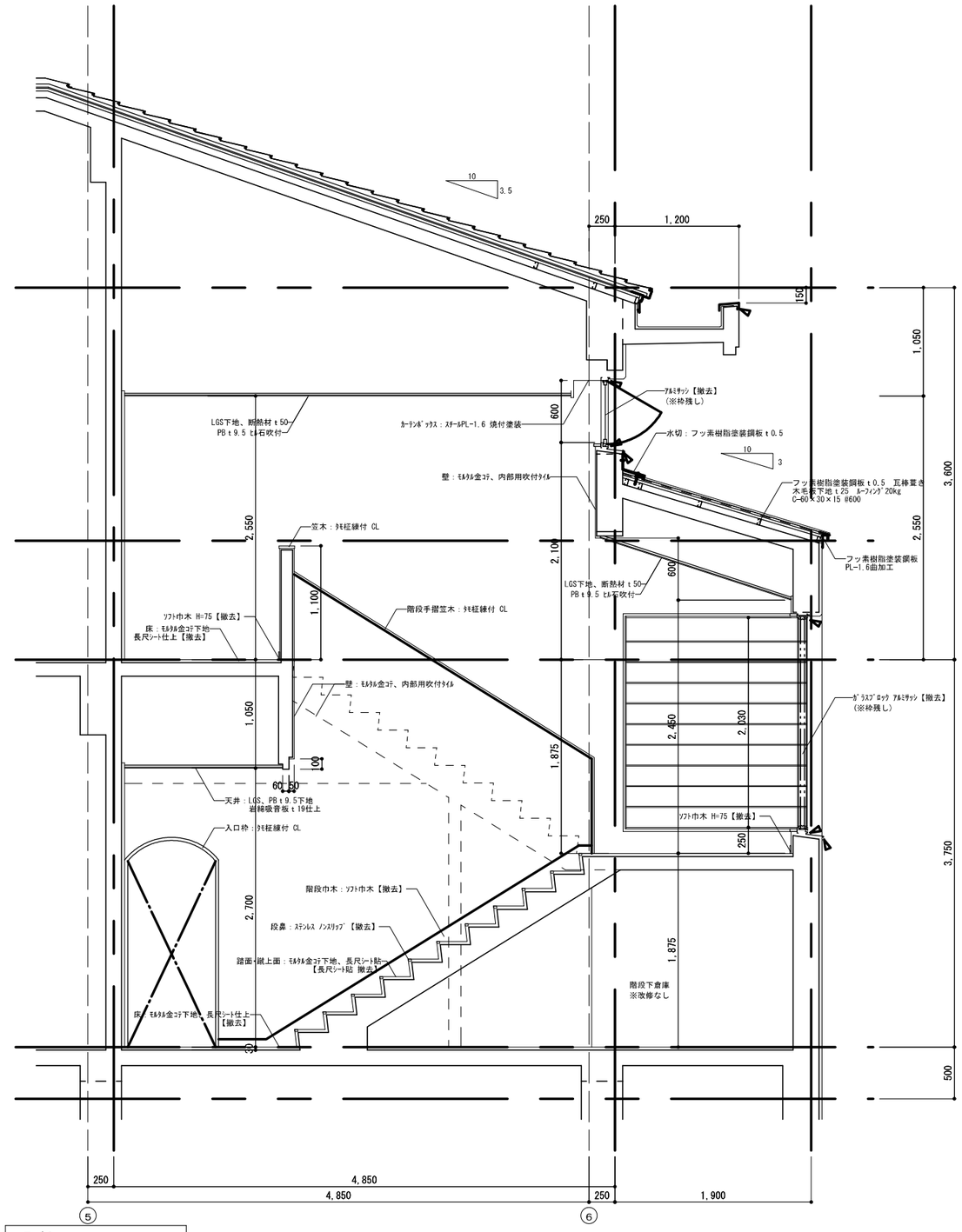
凡 例	
▷	シーリング打替（外壁・外部サッシ廻り：MS-2）

備考	※【―】内に記した改修を行う。

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

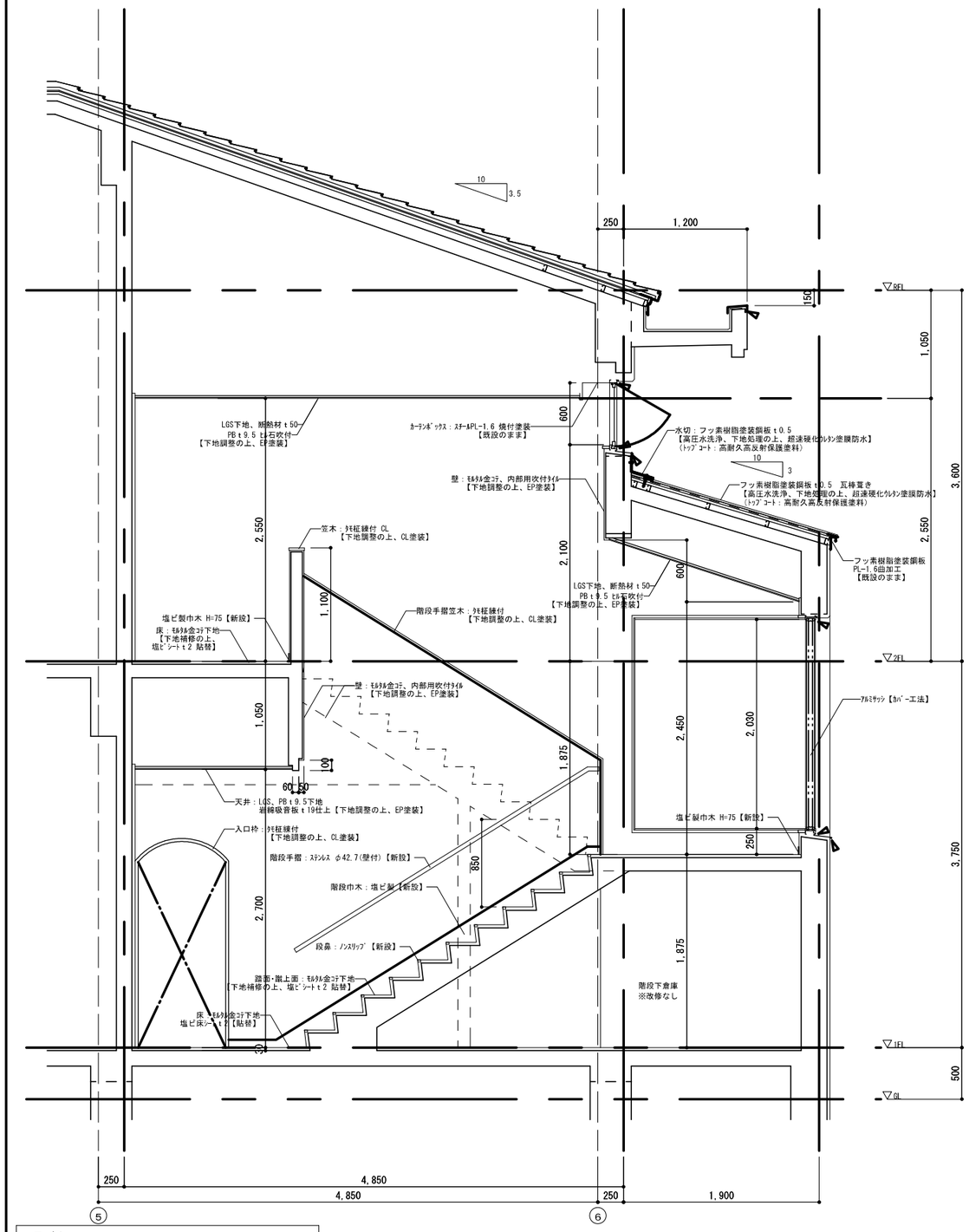
設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A－18
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/50	図面名称	断面詳細図（４）	原図：A3
		DATE R７，３			

改修前



凡 例	
▶	シーリング撤去

改修後



凡 例	
▶	シーリング打替（外壁・外部サッシ廻り：MS-2）

備考
※【―】内に記した改修を行う。

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

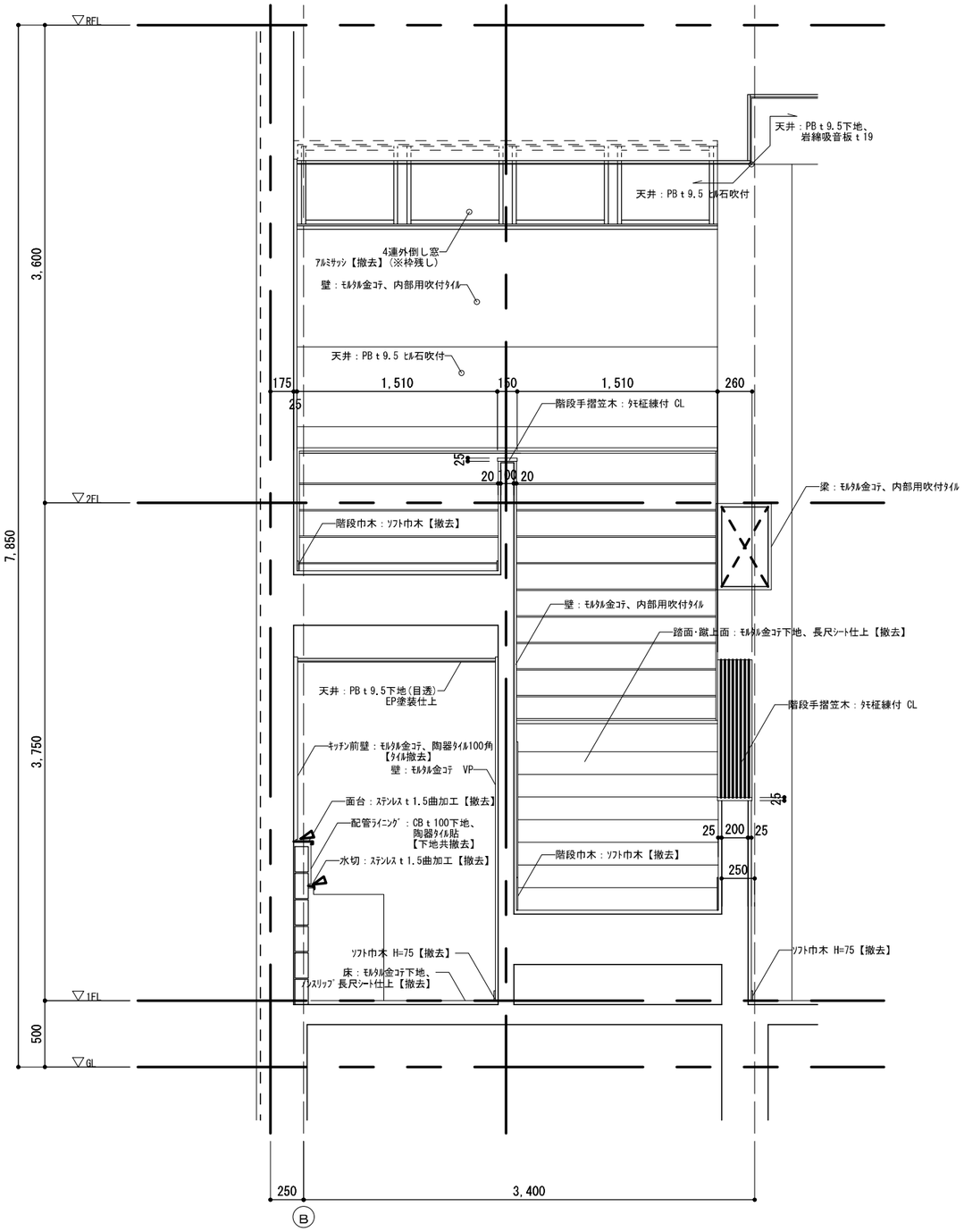
設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ : 1/50
DATE R７，３

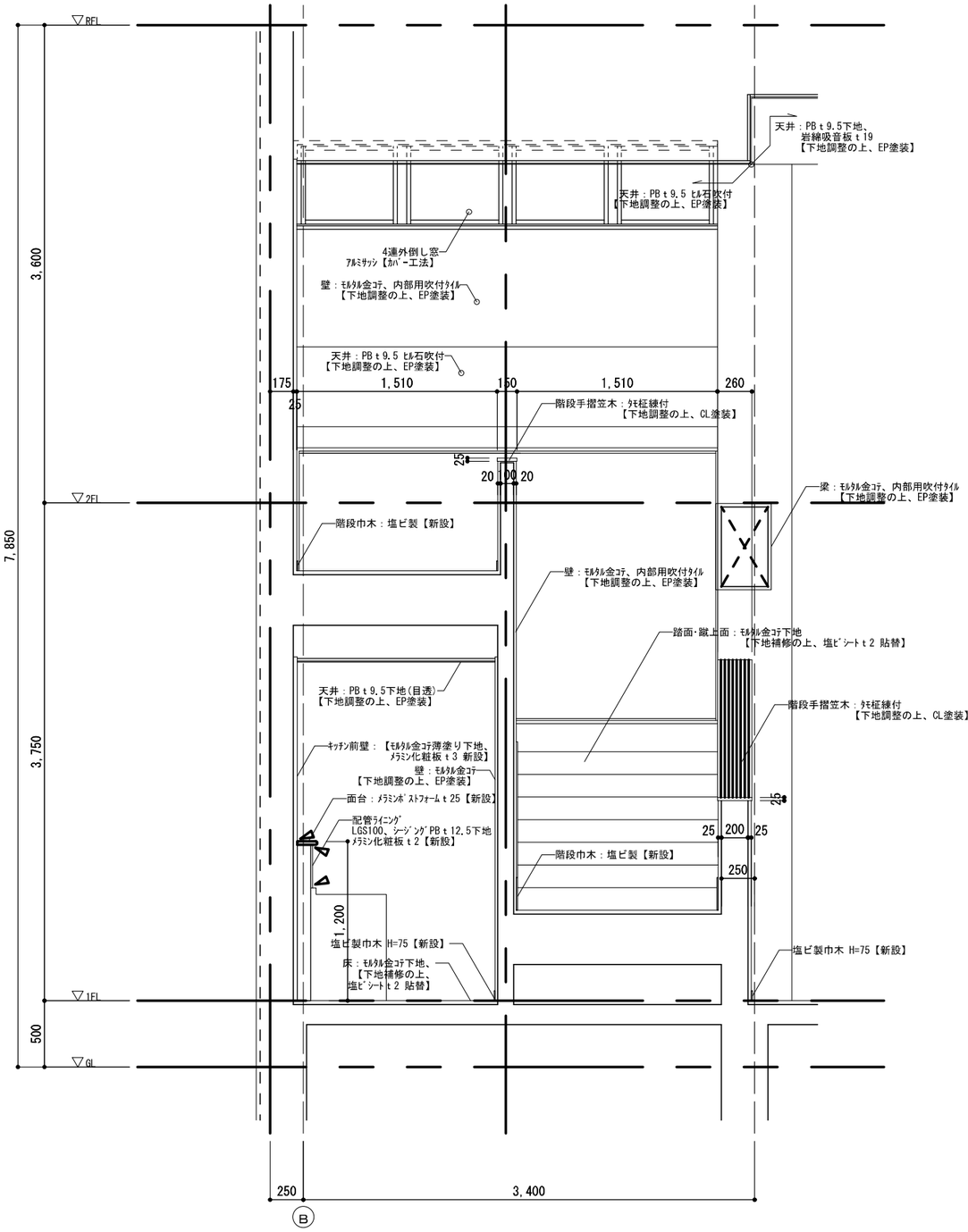
工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　断面詳細図（５）

A−19
原図：A3

改修前



改修後

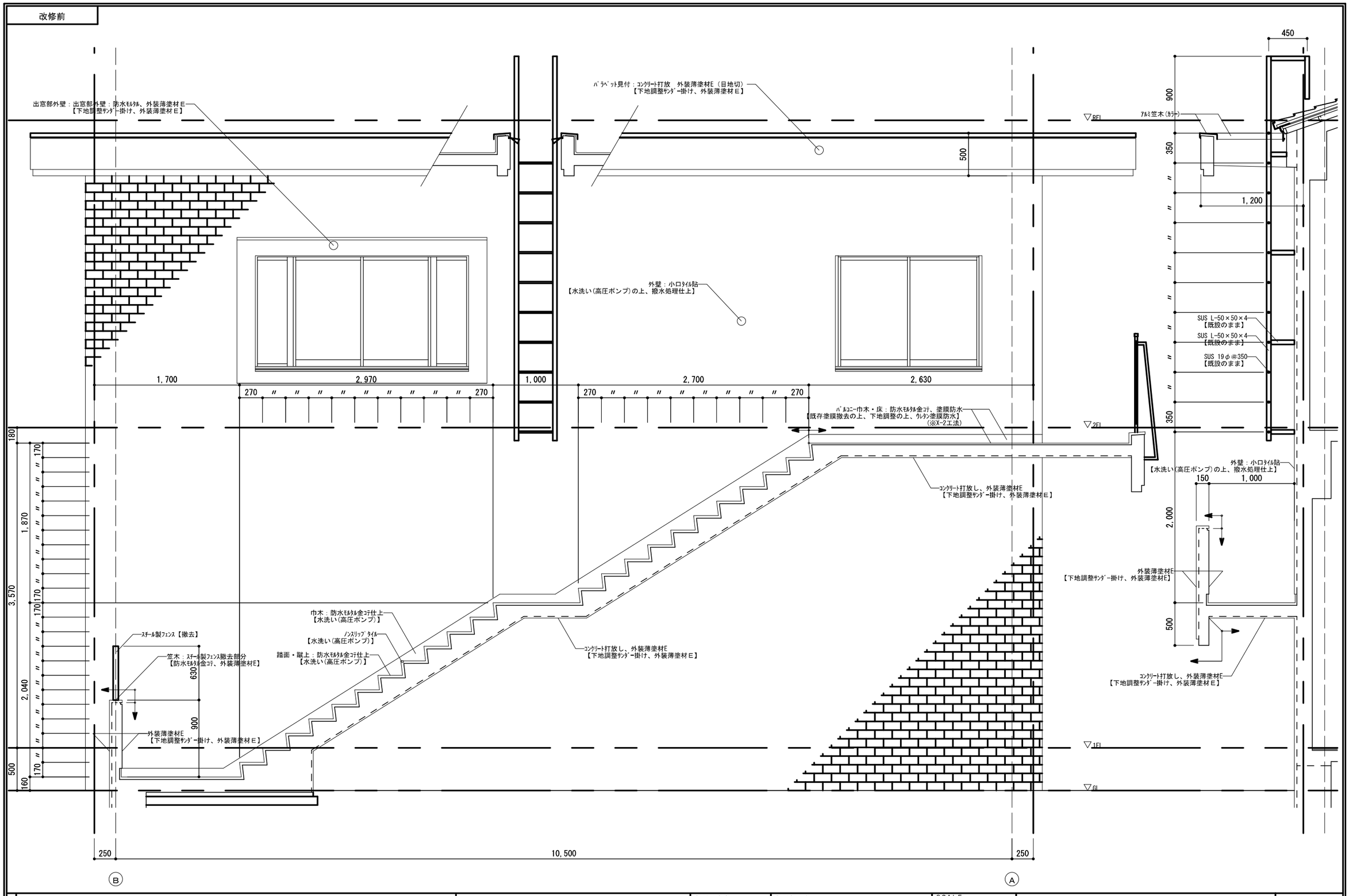


備考
※【――】内に記した改修を行う。

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−20
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/40	図面名称	断面詳細図（６）	原図：A3
		DATE R７，３			

改修前

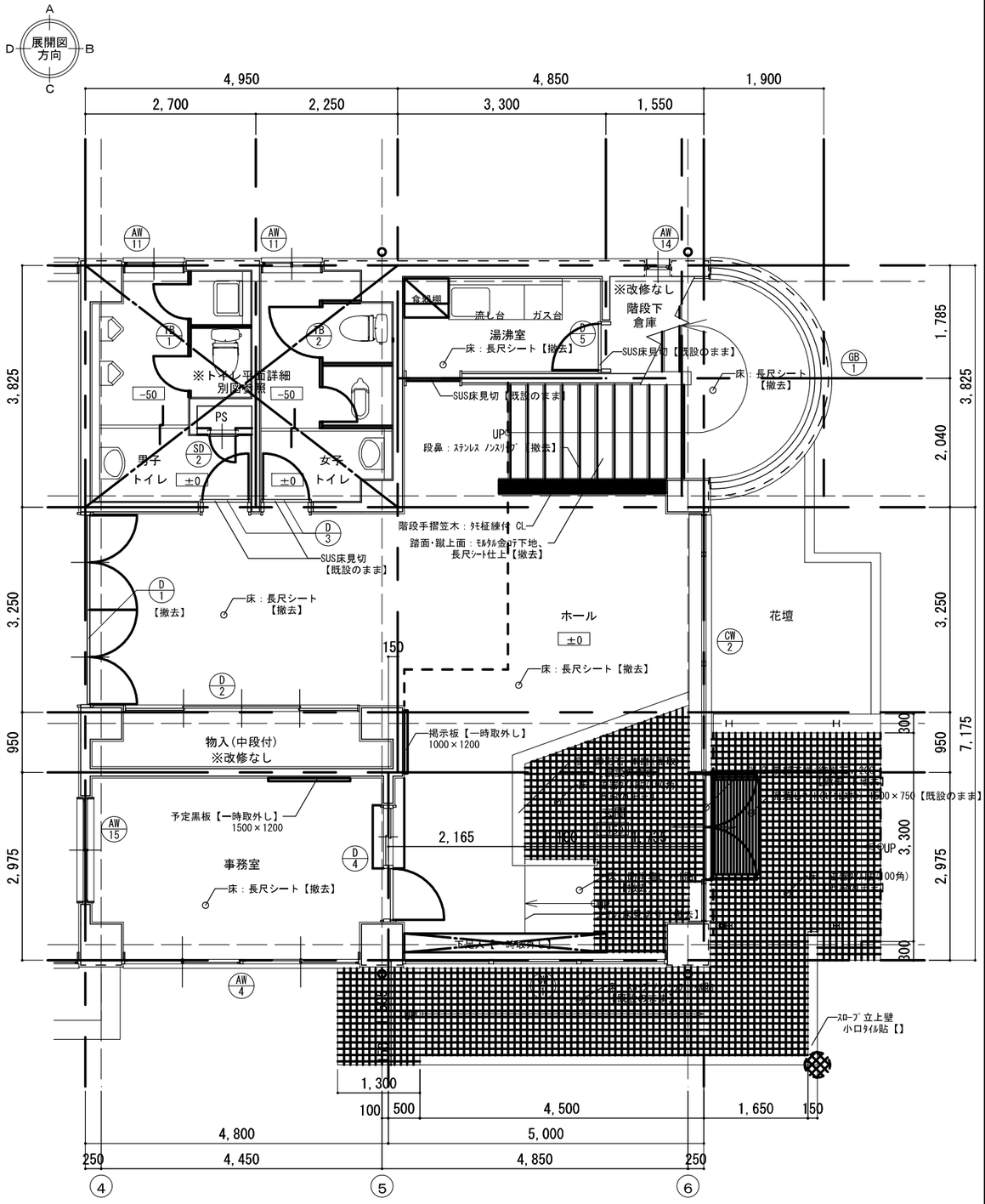


備考	※【―】内に記した改修を行う。

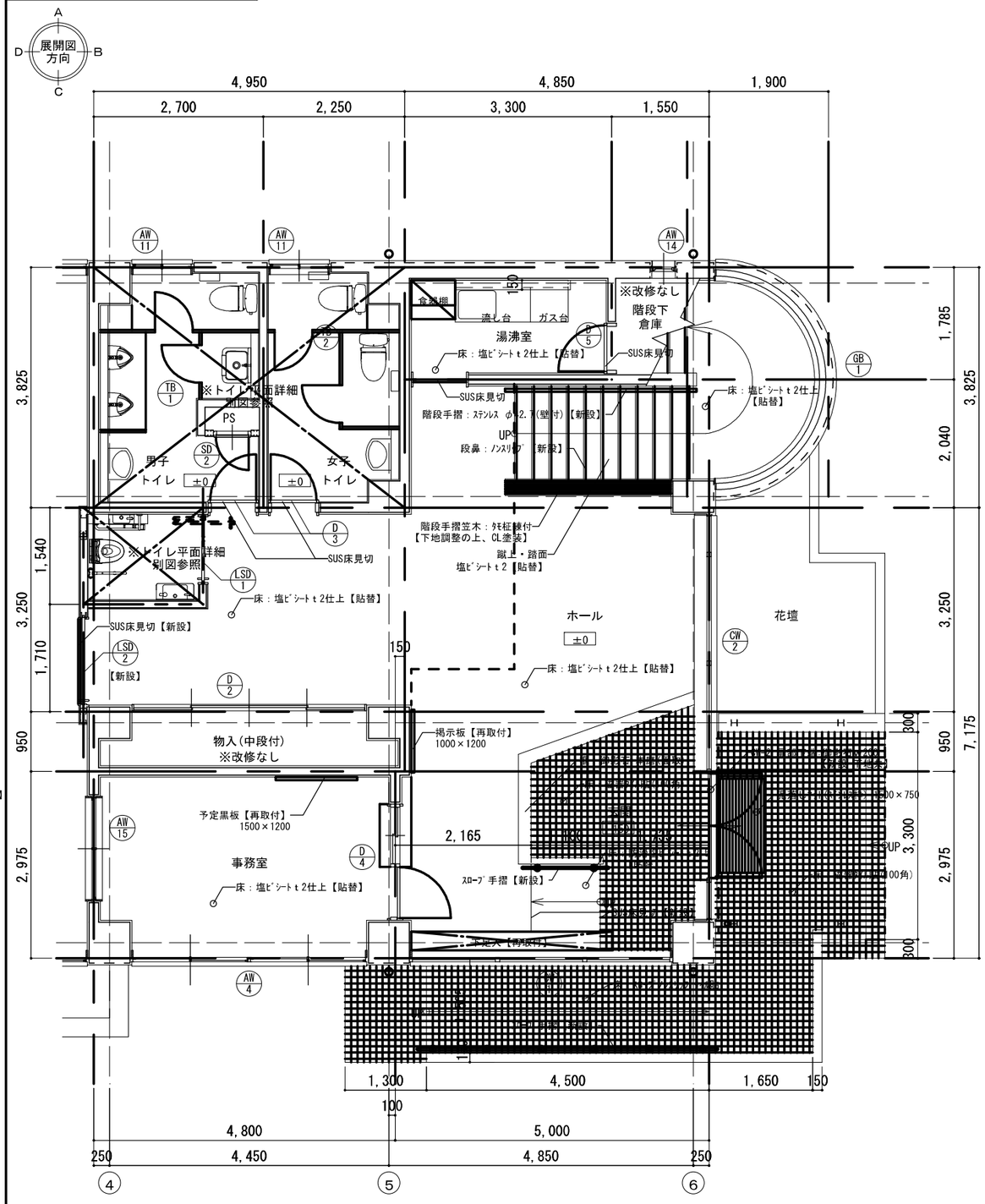
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A-21
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/40	図面名称	断面詳細図（７）	原図：A3
		DATE R７，３			

1階　事務室・玄関・ホール（改修前）

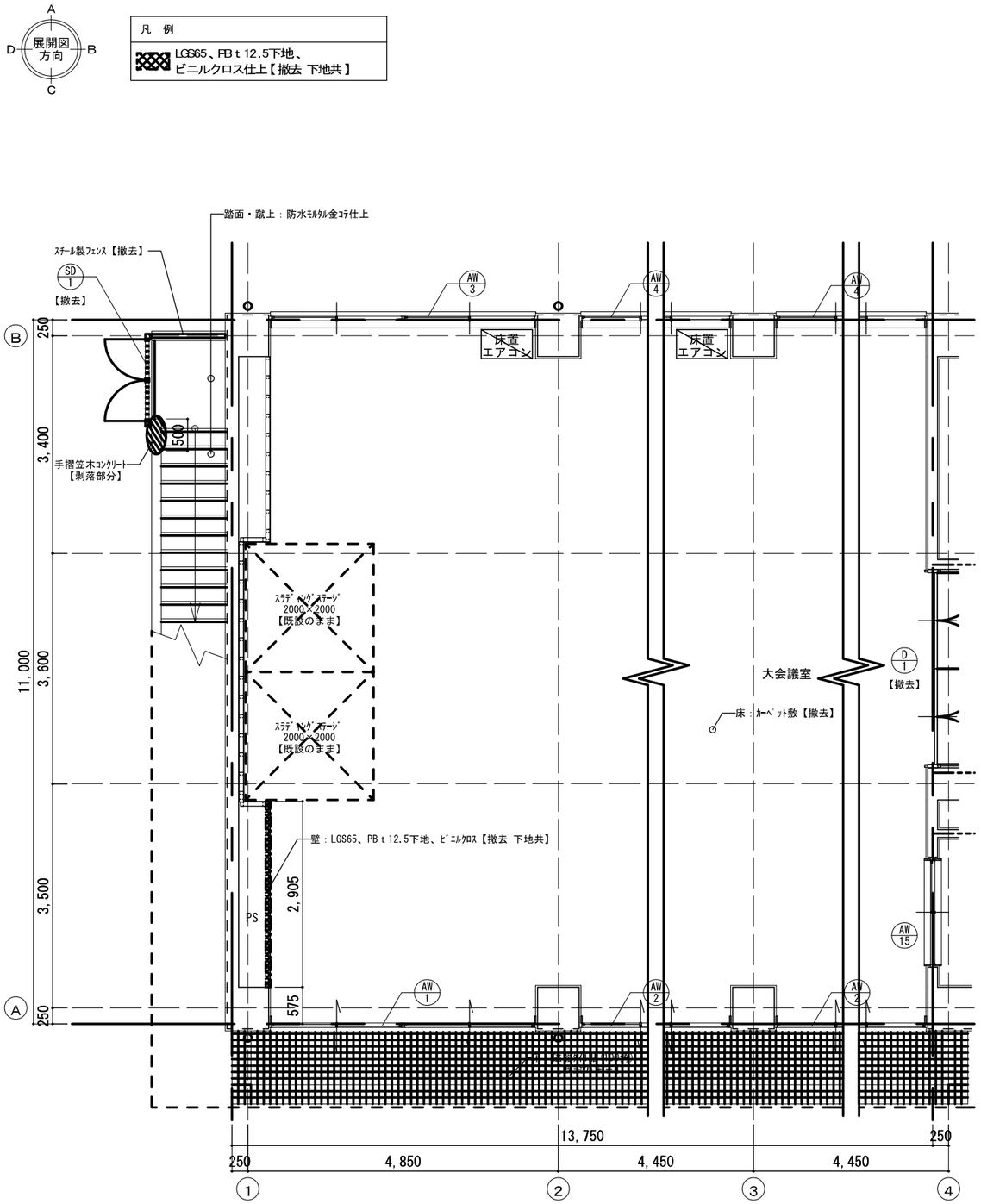


1階　事務室・玄関・ホール（改修後）

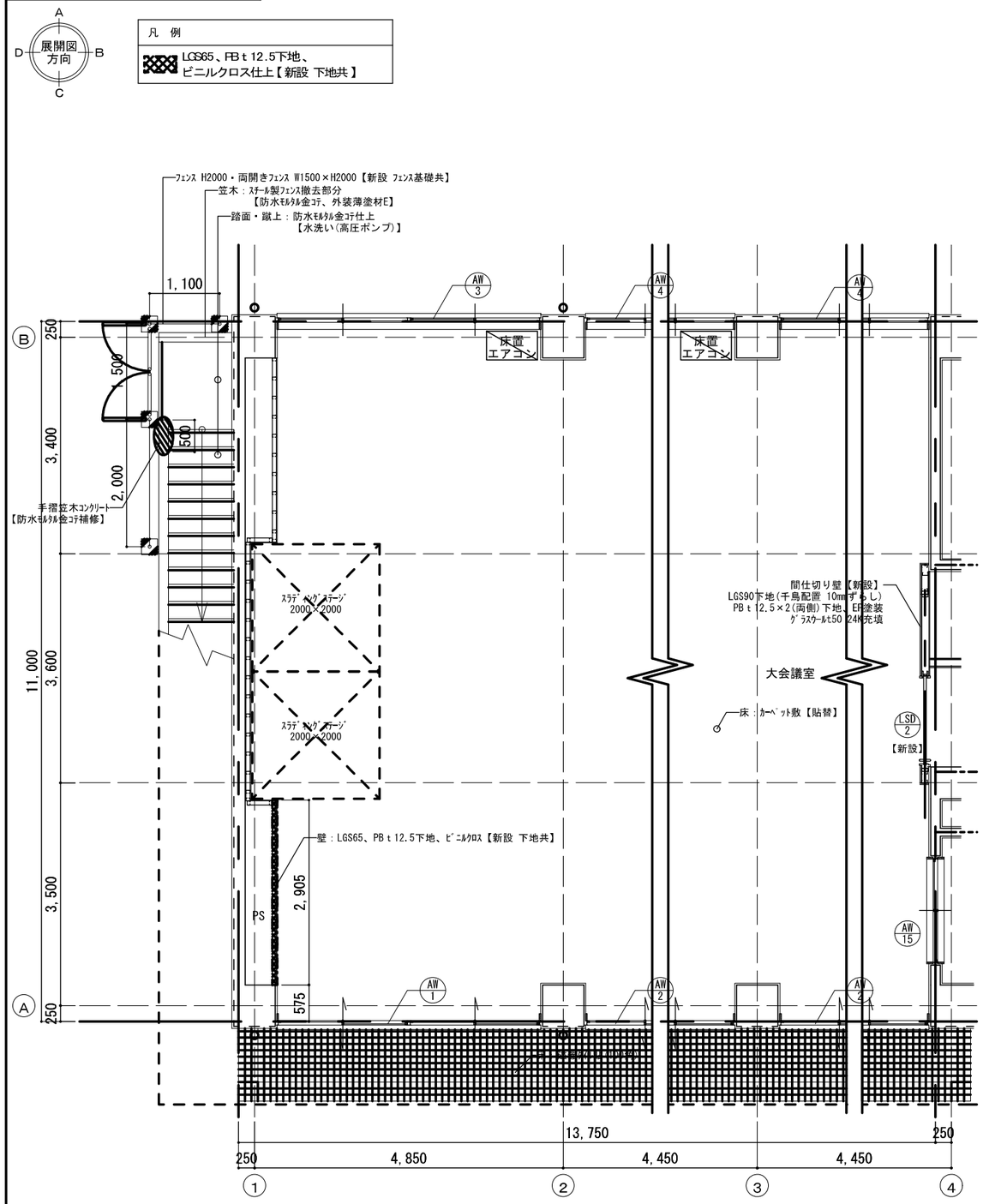


備考						
	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ ： 1/80 DATE Ｒ７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　平面詳細図　１階 事務室・玄関・ホール	A−22 原図：A3

1階　大会議室（改修前）

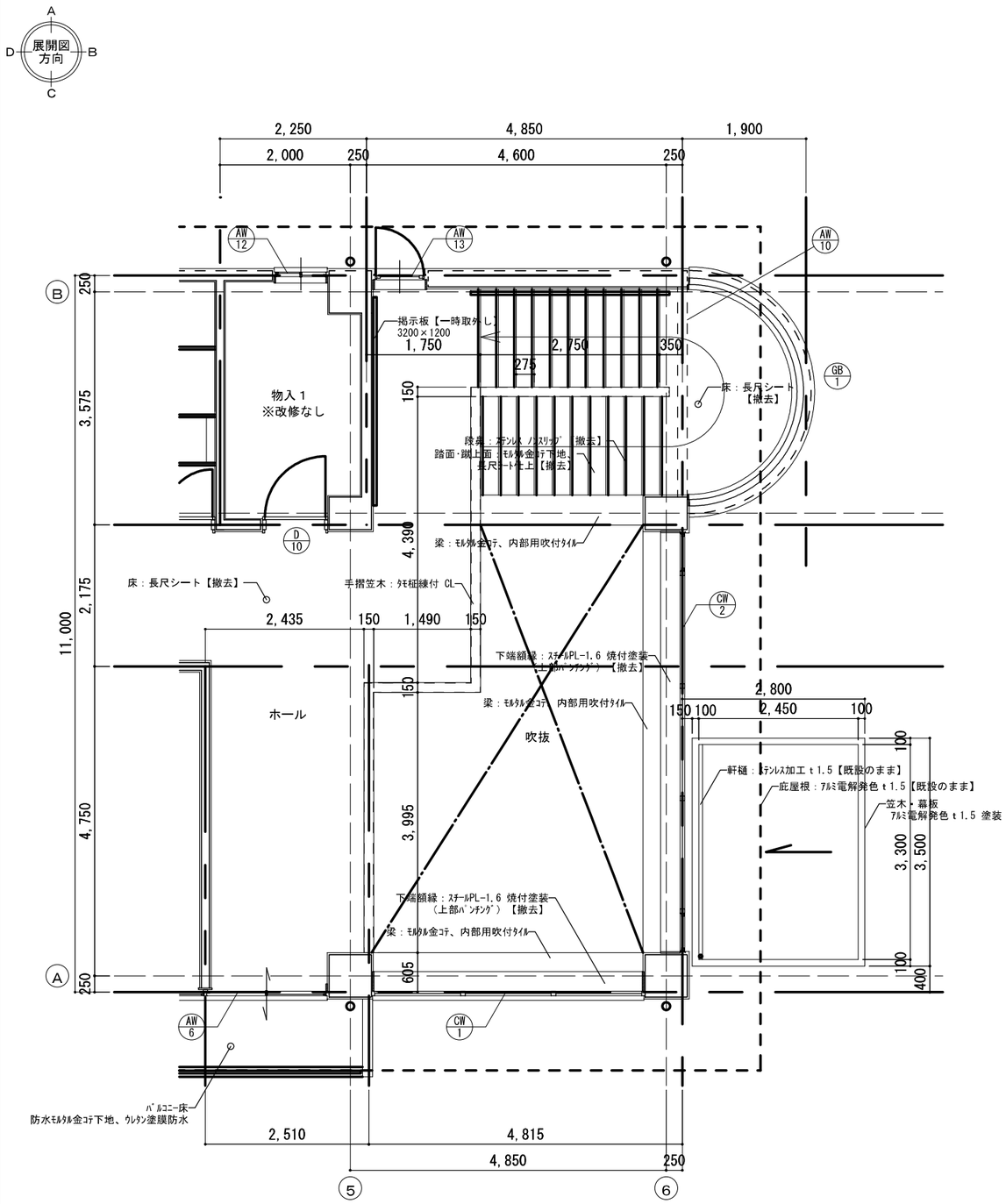


1階　大会議室（改修後）

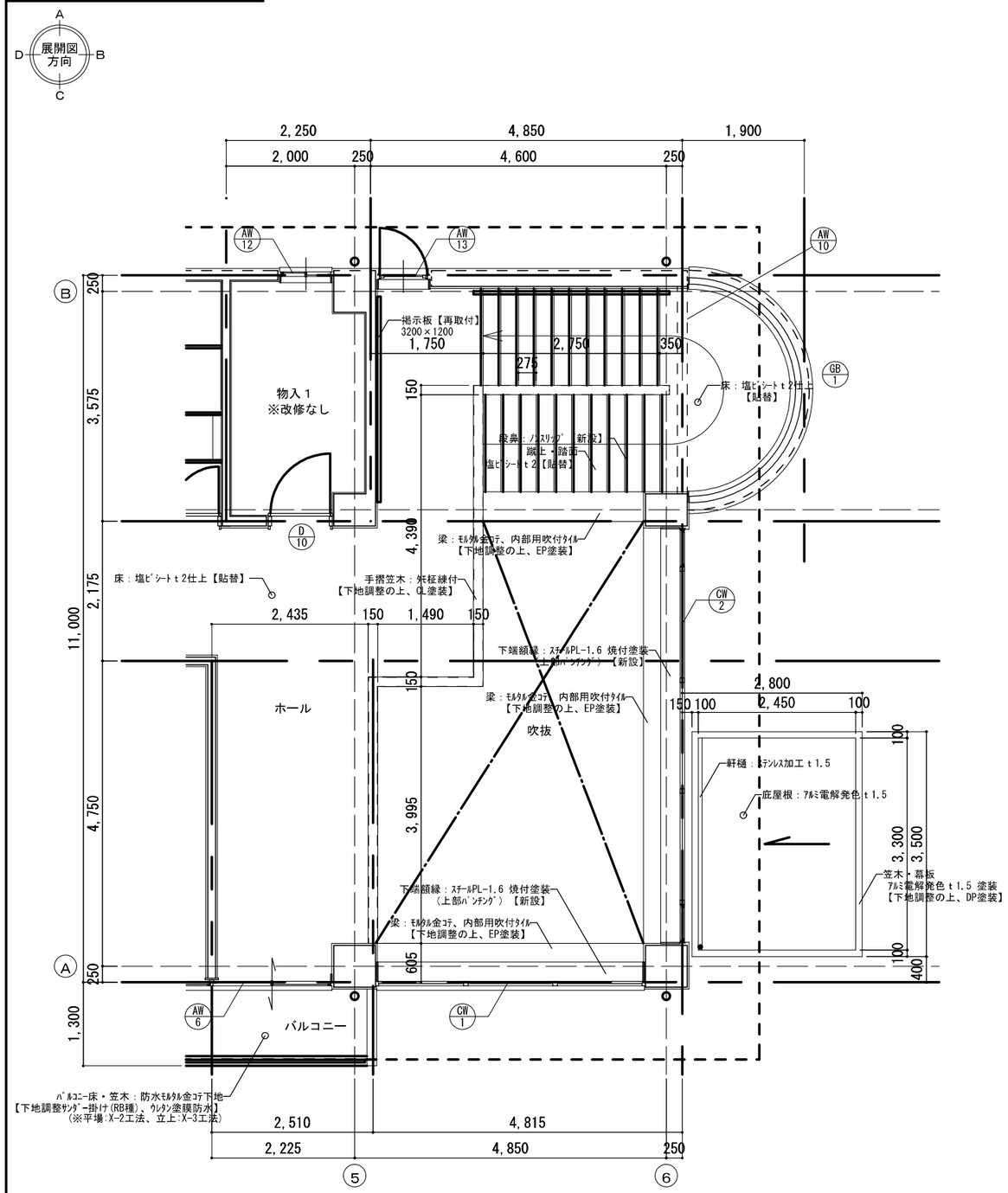


備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　平面詳細図　１階 大会議室	A−23 原図：A3

２階　ホール（改修前）

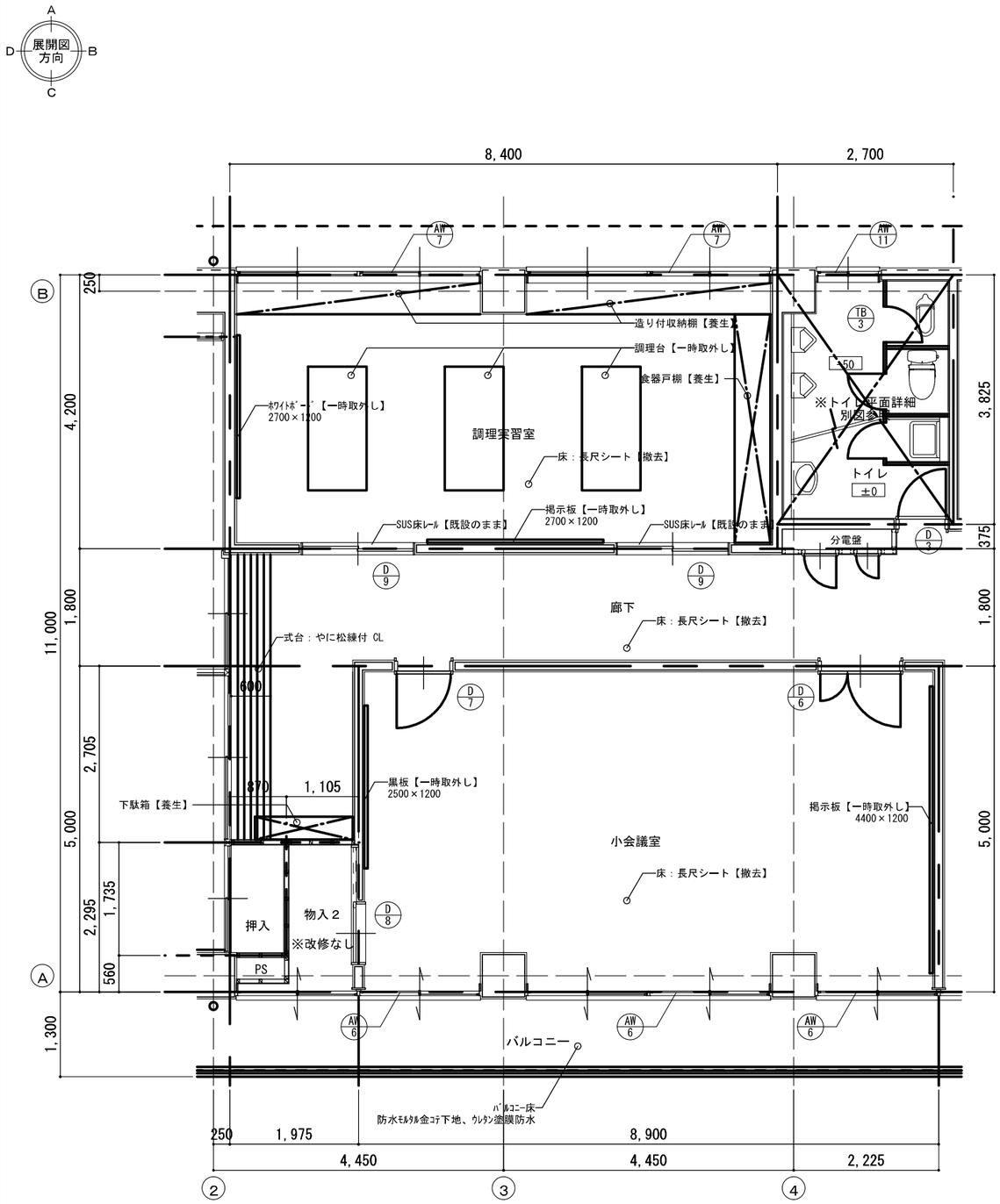


２階　ホール（改修後）

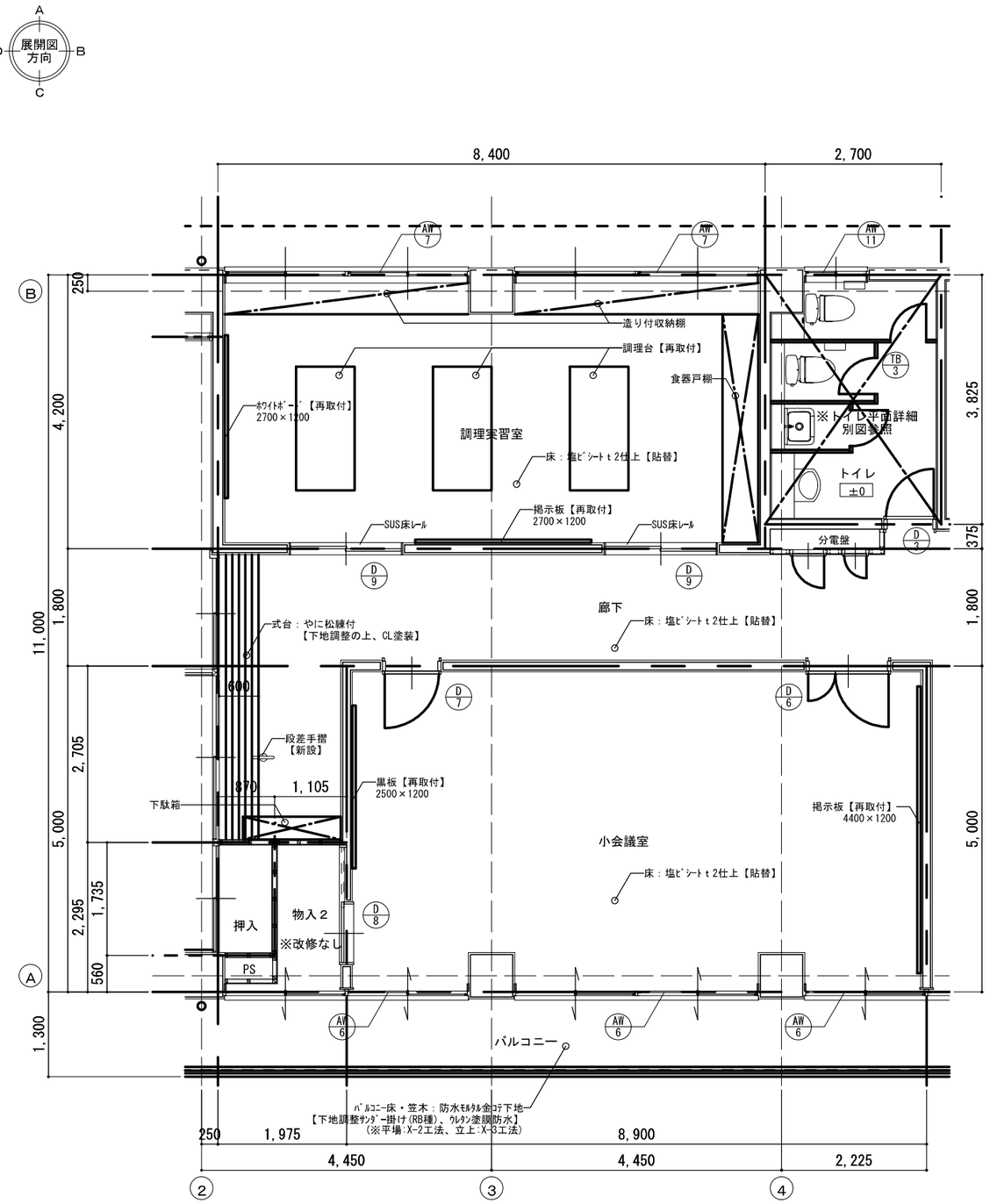


備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　平面詳細図　２階 ホール	A−24 原図：A3

２階　調理実習室・小会議室（改修前）

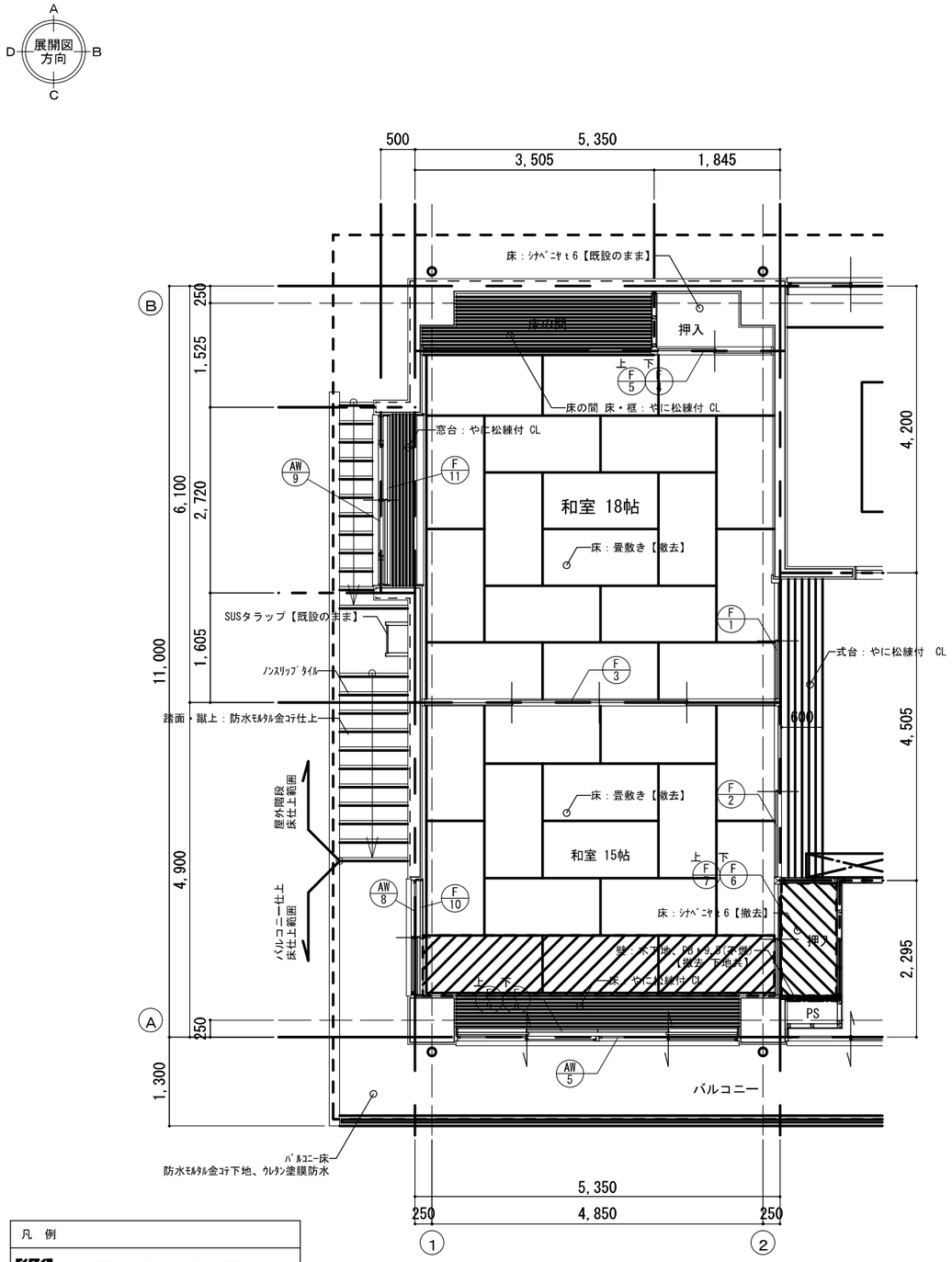


２階　調理実習室・小会議室（改修後）



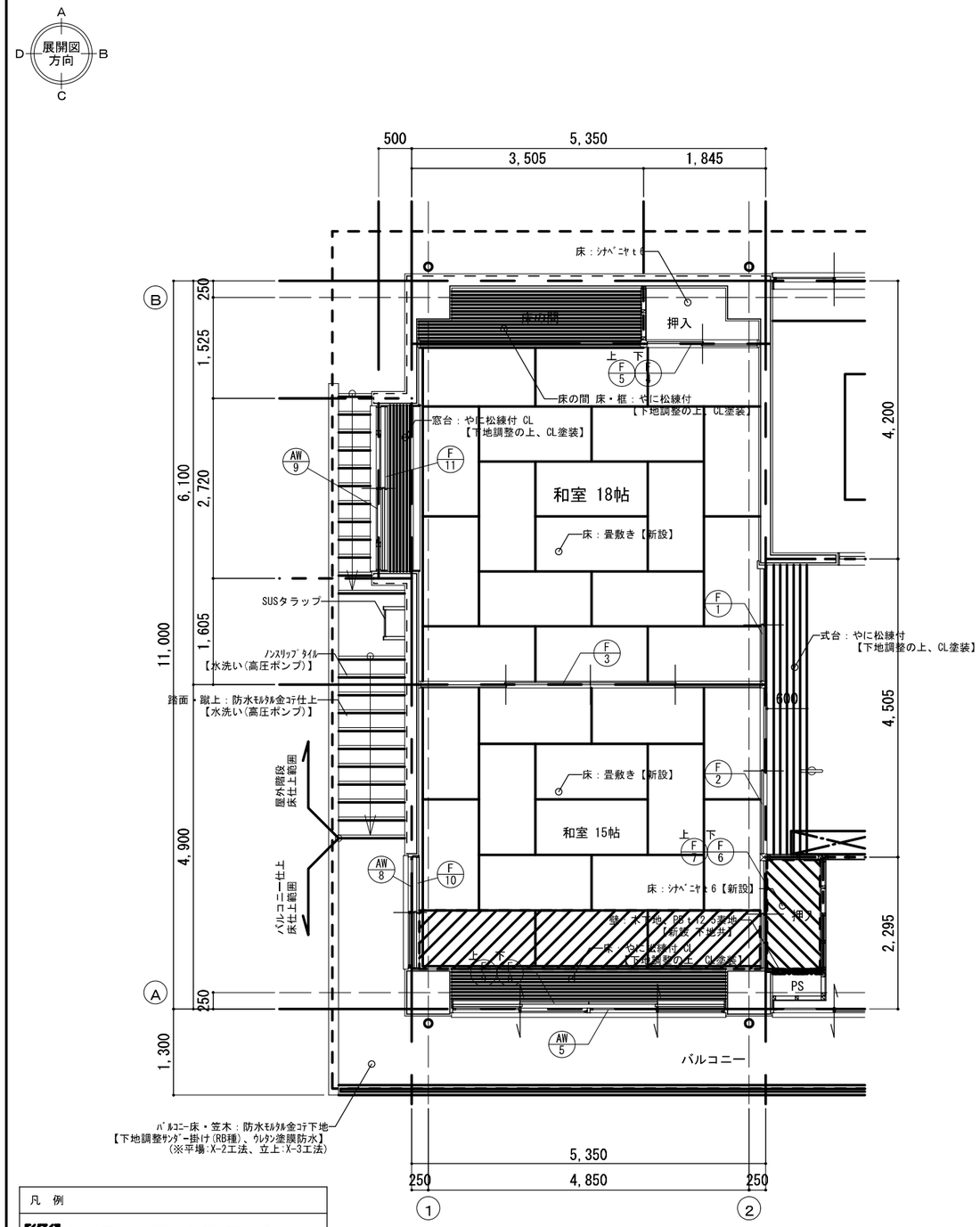
備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ ： 1/80 DATE Ｒ７．３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　平面詳細図　２階　調理実習室・小会議室	A−25 原図：A3

２階　調理実習室・小会議室（改修前）



凡　例
床：木下地組、畳敷き【撤去 下地共】
床：木下地組、シナベニヤｔ6【撤去 下地共】
壁：木下地、PBｔ9.5(不燃)【撤去 下地共】

２階　調理実習室・小会議室（改修後）



凡　例
床：木下地組、畳敷き【新設 下地共】
床：木下地組、シナベニヤｔ6【新設 下地共】
壁：LGS65下地、PBｔ12.5素地【新設 下地共】

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

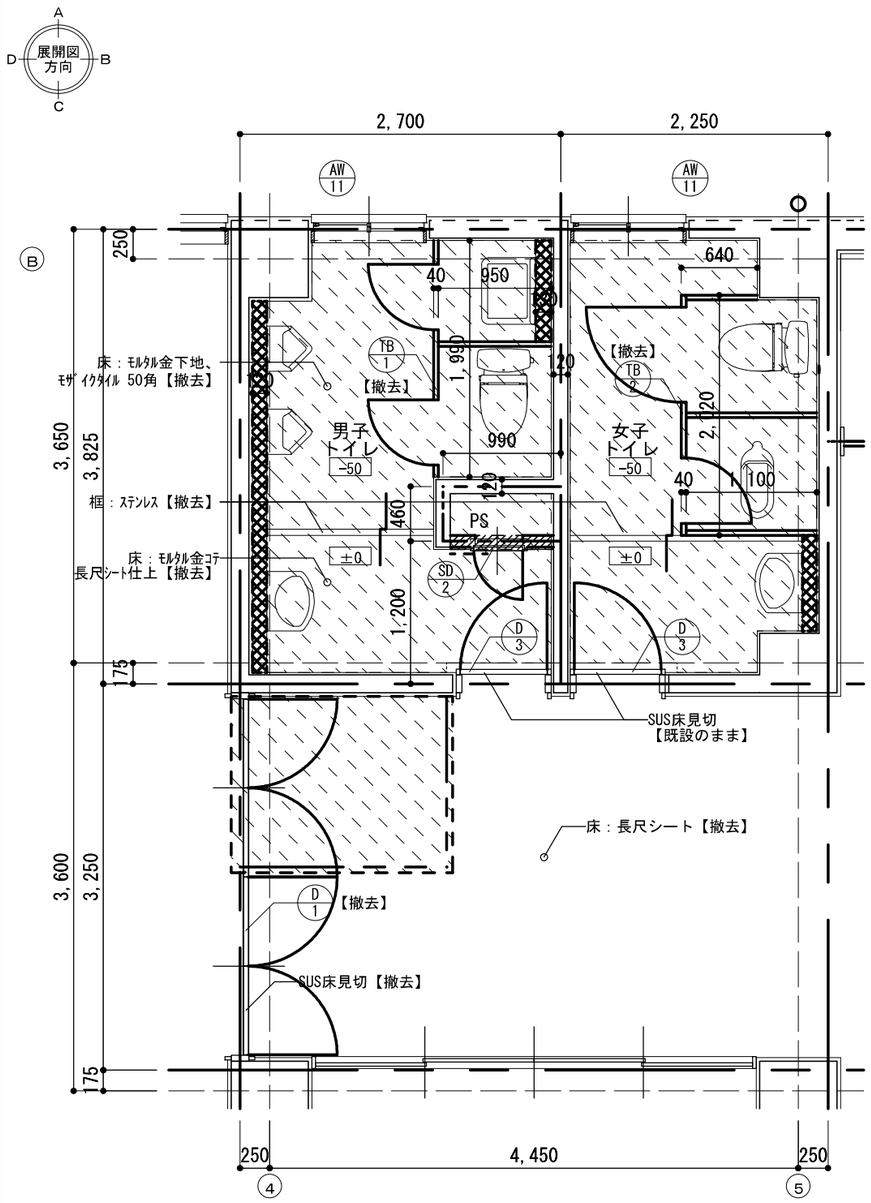
設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　A３：1/80
DATE　R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　平面詳細図　２階　和室

A−26
原図：A3

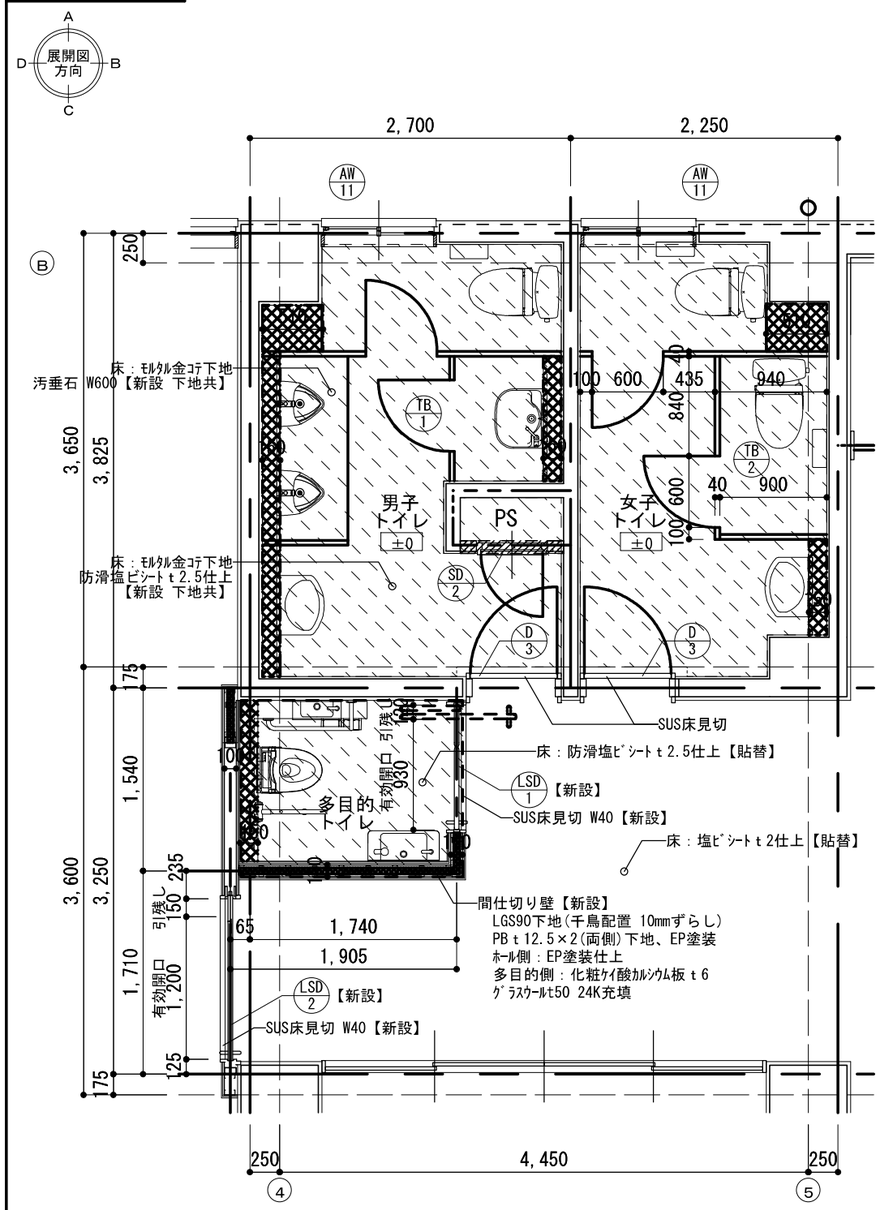
1階　トイレ（改修前）



凡　例

	土間コンクリート t 130【撤去】 ※土間撤去範囲廻り　カッター切断、既存鉄筋　はつり出し　400㎜程度
	配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ：CB t 100+陶器タイル貼【撤去】 面台：大理石 t 30【撤去】
	PS壁：CB壁+ﾓﾙﾀﾙ下地+仕上【撤去】 ※RC壁 カッター切断・鉄筋切除、　また、鉄筋切除面:錆止め塗装、壁撤去面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ補修

1階　トイレ（改修後）



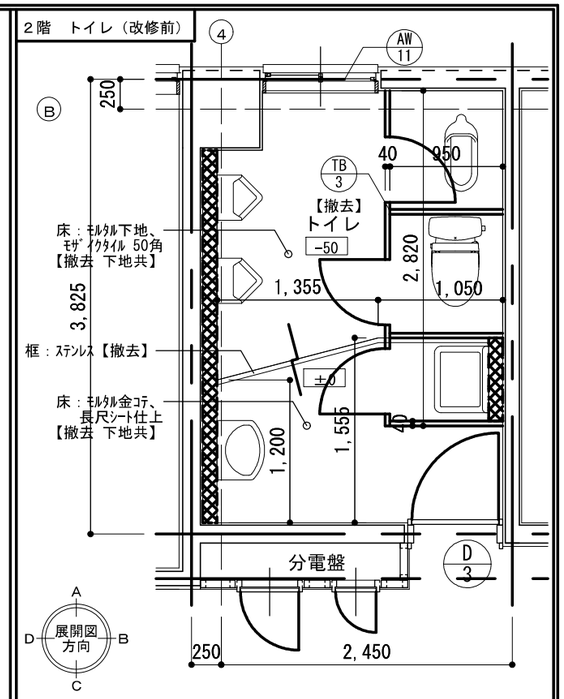
注 記

・多目的トイレの間仕切り壁は2階ｽﾗﾌﾞまで立ち上げる。

凡　例

	D10@200ﾀﾞﾌﾞﾙ、土間コンクリート t 180【新設】　※既存はつり出し鉄筋に定着 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ t 30下地、防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5【新設】
	配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ:LGS90、構造用合板1類t=12、化粧ｹｲｶﾙ t 6仕上【新設】 面台：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t 25【新設】
	PS壁：LGS90、ｼｰｼﾞﾝｸﾞPB t 12.5、化粧ｹｲｶﾙ t 6仕上【新設】

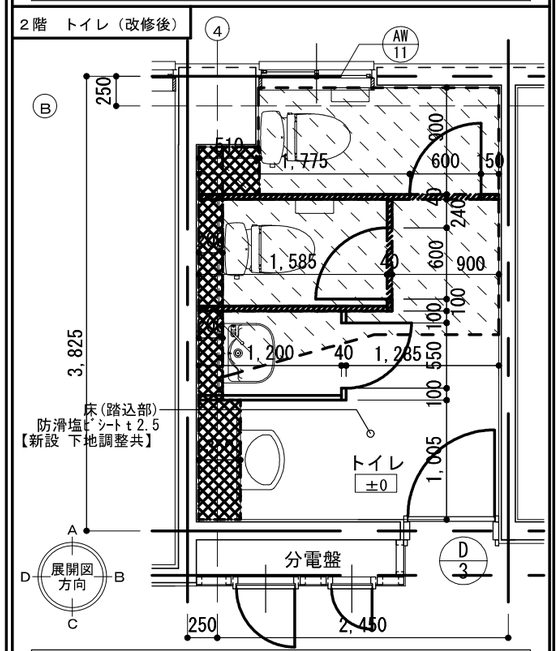
2階　トイレ（改修前）



凡　例

	配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ：CB t 100+陶器タイル貼【撤去】 面台：大理石 t 30【撤去】

2階　トイレ（改修後）



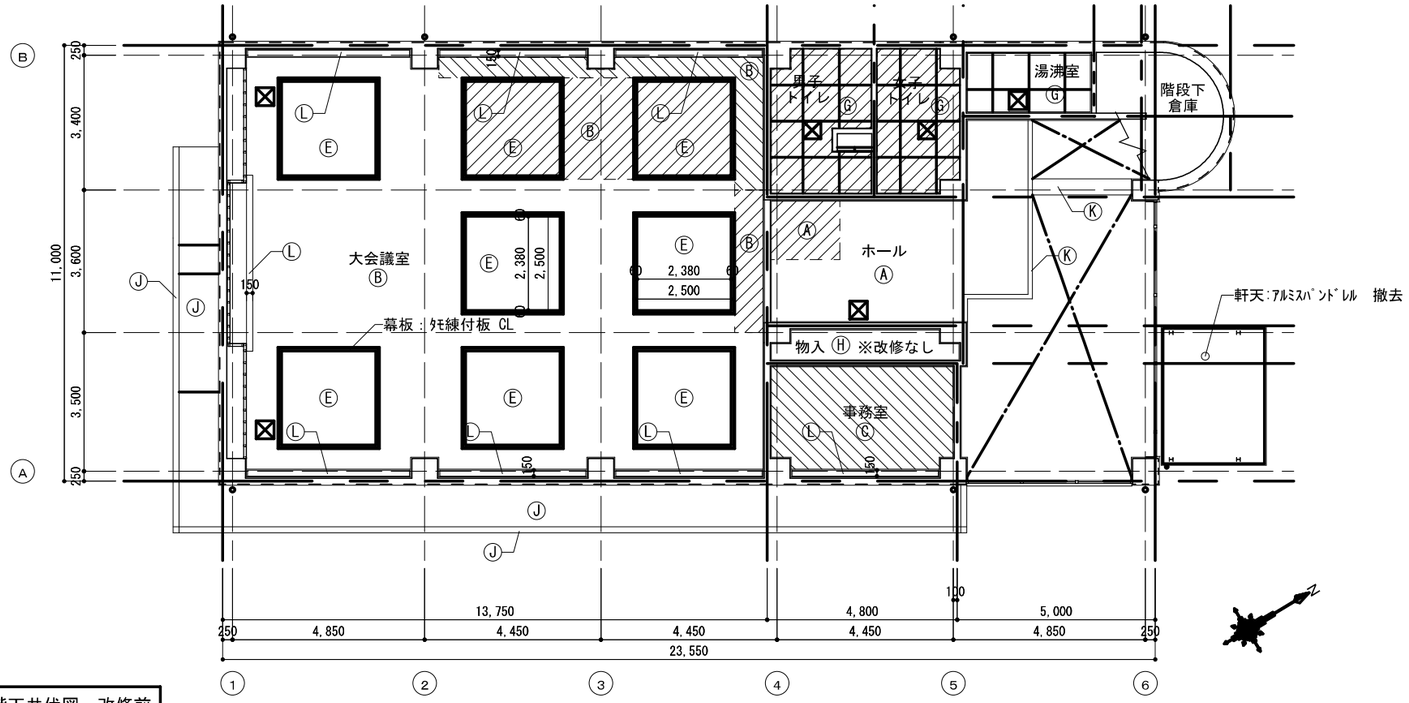
凡　例

	配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ:LGS90、構造用合板1類t=12、化粧ｹｲｶﾙ t 6仕上【新設】 面台：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t 25【新設】
	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ t 65程度、ﾓﾙﾀﾙ金こて t 28程度、防滑塩ﾋﾞｼｰﾄ t 2.5【新設 下地共】
	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：天井面まで立ち上げ

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 No.３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A-27
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352551 田端進也	A３ : 1/50	図面名称	平面詳細図　１・２階トイレ	原図：A3
		DATE R７，３			



1階天井伏図　改修前

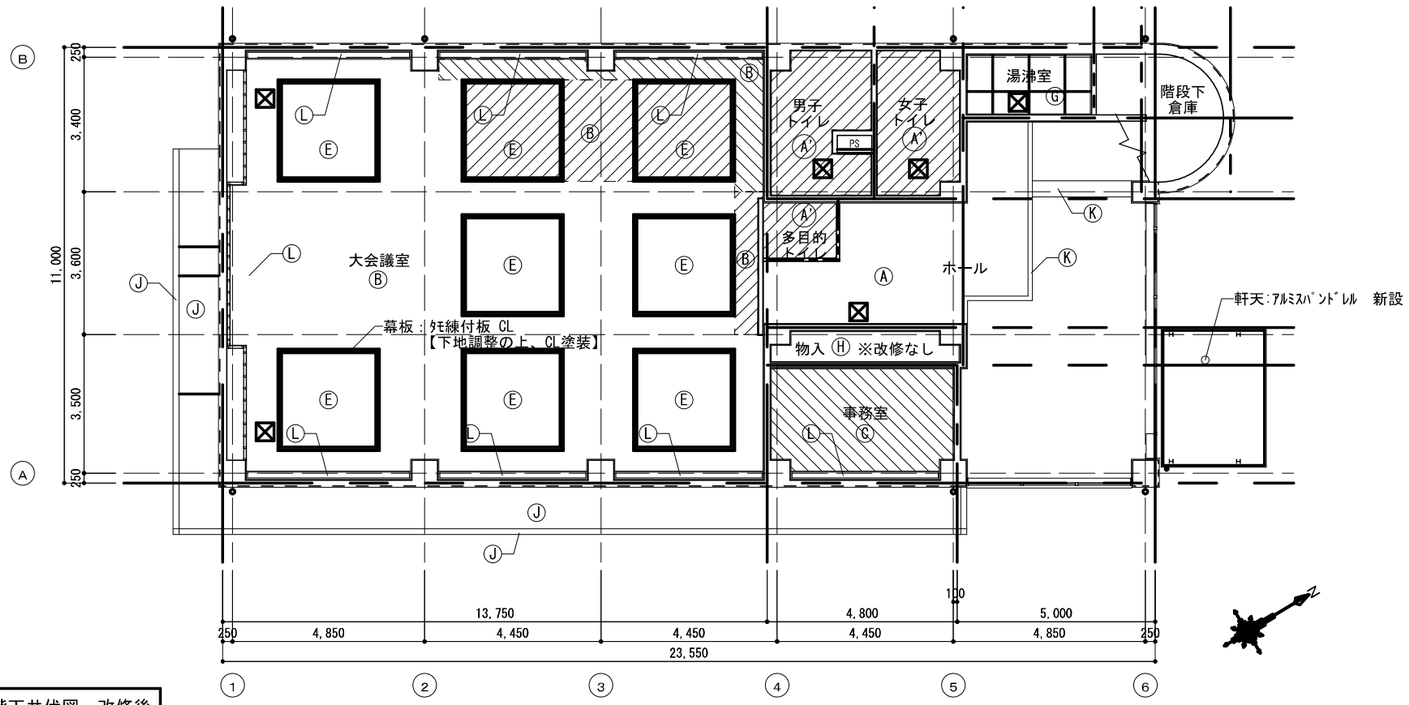
：天井撤去範囲（LGS下地共撤去）

：天井撤去範囲（LGS下地 既設のまま）

⊠：天井点検口450角
天井撤去範囲(LGS下地 撤去)部分　撤去
※展示用レールは一時取外し・再取付

凡　例

記号	天井仕上	下地	記号	天井仕上	下地
Ⓐ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｽﾄﾗｲﾌﾟ)	LGS	Ⓗ	PB t 9.5貼　LGS	LGS
Ⓑ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｸﾛｽ)	LGS	Ⓘ	PB t 9.5下地　ヒル石吹付	
Ⓒ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 12	LGS	Ⓙ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材Ｅ	－
Ⓓ	~~化粧PB t 9.5~~	LGS	Ⓚ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、内部用吹付ﾀｲﾙ	－
Ⓔ	PB t 9.5下地(不燃)　ｸﾛｽ貼仕上 【ｸﾛｽ撤去】	LGS	Ⓛ	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ・枠等　ﾀﾓ柾練付 CL	－
Ⓕ	~~化粧PB t 12.5(杉柾)（不燃）~~	LGS	Ⓜ	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　OP塗装	－
Ⓖ	PB t 9.5下地(目透)　EP塗装仕上	LGS	Ⓝ	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　ｽﾁｰﾙ PL-1.6曲加工 焼付塗装	－



1階天井伏図　改修後

：天井新設範囲（LGS下地 新設）

：天井新設範囲（LGS下地 既設のまま）

※天井改修について、天井新設範囲については、既存仕様(下記 凡例参照)の通り復旧を行う。
既存天井仕上から仕様変更する部分については<---->内に記した仕上に変更する
また、天井撤去・新設範囲以外の部分については既存仕上に【---】内に記した改修を行う。

⊠：天井点検口450角
天井新設範囲(LGS下地 撤去)部分　新設

凡　例

記号	天井仕上	下地	記号	天井仕上	下地
Ⓐ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 【下地調整の上、EP塗装】	LGS	Ⓗ	PB t 9.5貼 【既設のまま】	
Ⓐ'	＜化粧PB t 9.5仕上＞ 多目的ﾄｲﾚのみ 天井裏：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K t 50 敷込み	LGS	Ⓘ	~~PB t 9.5下地　ヒル石吹付~~	LGS
Ⓑ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｸﾛｽ) 【下地調整の上、EP塗装】	LGS	Ⓙ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材Ｅ 【下地調整ｻﾝﾀﾞｰRB種の上、外装薄塗材E】	－
Ⓒ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 12	LGS	Ⓚ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、内部用吹付ﾀｲﾙ 【下地調整の上、EP塗装】	－
Ⓓ	~~化粧PB t 9.5~~	LGS	Ⓛ	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ・枠等 ﾀﾓ柾練付 【下地調整の上、CL塗装】	－
Ⓔ	PB t 9.5下地(不燃)　ｸﾛｽ貼仕上 【ｸﾛｽ貼替】	LGS	Ⓜ	~~木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　OP塗装~~ 【下地調整の上、SOP塗装】	－
Ⓕ	~~化粧PB t 12.5(杉柾)（不燃）~~	LGS	Ⓝ	~~ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　ｽﾁｰﾙ PL-1.6曲加工 焼付塗装~~ 【既設のまま】	－
Ⓖ	PB t 9.5下地(目透)　EP塗装仕上 【下地調整の上、EP塗装】	LGS			

備考

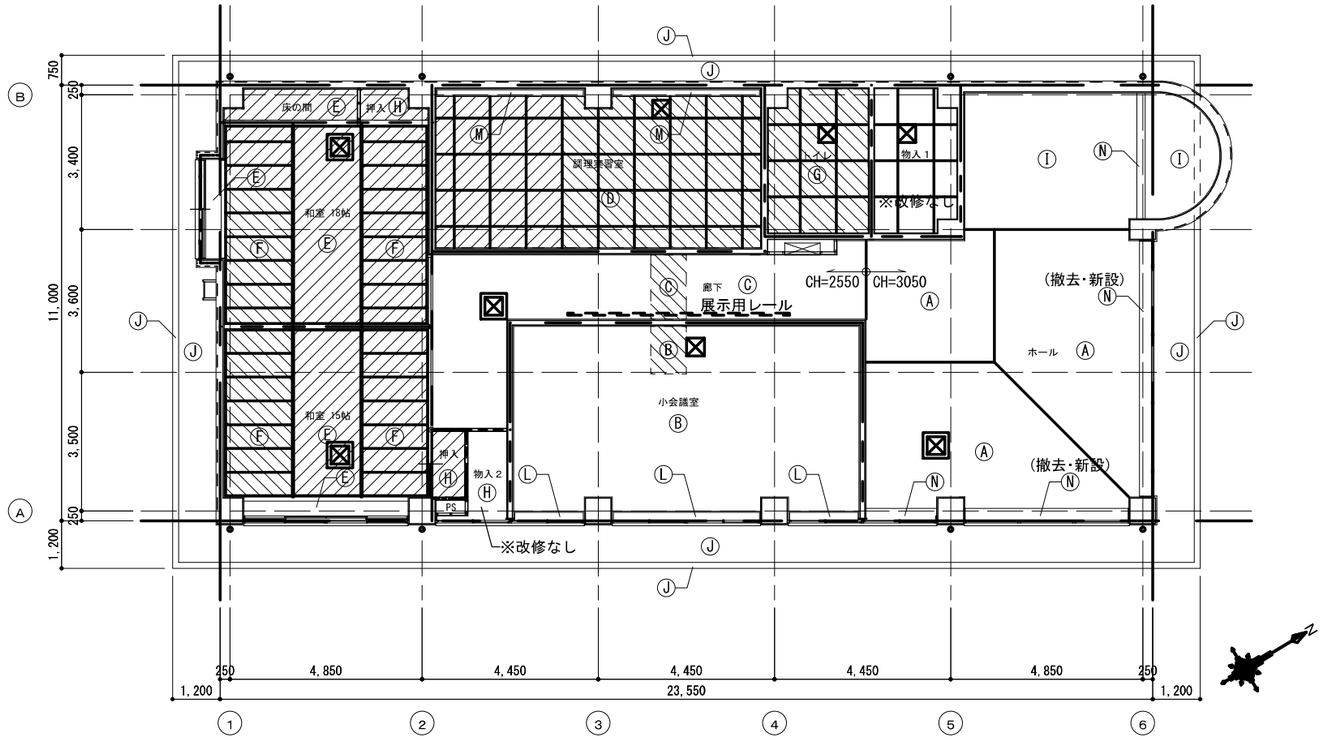
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者：一級建築士 №352551 田端進也
設計担当者：一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　A３：1/150
DATE　R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　1階 天井伏図

A−28
原図：A3



▨：天井撤去・新設範囲（LGS下地 撤去・新設）

▧：天井撤去・新設範囲（LGS下地【既設のまま】）

※天井改修について、天井撤去・新設範囲については、既存仕様(下記 凡例参照)の通り復旧を行う。
既存天井仕上から仕様変更する部分については＜──＞内に記した仕上に変更する
また、天井撤去・新設範囲以外の部分については既存仕上に【──】内に記した改修を行う。

⊠：天井点検口450角
天井撤去範囲(LGS下地 撤去)部分　撤去・新設

⊠：天井点検口450角（新設 開口補強共）
・天井撤去・新設でない部分で点検口を新設する部分については
天井仕上・下地は最小減の範囲で撤去・新設を行う

※展示用レールは一時取外し・再取付

※天井仕上撤去部はグラスウール t 50 24K　撤去・新設

凡　例

記号	天井仕上	下地	記号	天井仕上	下地
Ⓐ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 【下地調整の上、EP塗装】	LGS	Ⓗ	PB t 9.5貼	LGS
Ⓑ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 19(ｸﾛｽ) 【下地調整の上、EP塗装】	LGS	Ⓘ	PB t 9.5下地　ヒル石吹付 【下地調整の上、EP塗装】	LGS
Ⓒ	PB t 9.5捨貼　岩綿吸音板貼 t 12 【下地調整の上、EP塗装】	LGS	Ⓙ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　外装薄塗材Ｅ 【下地調整ｻﾝﾀﾞｰRB種の上、外装薄塗材E】	－
Ⓓ	化粧PB t 9.5	LGS	Ⓚ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、内部用吹付ﾀｲﾙ	－
Ⓔ	PB t 9.5下地(不燃)　ｸﾛｽ貼仕上 【ｸﾛｽ貼替え】	LGS	Ⓛ	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ・枠等　ﾀﾓ柾練付 CL 【下地調整の上、CL塗装】	－
Ⓕ	化粧PB t 12.5(杉柾)（不燃） 【和風化粧PB t 12.5　目透貼(不燃)】	LGS	Ⓜ	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　OP塗装 【下地調整の上、SOP塗装】	－
Ⓖ	PB t 9.5下地(目透)　EP塗装仕上 ＜化粧PB t 9.5＞	LGS	Ⓝ	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　ｽﾁｰﾙ PL-1.6曲加工 焼付塗装 【ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ部のみ撤去・新設】	－

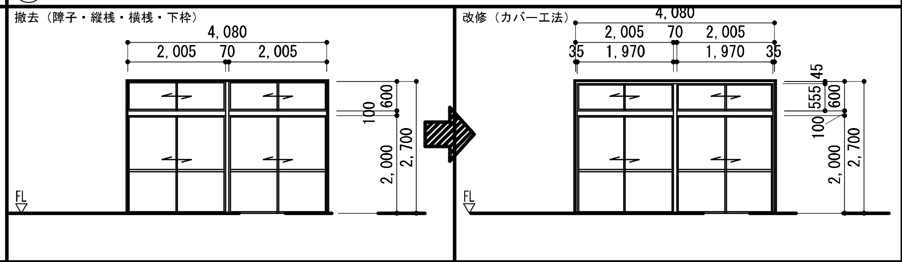
備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−29
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/150	図面名称	２階 天井伏図	原図：A3
		DATE R７，３			

AW-1（1ヶ所）

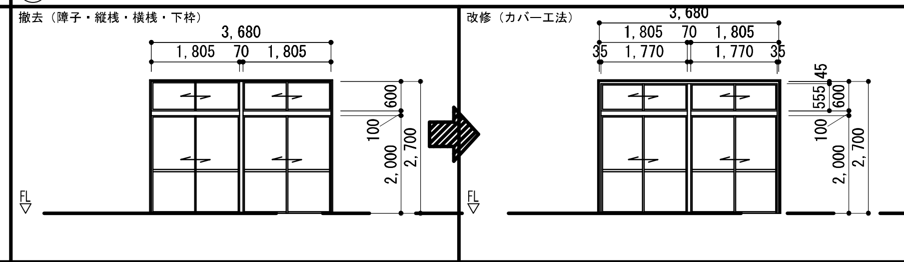
撤去（障子・縦桟・横桟・下枠） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	1階　大会議室			
形式／見込	ﾗﾝﾏ2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70	ﾗﾝﾏ 2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL±0	強化ガラス t 6.0	FL±0
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、下枠 ｽﾃﾝﾚｽ t 2、ｽﾃﾝﾚｽ水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置(ﾊﾝﾄﾞﾙ H=FL+1200)隠ぺい型	

AW-2（2ヶ所）

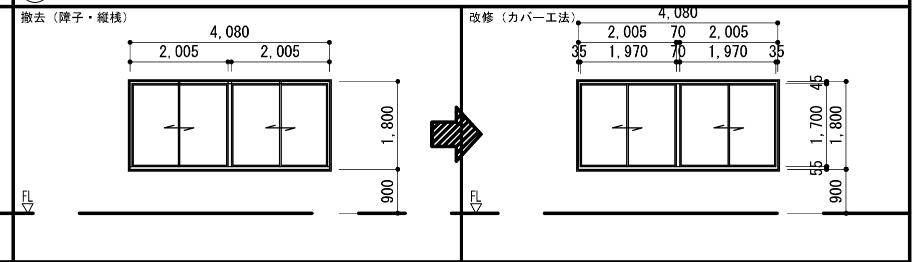
撤去（障子・縦桟・横桟・下枠） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	1階　大会議室			
形式／見込	ﾗﾝﾏ2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70	ﾗﾝﾏ 2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL±0	強化ガラス t 6.0	FL±0
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、下枠 ｽﾃﾝﾚｽ t 2、ｽﾃﾝﾚｽ水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置(ﾊﾝﾄﾞﾙ H=FL+1200)隠ぺい型	

AW-3（1ヶ所）

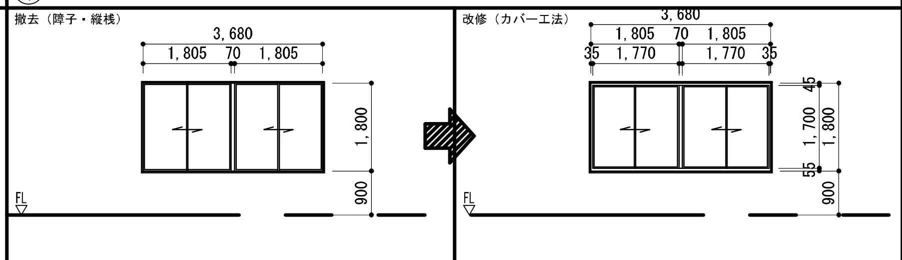
撤去（障子・縦桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	1階　大会議室			
形式／見込	2連引違窓	70	2連引違窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL+900	強化ガラス t 6.0	FL+900
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-4（3ヶ所）

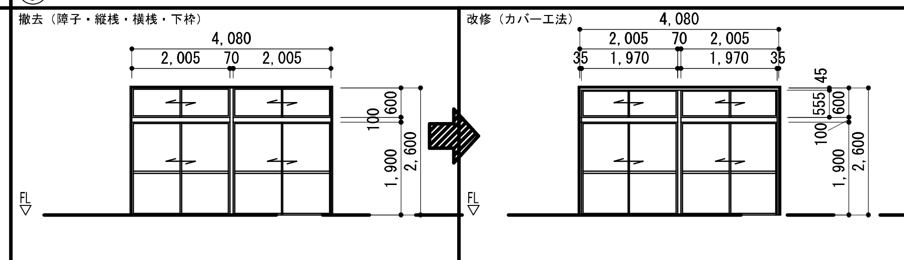
撤去（障子・縦桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	1階　大会議室			
形式／見込	2連引違窓	70	2連引違窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL+900	強化ガラス t 6.0	FL+900
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-5（1ヶ所）

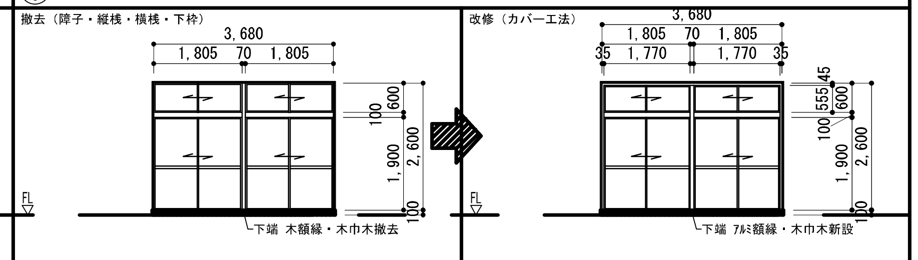
撤去（障子・縦桟・横桟・下枠） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　和室15帖			
形式／見込	ﾗﾝﾏ2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70	ﾗﾝﾏ 2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL±0	強化ガラス t 6.0	FL±0
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、下枠 ｽﾃﾝﾚｽ t 2、ｽﾃﾝﾚｽ水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置(ﾊﾝﾄﾞﾙ H=FL+1200)隠ぺい型	

AW-6（3ヶ所）

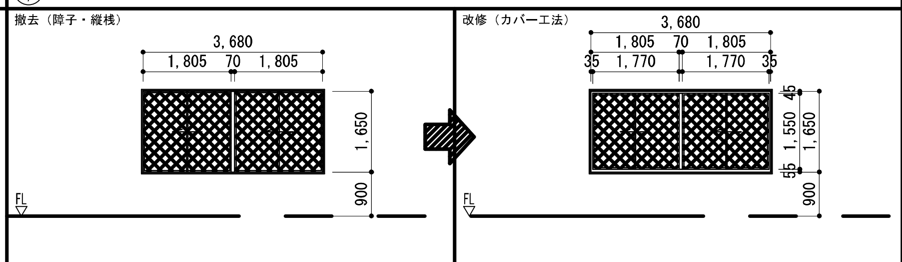
撤去（障子・縦桟・横桟・下枠） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　小会議室、ホール、物入2			
形式／見込	ﾗﾝﾏ2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70	ﾗﾝﾏ 2連引違窓・2連引違掃き出し窓	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 5	FL±0	強化ガラス t 6.0	FL±0
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、下枠 ｽﾃﾝﾚｽ t 2、ｽﾃﾝﾚｽ水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置(ﾊﾝﾄﾞﾙ H=FL+1200)隠ぺい型	

AW-7（2ヶ所）

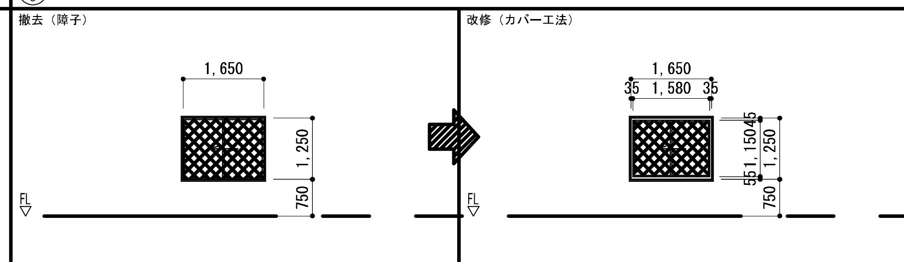
撤去（障子・縦桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　調理実習室			
形式／見込	2連引違窓	70	2連引違窓（防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+900	網入り透明ガラス t 6.8	FL+900
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-8（1ヶ所）

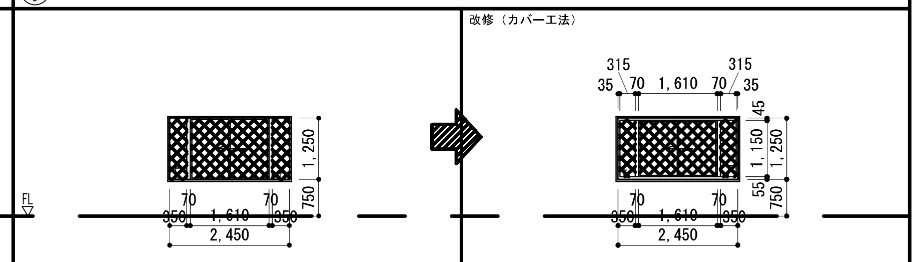
撤去（障子） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　和室15帖			
形式／見込	引違窓	70	引違窓（防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+750	網入り透明ガラス t 6.8	FL+900
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-9（1ヶ所）

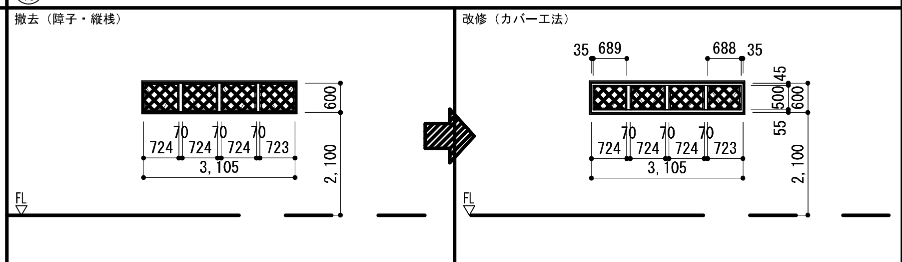
改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　和室15帖			
形式／見込	両袖FIX付引違窓	70	両袖FIX付引違窓（防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+750	網入り透明ガラス t 6.8	FL+750
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-10（1ヶ所）

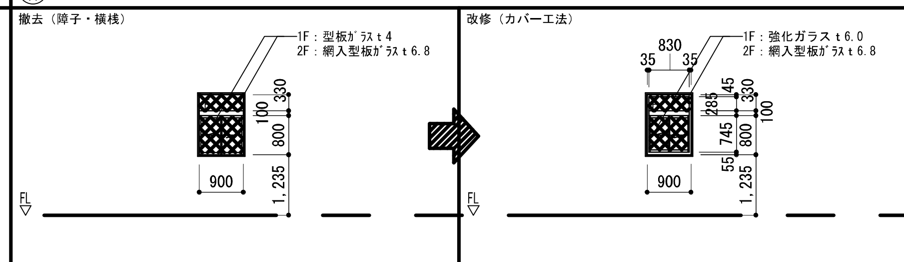
撤去（障子・縦桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　ホール			
形式／見込	4連外倒し窓	70	4連外倒し窓（防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+2100	網入り透明ガラス t 6.8	FL+2100
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、二重水切、PL-1.6ｽﾁｰﾙ焼付(3方額縁)		水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ		ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置(ﾊﾝﾄﾞﾙ H=FL+1200)隠ぺい型	

AW-11（3ヶ所）

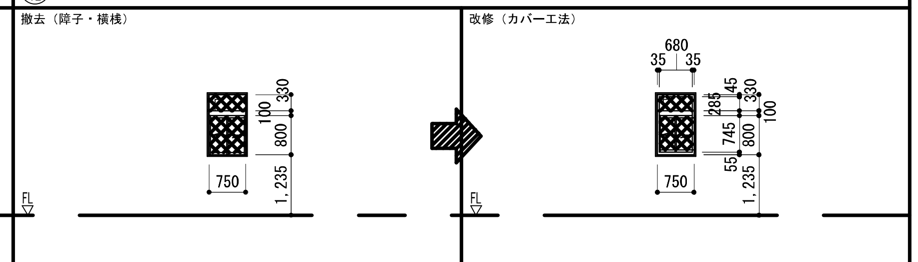
撤去（障子・横桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	1階　男子・女子トイレ、2階　ﾄｲﾚ			
形式／見込	ﾗﾝﾏFIX窓付引違窓	70	ﾗﾝﾏFIX窓付引違窓（2階：防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	1F：型板ｶﾞﾗｽ t 4 2F：網入型板ｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+1235	1F：強化ガラス t 6.0 2F：網入り型板ガラス t 6.8	FL+1235
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、ｱﾙﾐ額縁、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

AW-12（1ヶ所）

撤去（障子・横桟） → 改修（カバー工法）



項目	撤去		改修	
場所	2階　物入1			
形式／見込	ﾗﾝﾏFIX窓付引違窓	70	ﾗﾝﾏFIX窓付引違窓（防火設備）	70
仕上／材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子／下端	網入型板ｶﾞﾗｽ t 6.8	FL+1185	網入り型板ガラス t 6.8	FL+1235
付属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ(4方)、ｱﾙﾐ額縁、二重水切		クレセント、水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	ｻﾗﾝ網戸		可動網戸 合成樹脂網(24ﾒｯｼｭ)	

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士　№３５２５５１　田端　進也

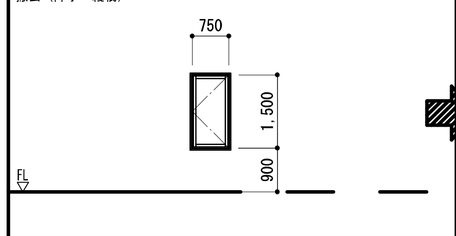
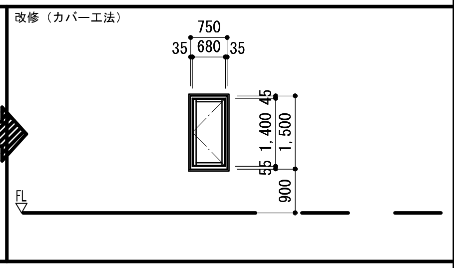
設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　A3 ： 1/150
DATE　R7，3

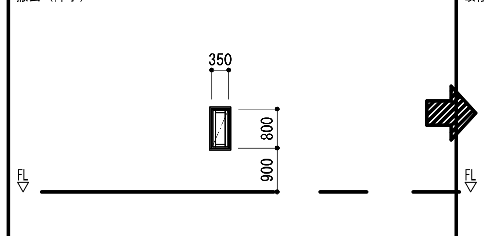
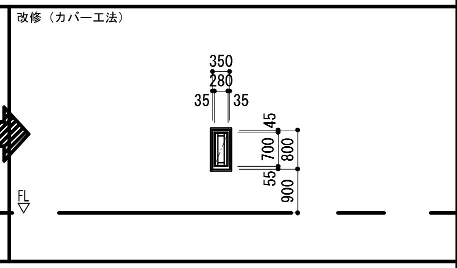
工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　建具表（1）

A-30
原図：A3

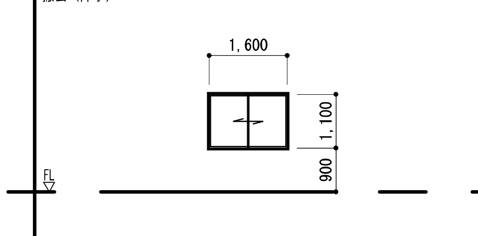
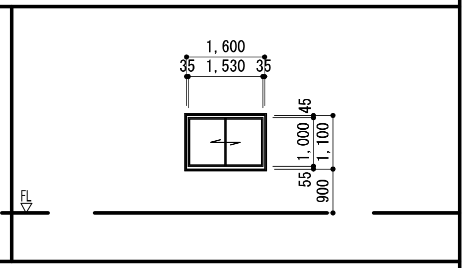
AW 13　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子・縦桟）		改修（カバー工法）	
姿図				
場所	2階　ホール			
形式 見込	片開き窓	70	片開き窓（防火設備）	70
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	網入型板ガラスｔ6.8	FL+900	網入り型板ガラスｔ6.8	FL+900
付属金物	アングルピース(4方)、二重水切		水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	－		可動網戸 合成樹脂網(24メッシュ)	

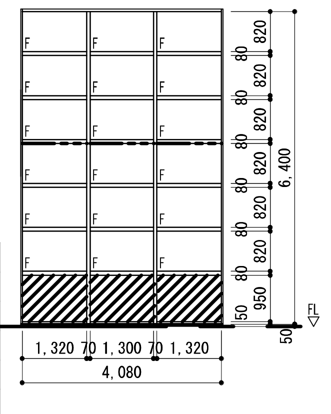
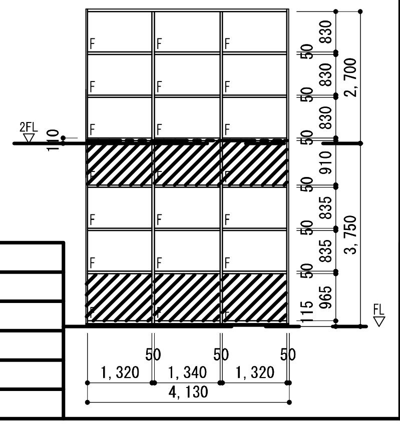
AW 14　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子）		改修（カバー工法）	
姿図				
場所	1階　階段下倉庫			
形式 見込	すべり出し窓	70	すべり出し窓	70
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	型板ガラスｔ4	FL+900	強化型板ガラスｔ6.0	FL+900
付属金物	二重水切		水切り、付属金物一式	
備考	－		－	

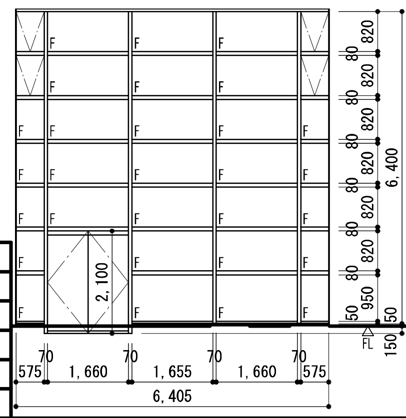
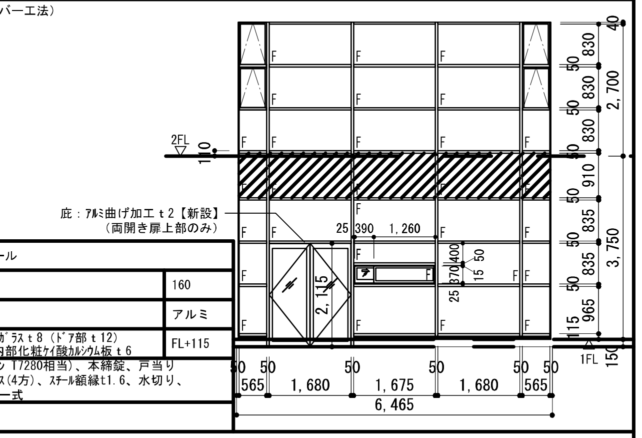
AW 15　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子）			
姿図				
場所	1階　事務室			
形式 見込	引違窓	70	引違窓	70
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	トーメイガラスｔ5	FL+900	強化ガラスｔ6.0	FL+900
付属金物	アングルピース(4方)両側		クレセント、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	－		－	

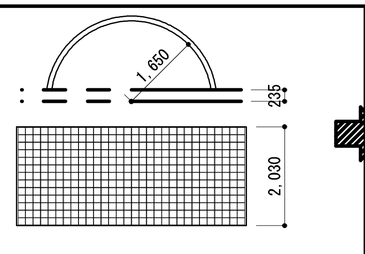
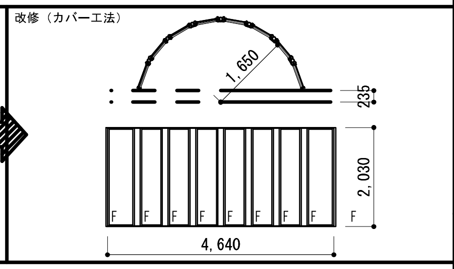
CW 1　1ヶ所

記号 数量	撤去		新設	
姿図				
場所	1階　ホール		1階　ホール	
形式 見込	カーテンウォール	70	カーテンウォール	160
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	熱線吸収ガラスｔ8 斜線部 アルミ シリコン止	FL+100	熱線吸収ガラスｔ8 斜線部 内部化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	FL+115
付属金物	アングルピース(4方)、二重水切		アングルピース(4方)、二重水切	
備考	カーテンボックス スチールPLt1.6 焼付塗装		カーテンボックス スチールPLt1.6 焼付塗装	

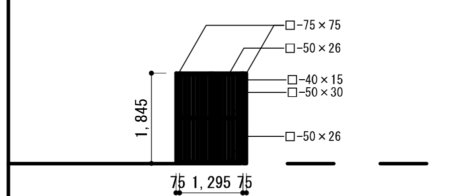
CW 2　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子・縦桟・横桟）		改修（カバー工法）	
姿図				
場所	1階　ホール		1階　ホール	
形式 見込	カーテンウォール	70	カーテンウォール	160
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	熱線吸収ガラスｔ8 熱線吸収強化ガラスｔ12(ドア)	FL-150	熱線吸収ガラスｔ8（ドア部ｔ12） 斜線部 内部化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	FL+115
付属金物	アングルピース(4方)、フロアヒンジ、 引棒ステンレス(ユニオンｔ7230程度)、シリンダー錠 オペレーター、2方たて額縁PL-1.6スチール焼付、 カーテンBOX PL-1.6スチール焼付		押棒(ユニオン T7280相当)、本締錠、戸当り アングルピース(4方)、スチール額縁t1.6、水切り、 付属金物一式	
備考			－	

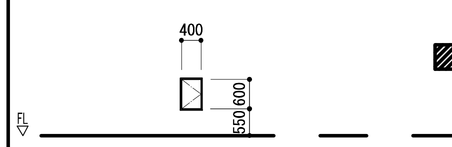
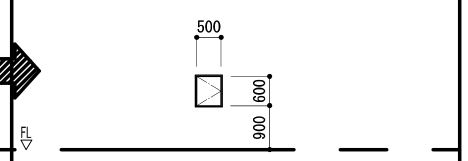
GB 1　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子）		改修（カバー工法）	
姿図				
場所	屋内階段			
形式 見込	ガラスブロック	100	多角8連FIX窓	70
仕上 材質	カラー	アルミ	カラー	アルミ
硝子 下端	熱線反射ガラスブロック 145×145×95	FL+900	強化ガラスｔ6.0	FL+750
付属金物	アングルピース(4方)、二重水切		水切り、アルミ額縁、付属金物一式	
備考	－		－	

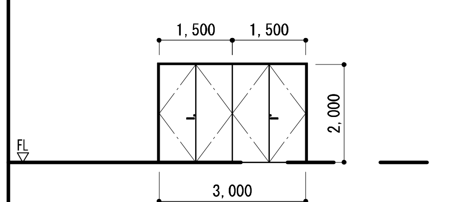
SD 1　1ヶ所

記号 数量	撤去			
姿図				
場所	屋外階段			
形式 見込	－	50		
仕上 材質	OP塗装	スチール		
硝子 下端	－	－		
付属金物	丁番、レバーハンドル錠、フランス落し			
備考	－			

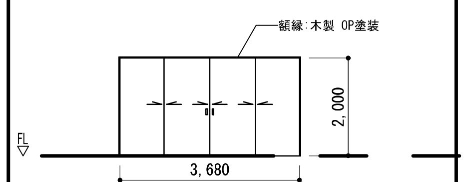
SD 2

記号 数量	撤去（障子・枠共）		新設（枠共）	
姿図				
場所	1階　男子トイレ			
形式 見込	片開き戸	扉：30　枠：70	片開き戸	扉：30　枠：70
仕上 材質	OP塗装	スチール（枠共）	SOP塗装	スチール（枠共）
硝子 下端	－	FL+900	－	FL+900
付属金物	丁番、分電盤錠		丁番、分電盤錠	
備考	－		－	

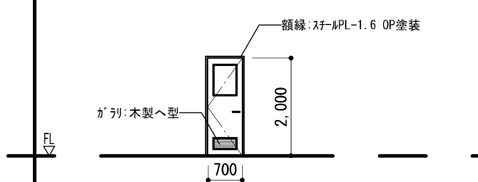
D 1　1ヶ所

記号 数量	撤去（障子・枠共）			
姿図				
場所	1階　大会議室			
形式 見込	2連両開き戸	扉：40　枠：220		
仕上 材質	タモ柾練付　CL（枠共）	木製フラッシュ		
硝子 下端	－	FL±0		
付属金物	中心吊ピボットヒンジ、レバーハンドル錠、フランス落し、戸当り			
備考	ステンレス沓摺ｔ2.0 曲加工			

D 2　1ヶ所

記号 数量			改修内容：建入れ調整 戸・額縁：下地調整の上、ＳＯＰ塗装 既存の鍵は撤去し、マスターキーに取替	
姿図				
場所	1階　ホール			
形式 見込	4枚引違戸	戸：40　枠：100		
仕上 材質	戸：?合板 OP塗装 枠：木製 OP塗装	木製フラッシュ		
硝子 下端	－	FL±0		
付属金物	引違戸用錠、ベアリング入戸車、戸当り、引手			
備考	ステンレス敷居レールｔ2.0			

D 3　3ヶ所

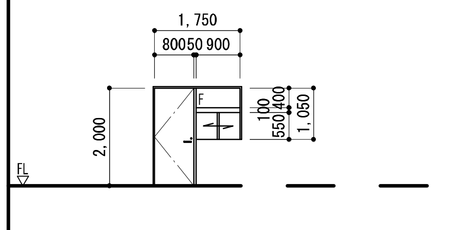
記号 数量			改修内容：建入れ調整 戸・額縁：下地調整の上、ＳＯＰ塗装	
姿図				
場所	1階　男子・女子トイレ　2階　トイレ			
形式 見込	片開き戸	扉：40　枠：200		
仕上 材質	扉：?合板 OP塗装 枠：スチールPL-1.6 OP塗装	木製フラッシュ		
硝子 下端	－	FL±0		
付属金物	カプセル型ピボットヒンジ、レバーハンドル、戸当り			
備考	ステンレス沓摺ｔ2.0 曲加工			

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 No.352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 No.352551 田端進也	SCALE A３ ： 1/150 DATE R７，３

工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A－31
図面名称	建具表（２）	原図：A3

記号	数量	D/4	1ヶ所

姿図

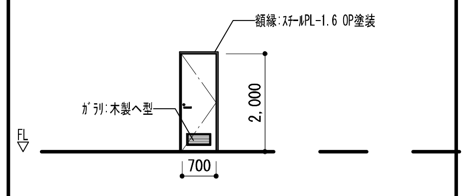


改修内容：建入れ調整
扉：下地調整の上、ＳＯＰ塗装
枠：ｽﾃﾝﾚｽ部分　既設のまま
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		1階　男子・女子トイレ　2階　トイレ	
形式	見込	片開き戸	扉：40　枠：100
仕上	材質	扉：?合板 OP塗装 枠：ｽﾃﾝﾚｽｔ1.5　曲加工	木製フラッシュ
硝子	下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽｔ5	FL±0
付属金物		ｶﾌﾟｾﾙ型ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ沓摺ｔ2.0 曲加工	

記号	数量	D/5	1ヶ所

姿図

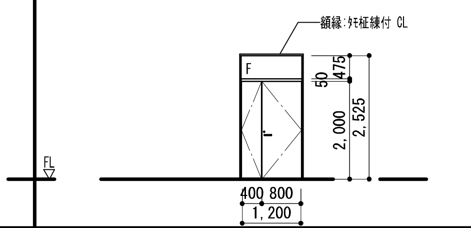


改修内容：建入れ調整
扉・額縁：下地調整の上、ＳＯＰ塗装
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		1階　湯沸室	
形式	見込	片開き戸	扉：40　枠：100
仕上	材質	扉：?合板 OP塗装 枠：ｽﾁｰﾙPL-1.6 OP塗装	木製フラッシュ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ沓摺ｔ2.0 曲加工	

記号	数量	D/6	1ヶ所

姿図

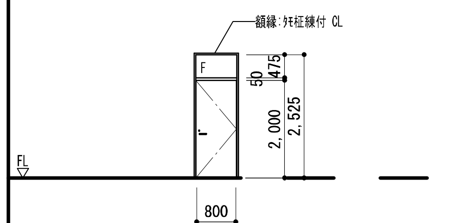


改修内容：建入れ調整
扉・額縁：下地調整の上、ＣＬ塗装
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		2階　小会議室	
形式	見込	ﾗﾝﾏFIX窓付親子開き戸	扉：40　枠：190
仕上	材質	扉：ﾀﾓ柾練付　CL 枠：ﾀﾓ柾練付　CL	木製フラッシュ
硝子	下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽｔ5	FL±0
付属金物		ｶﾌﾟｾﾙ型ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗﾝｽ落し	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ沓摺ｔ2.0 曲加工	

記号	数量	D/7	1ヶ所

姿図

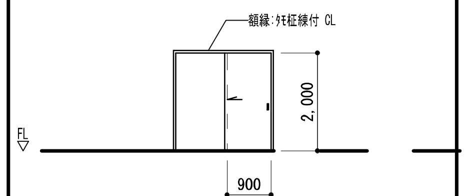


改修内容：建入れ調整
扉・額縁：下地調整の上、ＣＬ塗装
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		2階　小会議室	
形式	見込	ﾗﾝﾏFIX窓付片開き戸	扉：40　枠：190
仕上	材質	扉：ﾀﾓ柾練付　CL 枠：ﾀﾓ柾練付　CL	木製フラッシュ
硝子	下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽｔ5	FL±0
付属金物		ｶﾌﾟｾﾙ型ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ沓摺ｔ2.0 曲加工	

記号	数量	D/8	1ヶ所

姿図

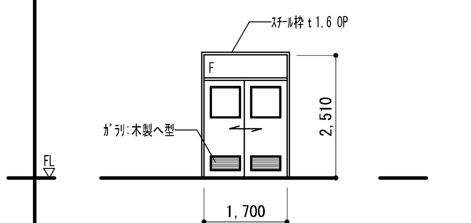


改修内容：建入れ調整
扉・額縁：下地調整の上、ＣＬ塗装

項目		内容	
場所		2階　物入2	
形式	見込	片引き戸	戸：40　枠：190
仕上	材質	戸：（片面）ﾀﾓ柾練付　CL、（片面）?合板 枠：ﾀﾓ柾練付　CL	木製フラッシュ
硝子	下端	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽｔ5	FL±0
付属金物		引手、ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ入戸車、戸当り	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ敷居ﾚｰﾙ	

記号	数量	D/9	2ヶ所

姿図

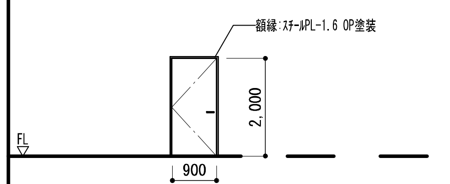


改修内容：建入れ調整
戸・額縁：下地調整の上、ＳＯＰ塗装
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		2階　調理実習室	
形式	見込	ﾗﾝﾏFIX窓付引違戸	戸：40　枠：190
仕上	材質	戸：?合板 OP塗装 枠：ｽﾁｰﾙPL-1.6 OP塗装	木製フラッシュ
硝子	下端	戸：型板ｶﾞﾗｽｔ4 ﾗﾝﾏ：ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽｔ5	FL±0
付属金物		引手、引違戸用錠、ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ入戸車、戸当り	
備考		ｽﾃﾝﾚｽ敷居ﾚｰﾙ	

記号	数量	D/10	1ヶ所

姿図

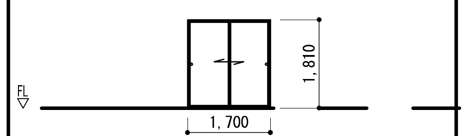


改修内容：建入れ調整
戸・額縁：下地調整の上、ＳＯＰ塗装
既存の鍵は撤去し、ﾏｽﾀｰｷｰに取替

項目		内容	
場所		2階　物入	
形式	見込	片開き戸	扉：40　枠：200
仕上	材質	扉：?合板 OP塗装 枠：ｽﾁｰﾙPL-1.6 OP塗装	木製フラッシュ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		ｶﾌﾟｾﾙ型ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、戸当り	
備考		-	

記号	数量	F/1	1ヶ所

姿図

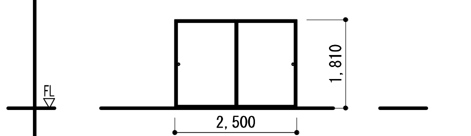


改修内容：建入れ調整
フスマ両面貼替（上新鳥の子）

項目		内容	
場所		2階　和室18帖	
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		フスマ用引手	
備考		-	

記号	数量	F/2	1ヶ所

姿図

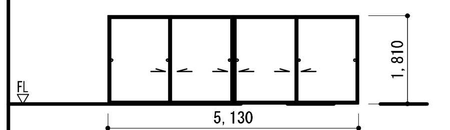


改修内容：建入れ調整
フスマ両面貼替（上新鳥の子）

項目		内容	
場所		2階　和室15帖	
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		フスマ用引手	
備考		-	

記号	数量	F/3	1ヶ所

姿図

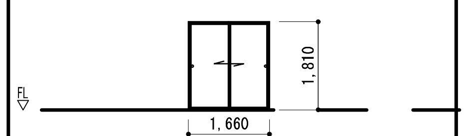


改修内容：建入れ調整
フスマ両面貼替（上新鳥の子）

項目		内容	
場所		2階　和室18帖	
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		フスマ用引手	
備考		-	

記号	数量	F/4	1ヶ所

姿図

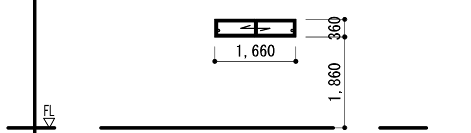


改修内容：建入れ調整
フスマ両面貼替（上新鳥の子）

項目		内容	
場所		2階　和室18帖	
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ
硝子	下端	-	FL±0
付属金物		フスマ用引手	
備考		-	

記号	数量	F/5	1ヶ所

姿図



改修内容：建入れ調整
フスマ両面貼替（上新鳥の子）

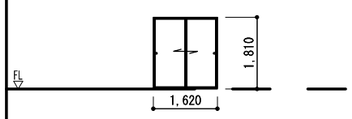
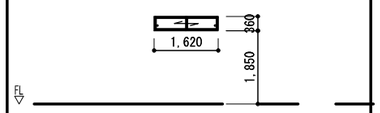
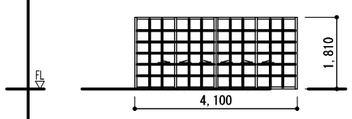
項目		内容	
場所		2階　和室18帖	
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ
硝子	下端	-	FL+1860
付属金物		フスマ用引手	
備考		-	

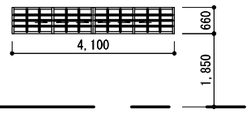
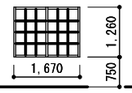
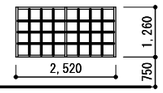
備考

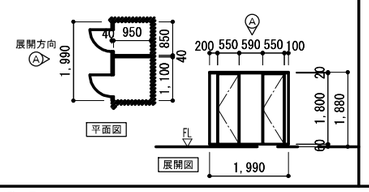
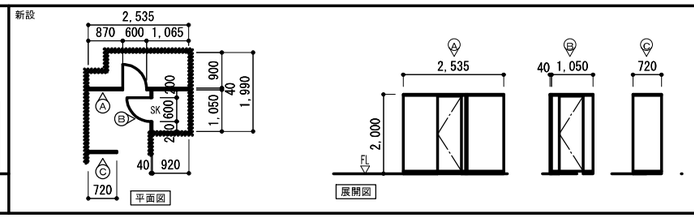
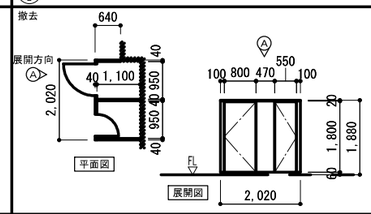
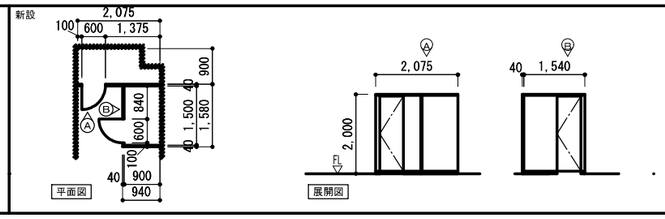
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士　№３５２５５１　田端　進也

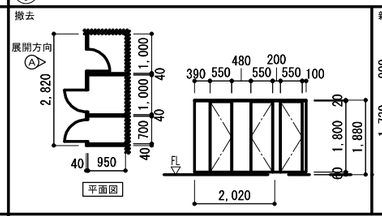
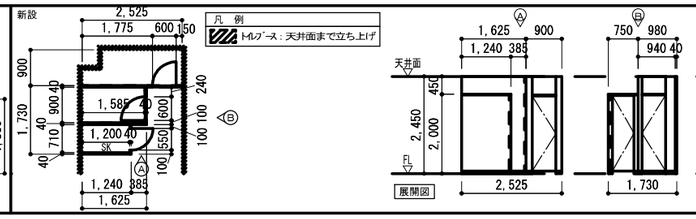
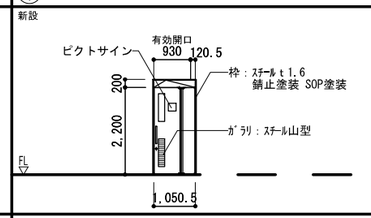
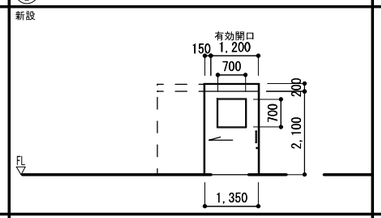
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352551 田端進也

SCALE　Ａ３　：　1/150
DATE　Ｒ７，３
工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　建具表（３）
A−32
原図：A3

記号	数量	F 6			F 7			F 8		
		1ヶ所			1ヶ所			1ヶ所		
姿図				改修内容：建入れ調整 フスマ両面貼替（上新鳥の子）			改修内容：建入れ調整 フスマ両面貼替（上新鳥の子）			改修内容：建入れ調整 障子：強化障子貼替
場所		2階　和室18帖			2階　和室18帖			2階　和室15帖		
形式	見込	引違フスマ戸	戸：28		引違フスマ戸	戸：28		引違障子戸	戸：33	
仕上	材質	上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ		上新鳥の子張、カシュー塗縁	フスマ		和紙張、ｽﾌﾟﾙｽ	-	
硝子	下端	-	FL±0		-	FL+1850		-	FL±0	
付属金物		フスマ用引手			フスマ用引手			フスマ用引手		
備考		-			-			-		

記号	数量	F 9			F 10			F 11		
		1ヶ所			1ヶ所			1ヶ所		
姿図				改修内容：建入れ調整 障子：強化障子貼替			改修内容：建入れ調整 障子：強化障子貼替			改修内容：建入れ調整 障子：強化障子貼替
場所		2階　和室15帖			2階　和室15帖			2階　和室18帖		
形式	見込	引違障子戸	戸：33		引違障子戸	戸：33		引違障子戸	戸：33	
仕上	材質	和紙張、ｽﾌﾟﾙｽ	-		和紙張、ｽﾌﾟﾙｽ	-		和紙張、ｽﾌﾟﾙｽ	-	
硝子	下端	-	FL+1850		-	FL+750		-	FL±0	
付属金物		フスマ用引手			フスマ用引手			フスマ用引手		
備考		-			-			-		

記号	数量	TB 1				TB 2			
姿図		撤去 		新設 		撤去 		新設 	
場所		1階　男子トイレ				1階　女子トイレ			
形式	見込	トイレブース	40	ペーパーコア	40	トイレブース	40	ペーパーコア	40
仕上	材質	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	-	メラミン樹脂化粧板	-	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	-	メラミン樹脂化粧板	-
硝子	下端	-	-	-	±0	-	-	-	±0
付属金物		ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ製ﾛｯｸ、戸当り帽子掛、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｽﾃﾝﾚｽ脚金物		グラビティヒンジ(中心吊り)、戸当帽子掛け、ステンレス巾木、表示スライド錠、アルミ笠木		ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ製ﾛｯｸ、戸当り帽子掛、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｽﾃﾝﾚｽ脚金物		グラビティヒンジ(中心吊り)、戸当帽子掛け、ステンレス巾木、表示スライド錠、アルミ笠木	
備考		-		扉：常時開き（ＳＫ以外）、ＳＫ内：掃除用具掛けフック(5本程度)		-		扉：常時開き	

記号	数量	TB 3				LSD 1		LSD 2		
姿図		撤去 		新設  凡例 トイレブース：天井面まで立ち上げ		新設 		新設 		
場所		2階　トイレ				1階　ホール		1階　大会議室		
形式	見込	トイレブース	40	ペーパーコア	40	軽量片引き折戸	戸：40	軽量片引き込み戸	戸：40	
仕上	材質	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	-	メラミン樹脂化粧板	-	戸：化粧鋼板 枠：ｽﾁｰﾙ t 1.6　錆止塗装 SOP塗装	ｽﾁｰﾙ	戸：化粧鋼板 枠：ｽﾁｰﾙ t 1.6　錆止塗装 SOP塗装	ｽﾁｰﾙ	
硝子	下端	-	-	-	±0	型板ｶﾞﾗｽ t 4	FL±0	型板ｶﾞﾗｽ t 4	FL±0	
付属金物		ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ製ﾛｯｸ、戸当り帽子掛、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｽﾃﾝﾚｽ脚金物		グラビティヒンジ(中心吊り)、戸当帽子掛け、ステンレス巾木、表示スライド錠、アルミ笠木		引手棒、引戸錠、大型ｻﾑﾀｰﾝ錠、付属金物一式		引手棒、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・ｻﾑﾀｰﾝ錠、付属金物一式		
備考		-		扉：常時開き（ＳＫ以外）、ドア上部パネル取付、ＳＫ内：掃除用具掛けフック(5本程度)		ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ 150×150 ｱﾙﾐ製(多目的ﾃﾞｻﾞｲﾝ)		-		

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

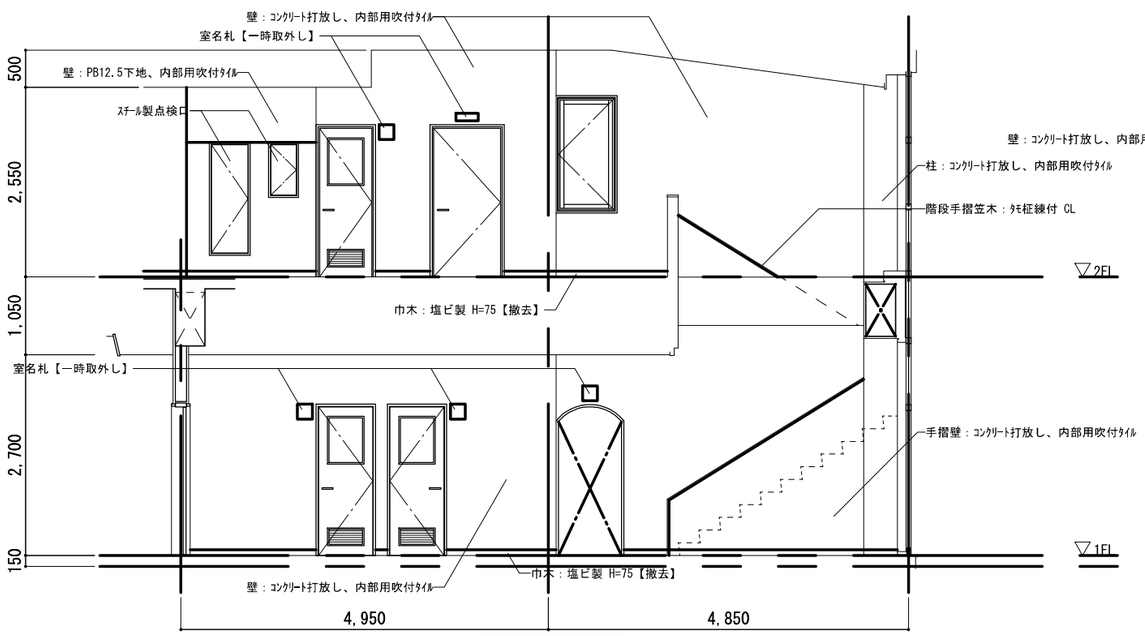
設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE　A３ : 1/150
DATE　R７，３

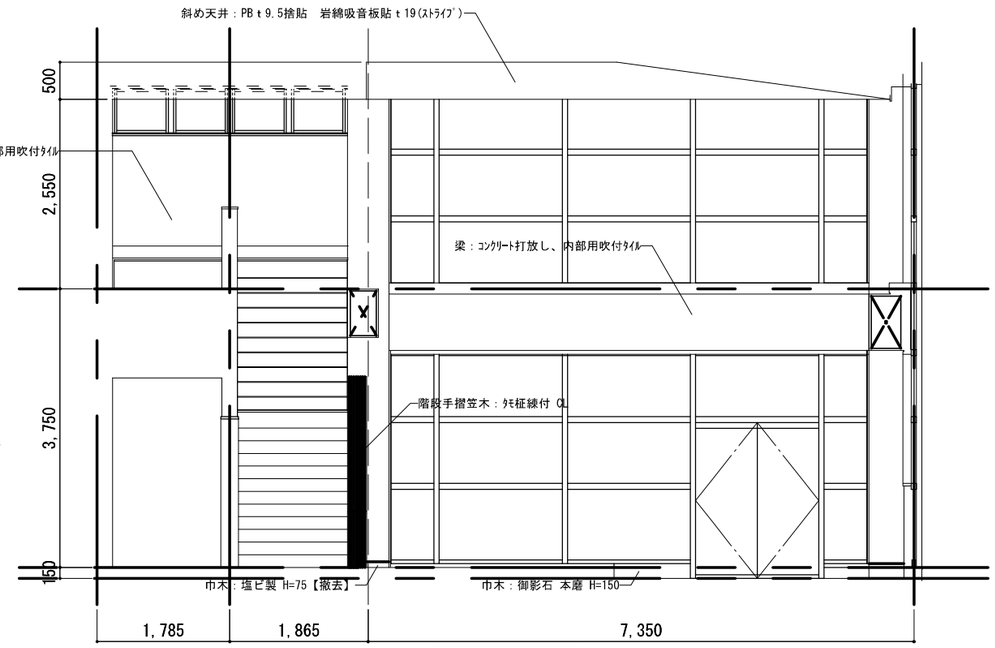
工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　建具表（４）

A−33
原図：A3

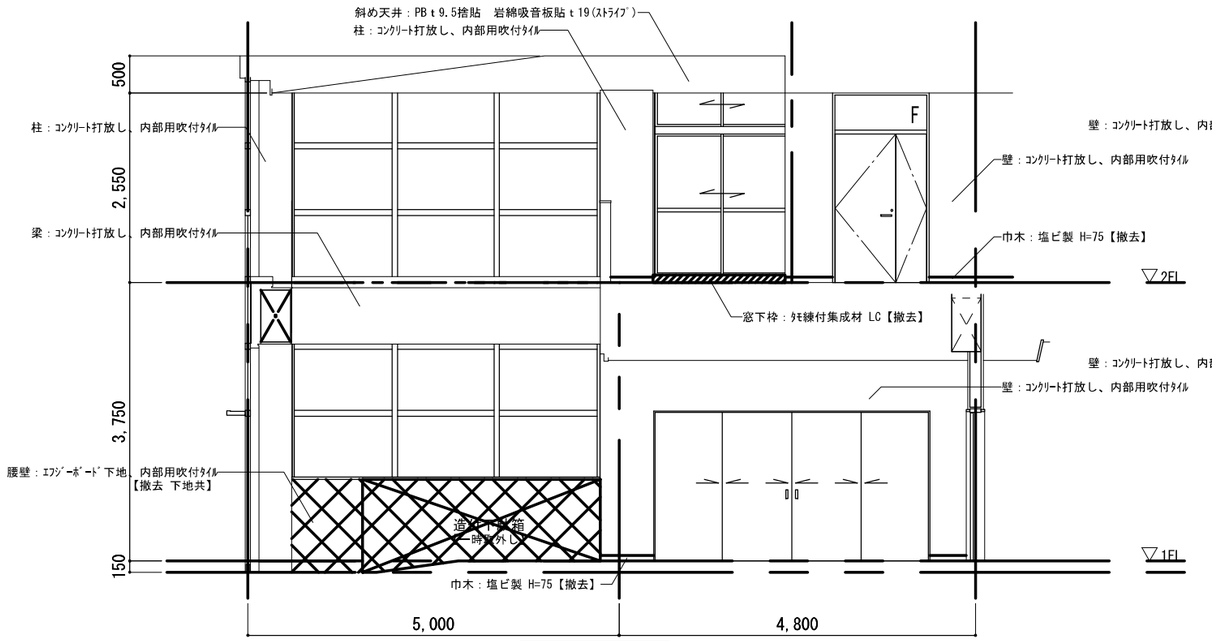
玄関・ホール（改修前）



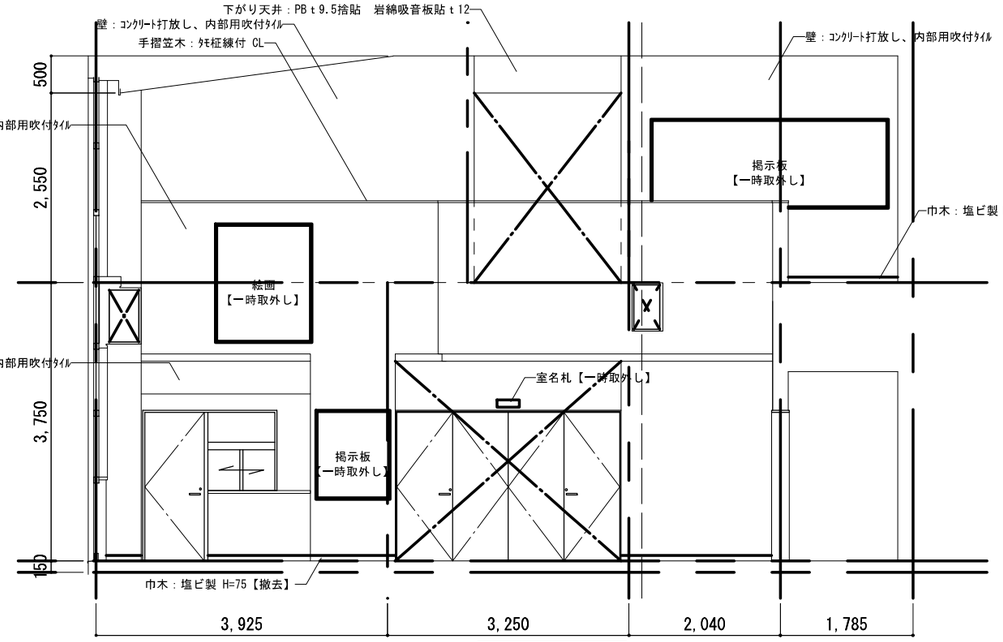
Ａ方向展開図



Ｂ方向展開図



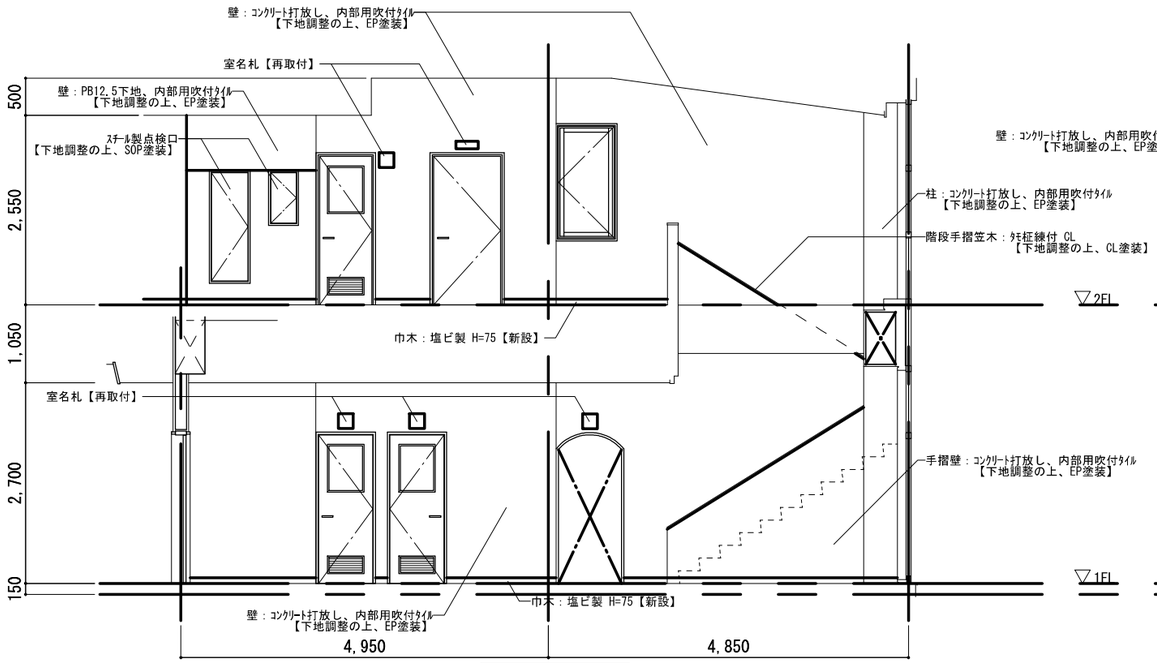
Ｃ方向展開図



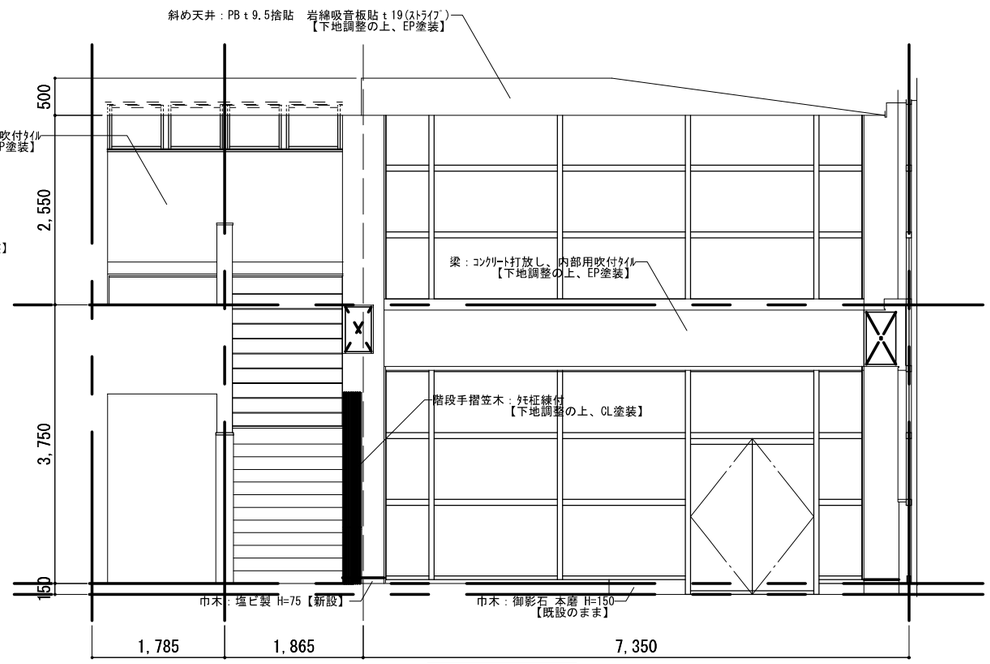
Ｄ方向展開図

備考		(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ ： 1/80 DATE Ｒ７．３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 玄関・ホール（改修前）	A−34 原図：A3

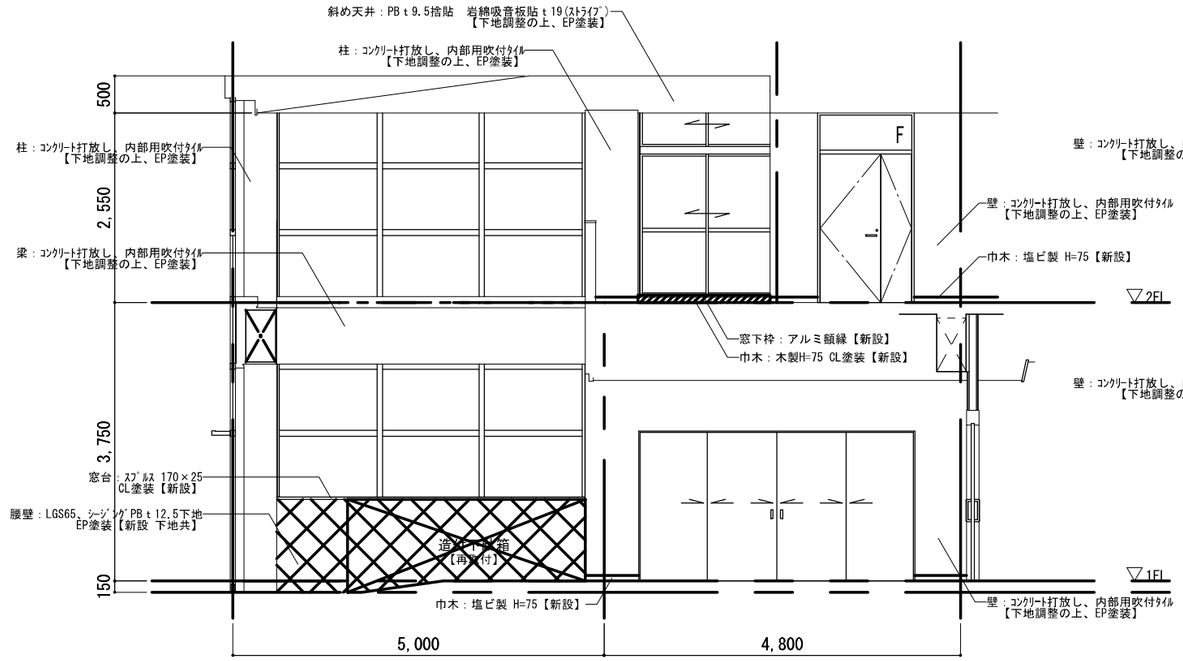
玄関・ホール（改修後）



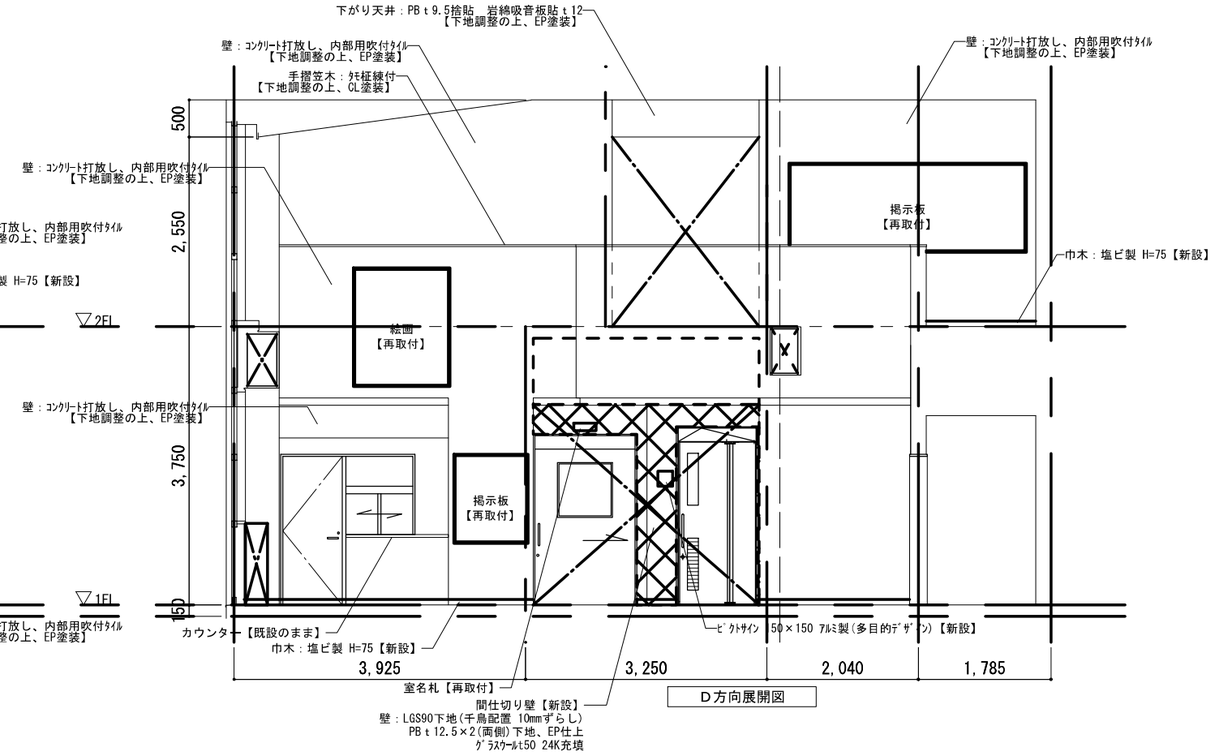
A方向展開図



B方向展開図



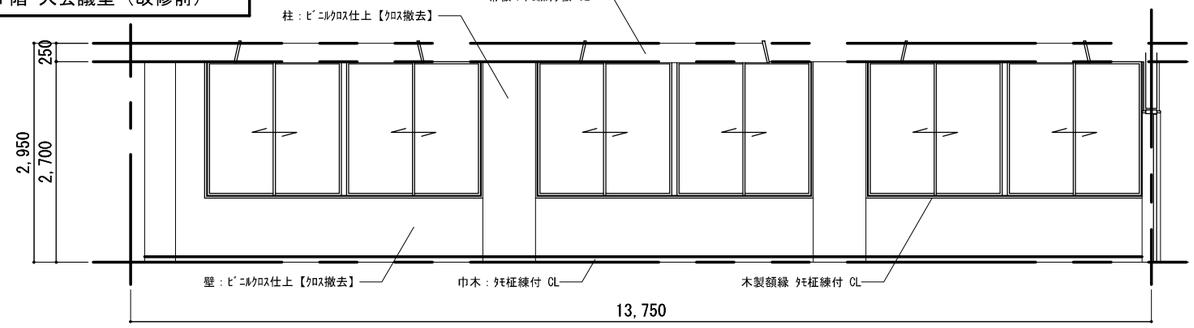
C方向展開図



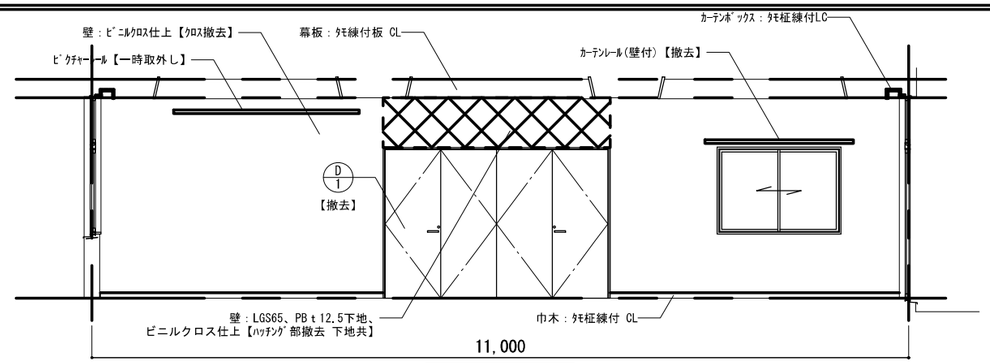
D方向展開図

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 玄関・ホール（改修後）	A−35 原図：A3

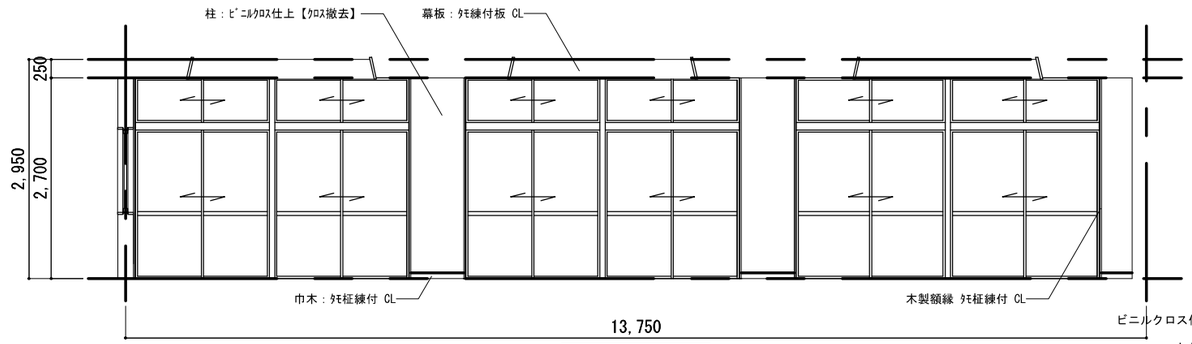
１階 大会議室（改修前）



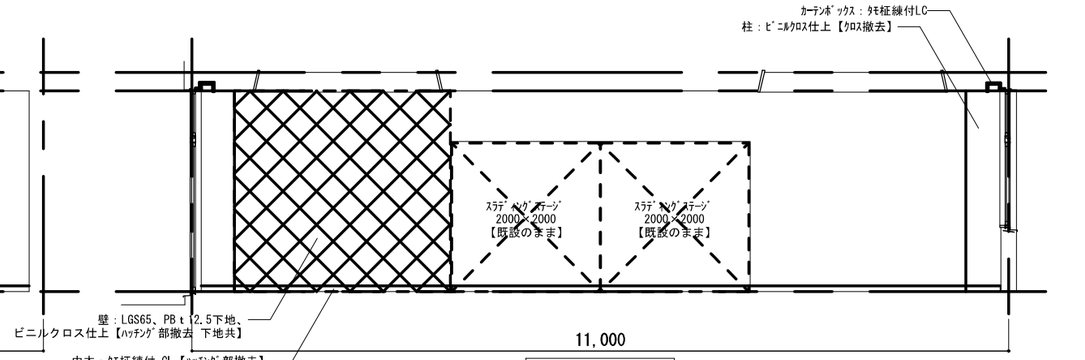
Ａ方向展開図



Ｂ方向展開図

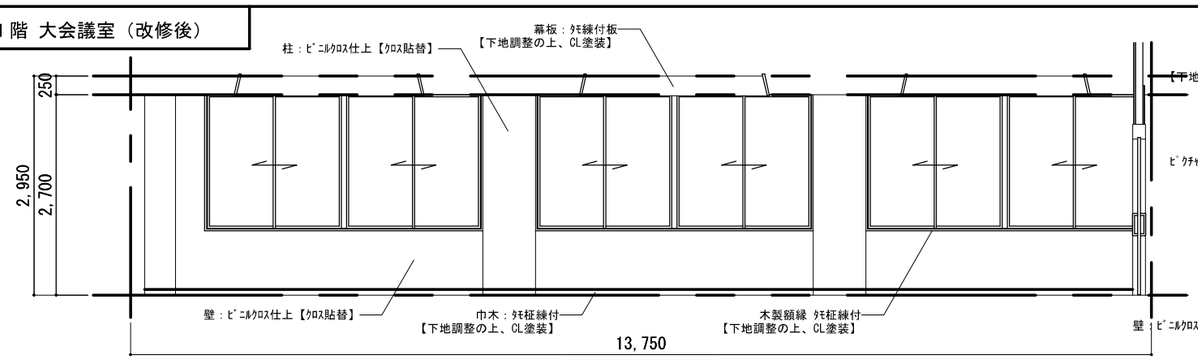


Ｃ方向展開図

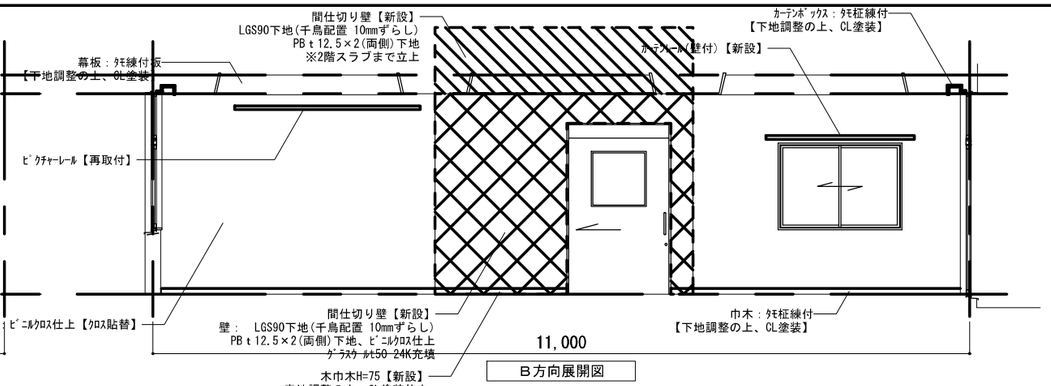


Ｄ方向展開図

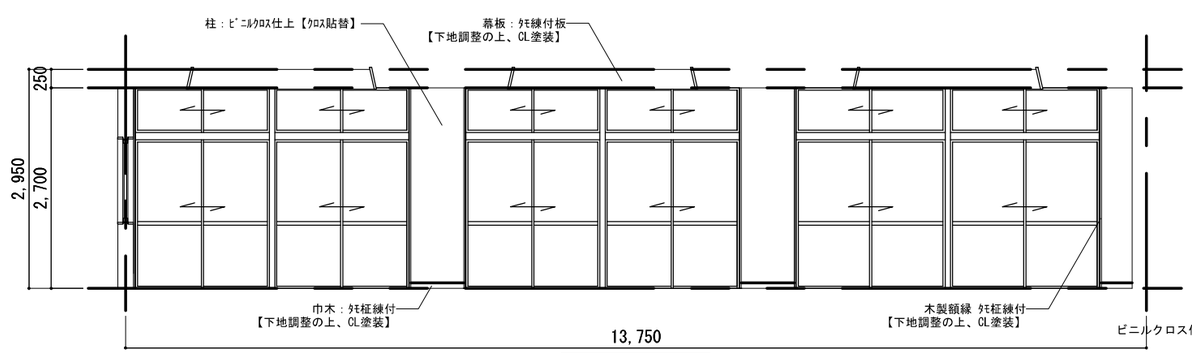
１階 大会議室（改修後）



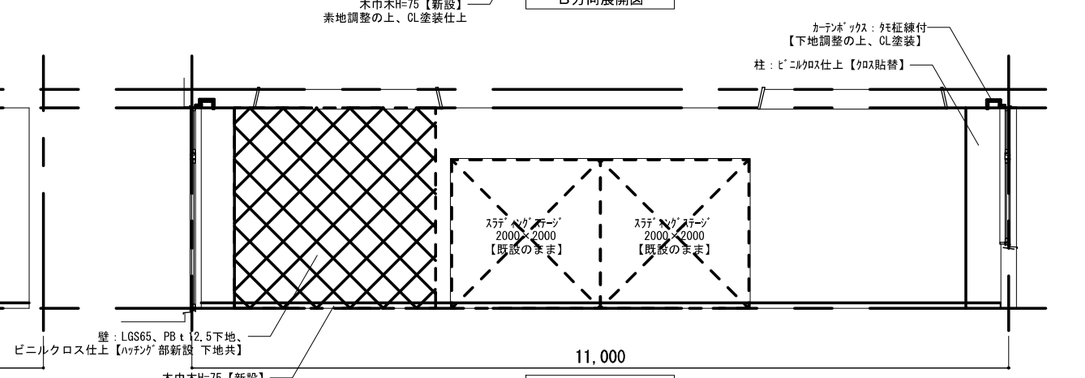
Ａ方向展開図



Ｂ方向展開図



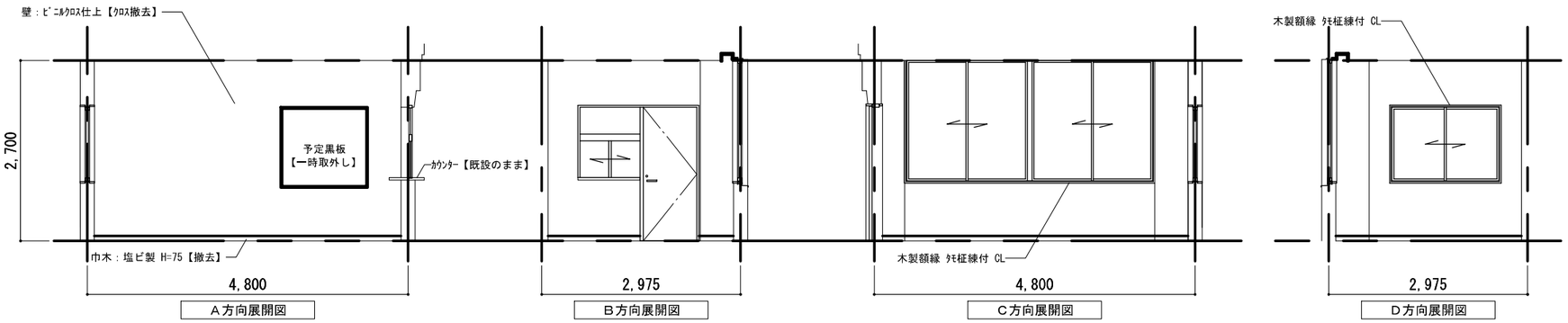
Ｃ方向展開図



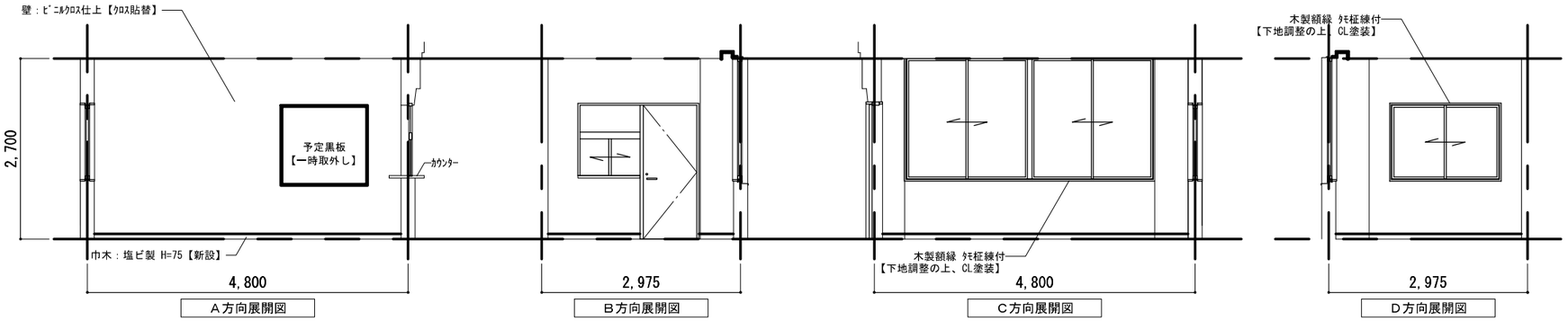
Ｄ方向展開図

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ : 1/80 DATE Ｒ７．３	工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称 展開図 １階 大会議室	A−36 原図：A3

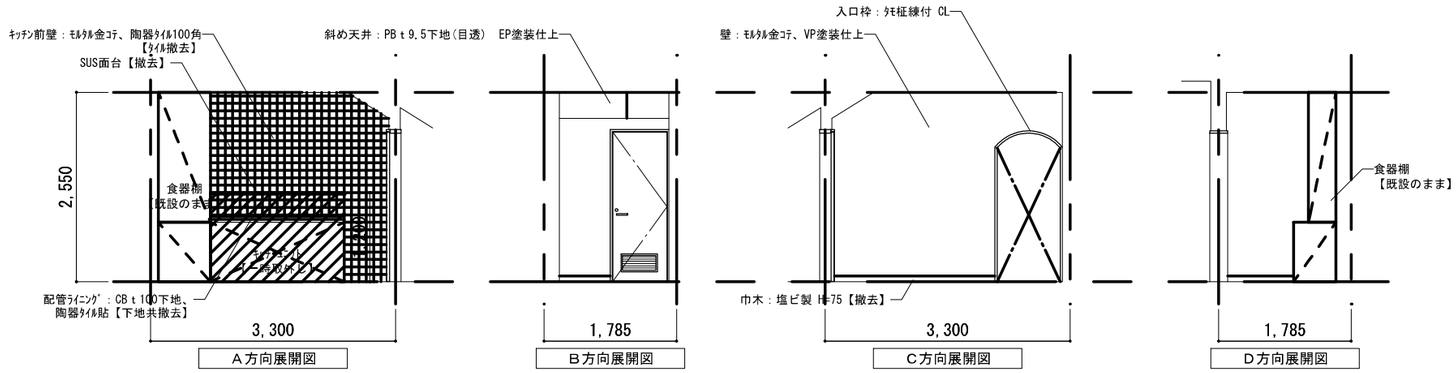
1階 事務室（改修前）



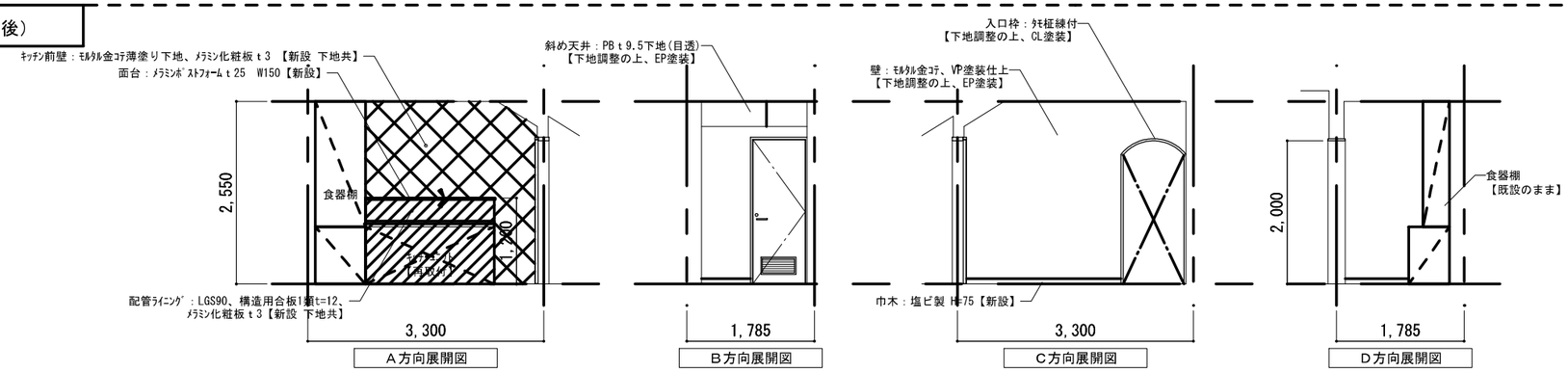
1階 事務室（改修後）



1階 湯沸室（改修前）



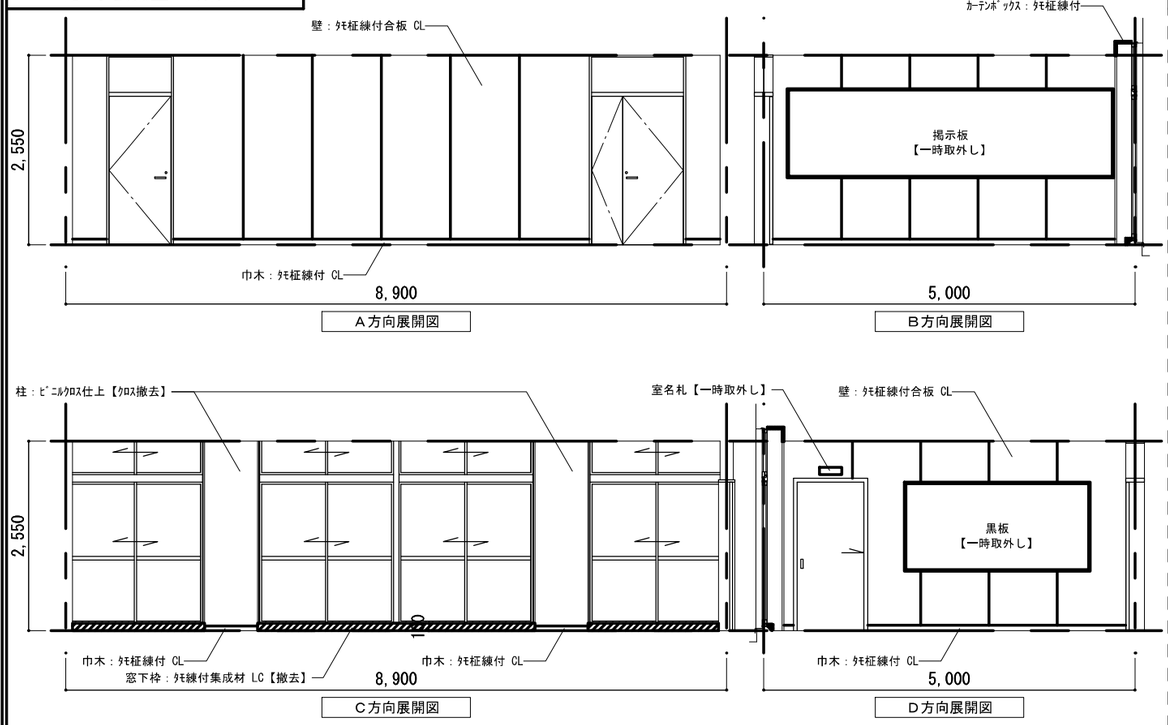
1階 湯沸室（改修後）



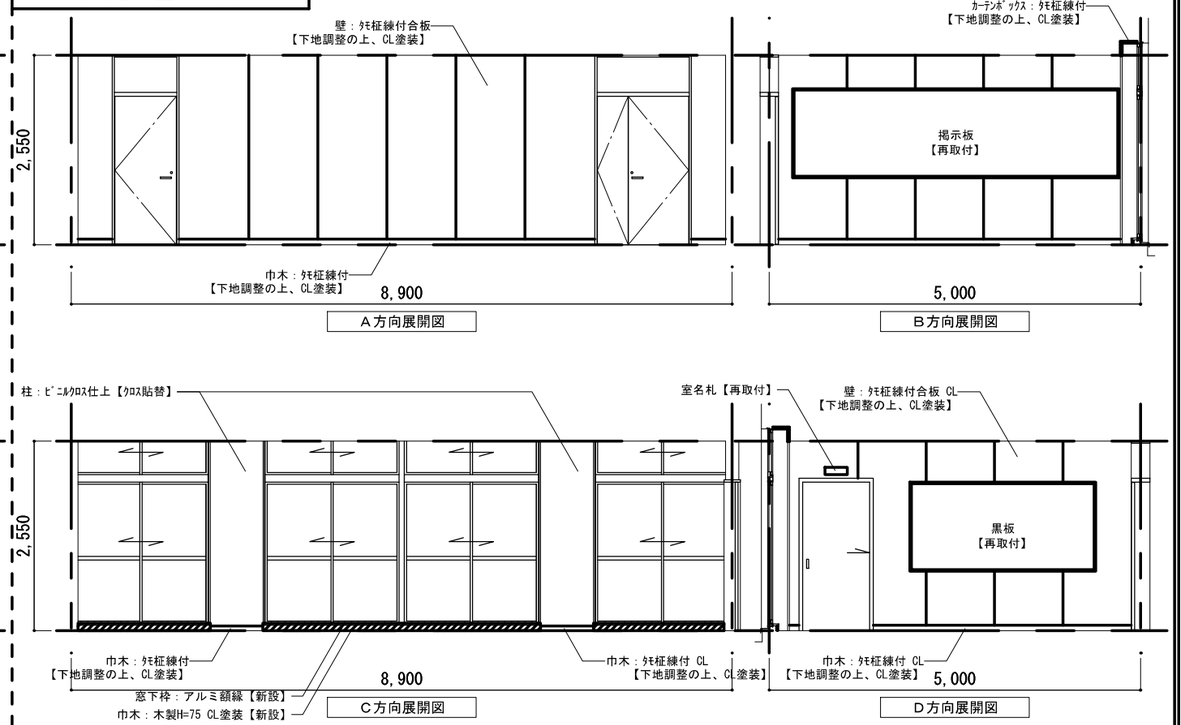
凡 例	
▷	シーリング（SR-1）

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称 展開図 1階 事務室・湯沸室	A−37 原図：A3

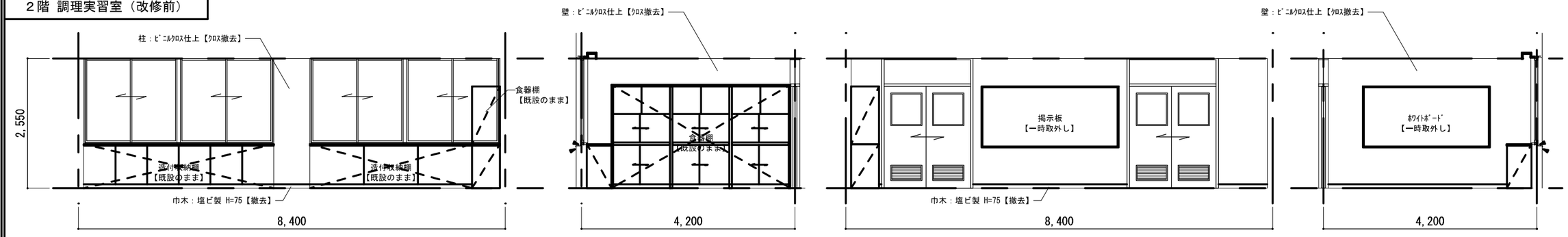
２階 小会議室（改修前）



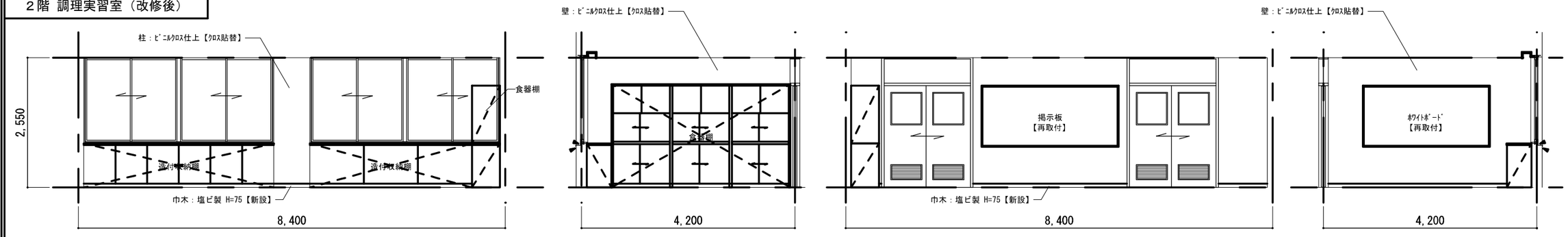
２階 小会議室（改修後）



２階 調理実習室（改修前）

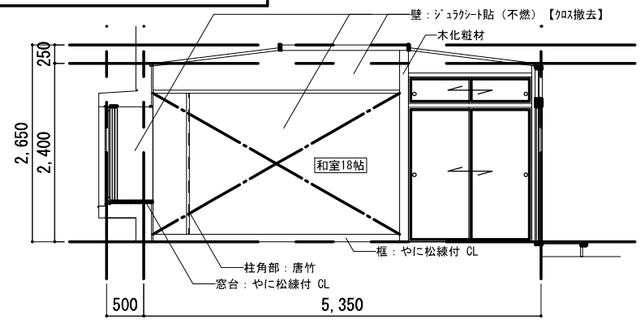


２階 調理実習室（改修後）

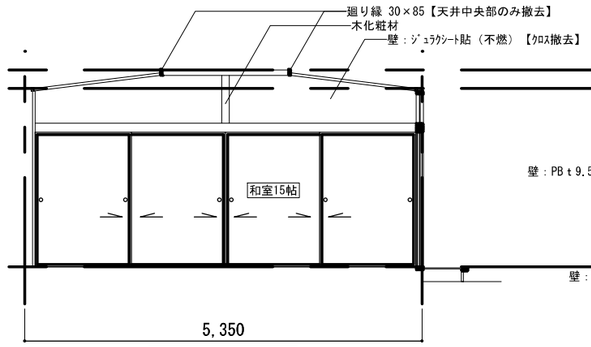


備考						
	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 ２階 小会議室・調理室	A−38 原図：A3

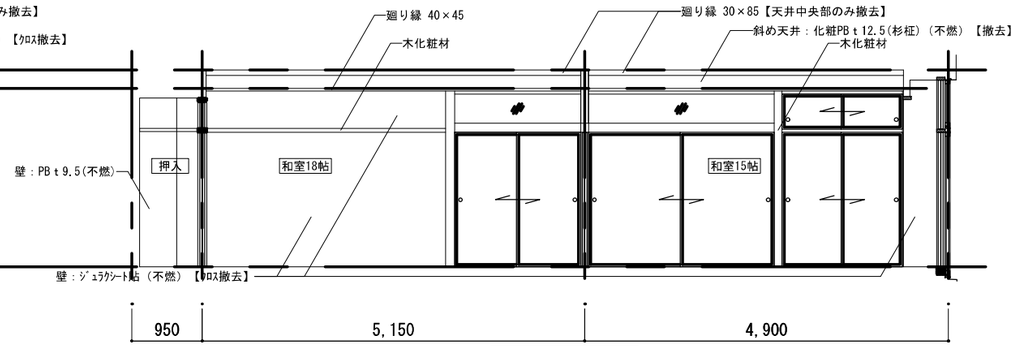
２階 和室（改修前）



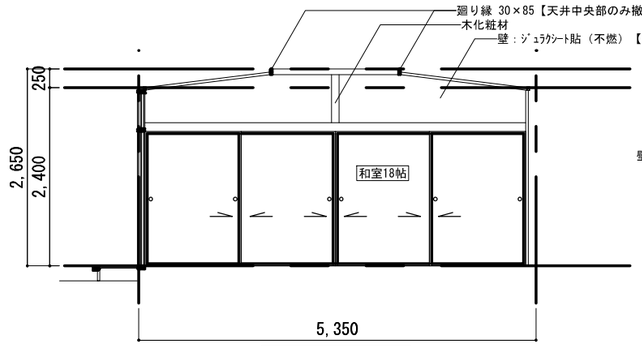
Ａ方向展開図



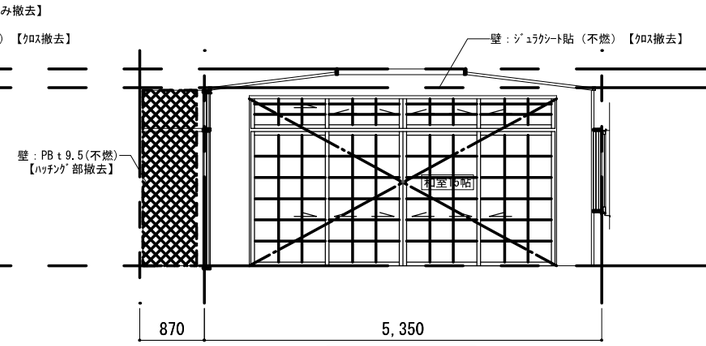
Ａ方向展開図



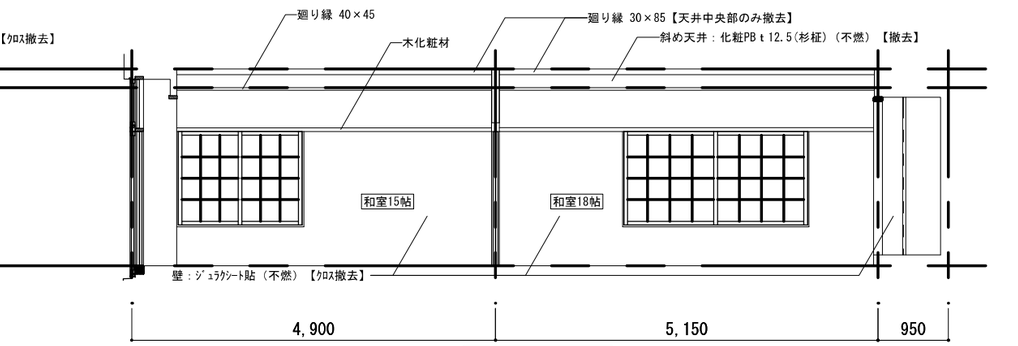
Ｂ方向展開図



Ｃ方向展開図

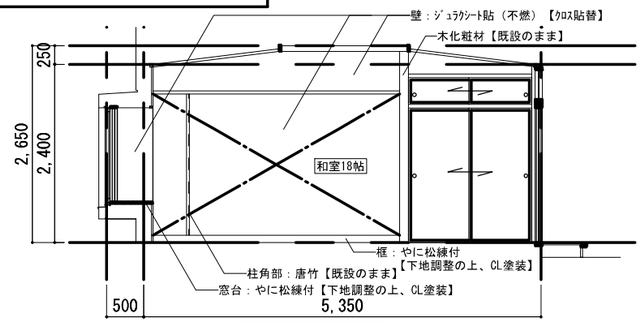


Ｃ方向展開図

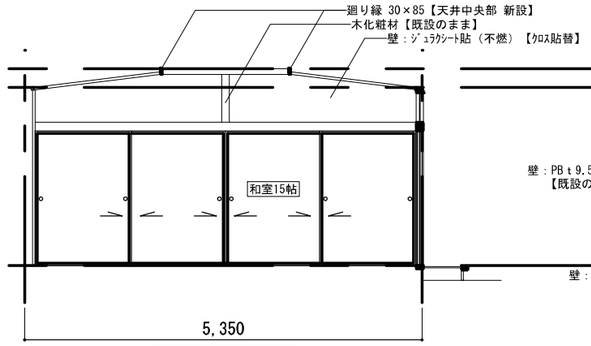


Ｄ方向展開図

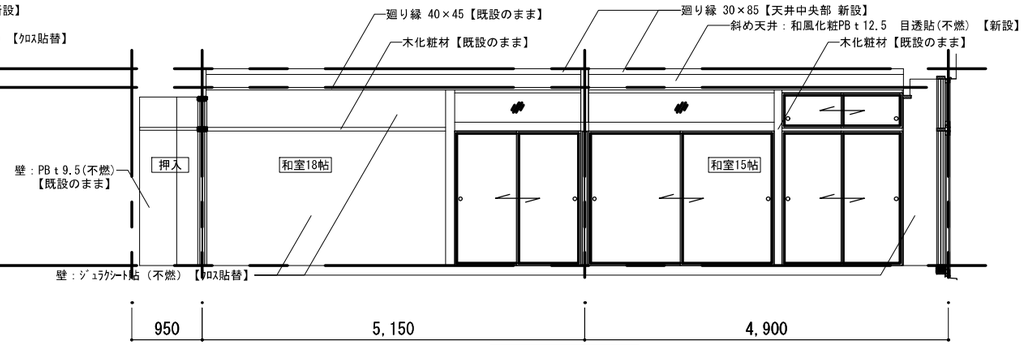
２階 和室（改修後）



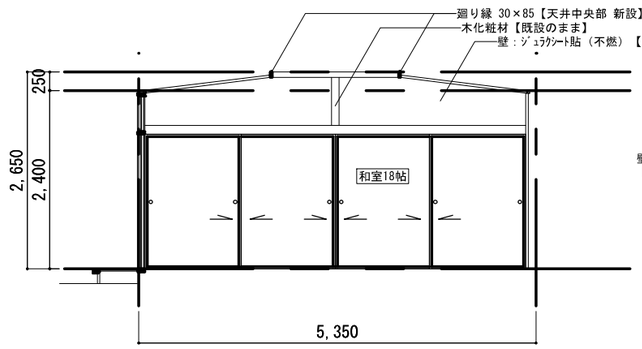
Ａ方向展開図



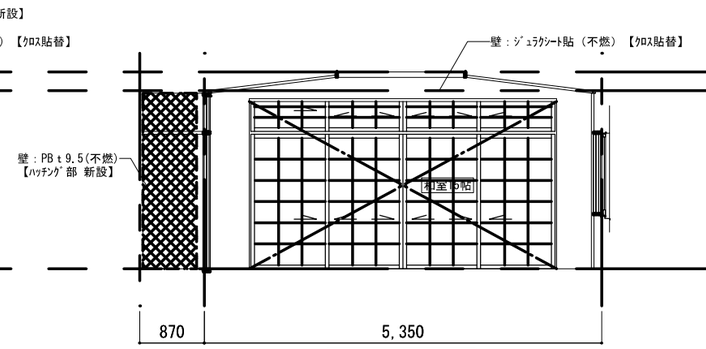
Ａ方向展開図



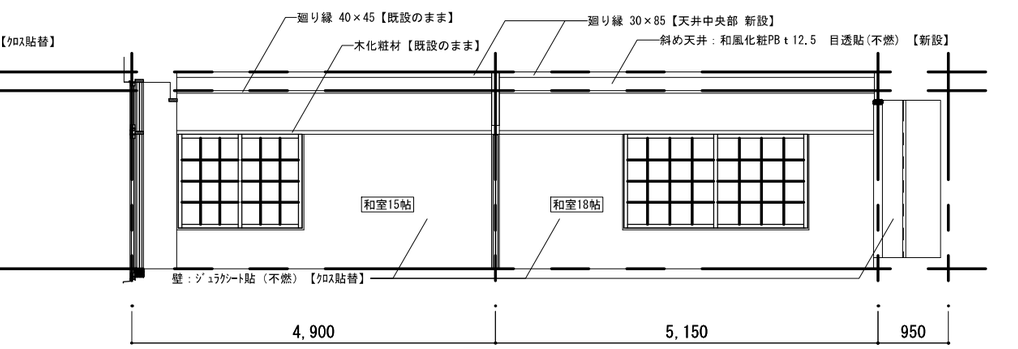
Ｂ方向展開図



Ｃ方向展開図



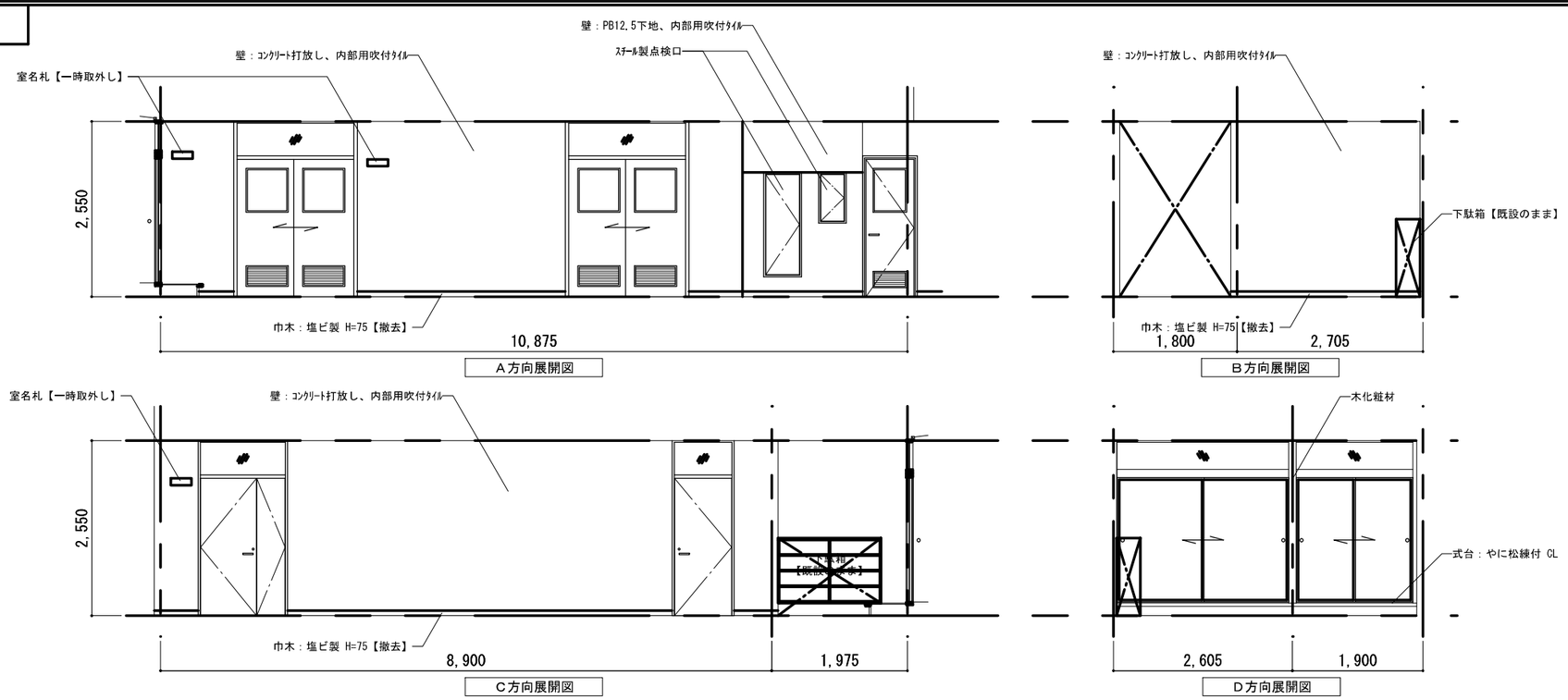
Ｃ方向展開図



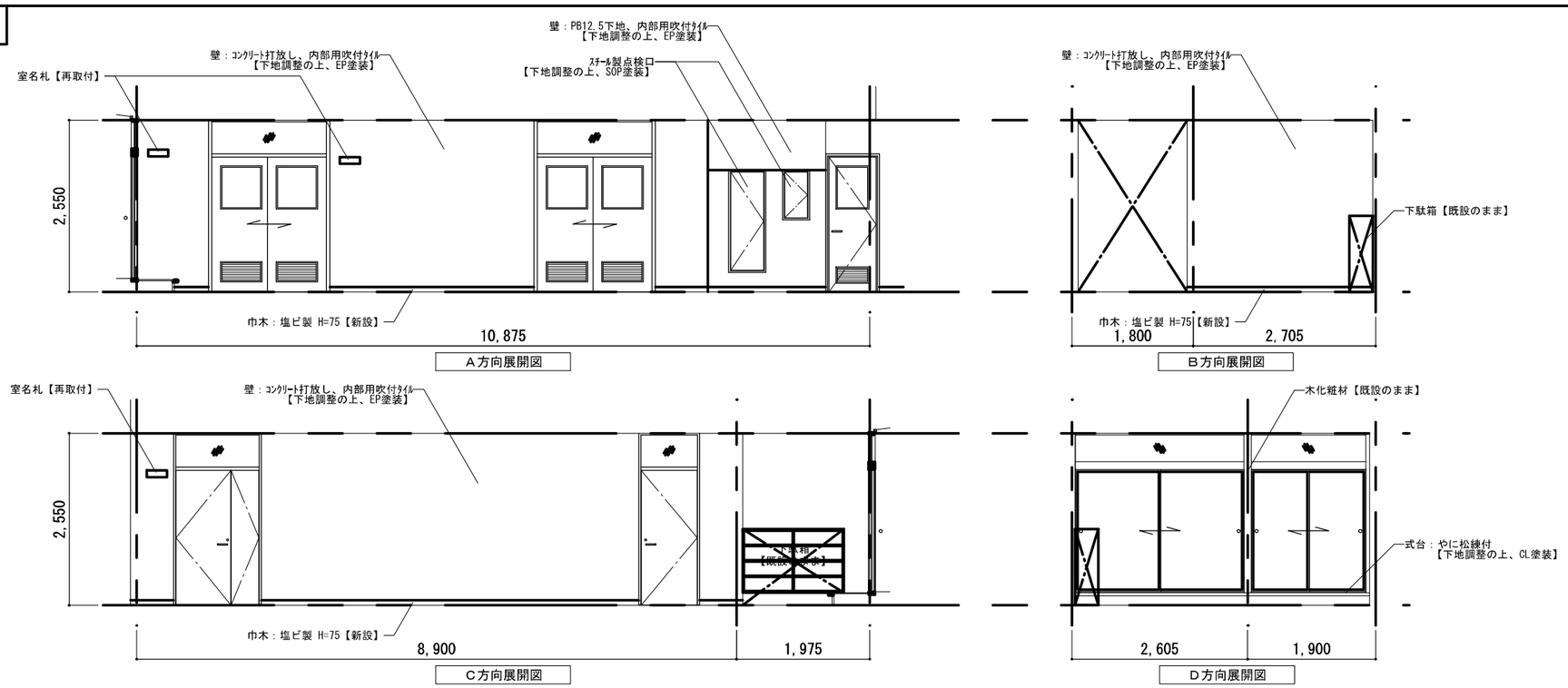
Ｄ方向展開図

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 ２階 和室	A−39 原図：A3

２階 廊下（改修前）

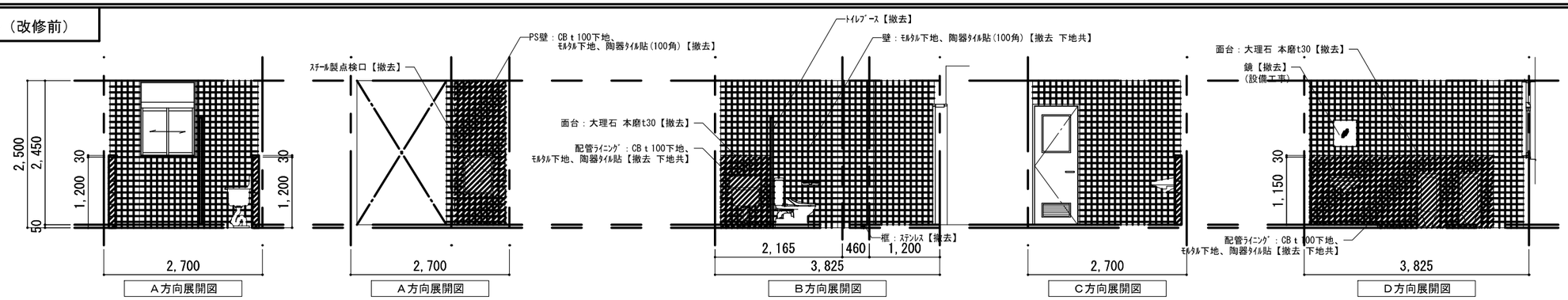


２階 廊下（改修後）

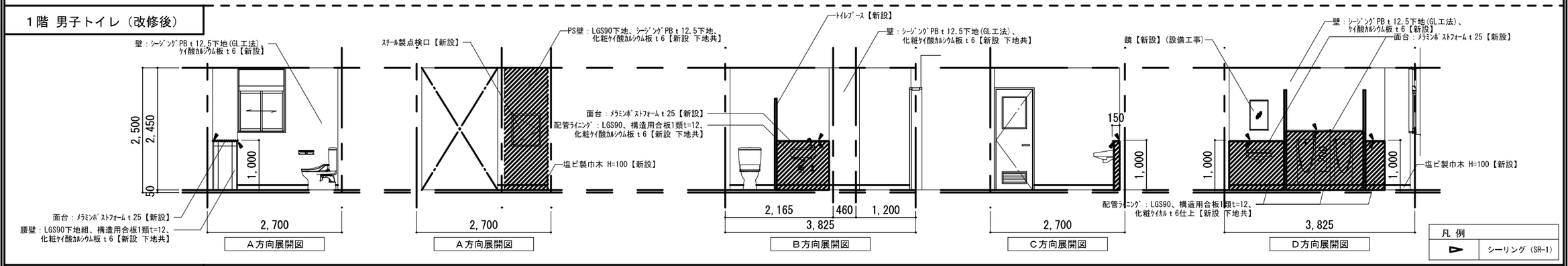


備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE Ａ３ : 1/80 DATE Ｒ７．３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 ２階 廊下	A−40 原図：A3

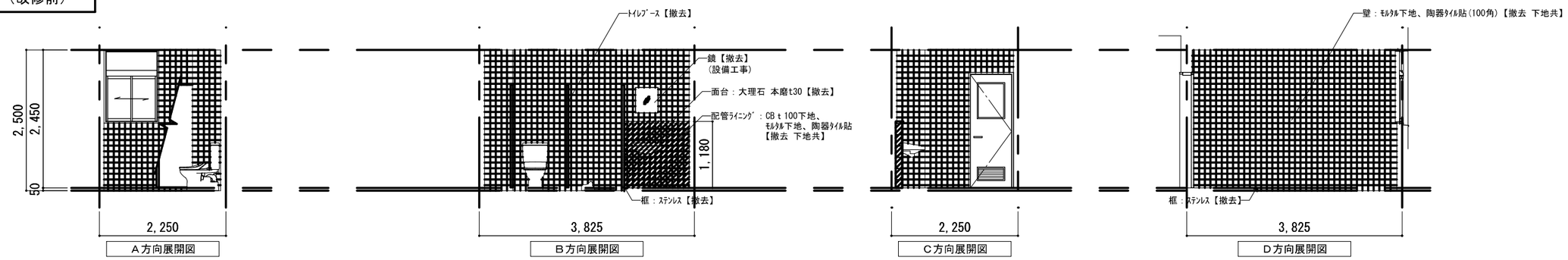
1階 男子トイレ（改修前）



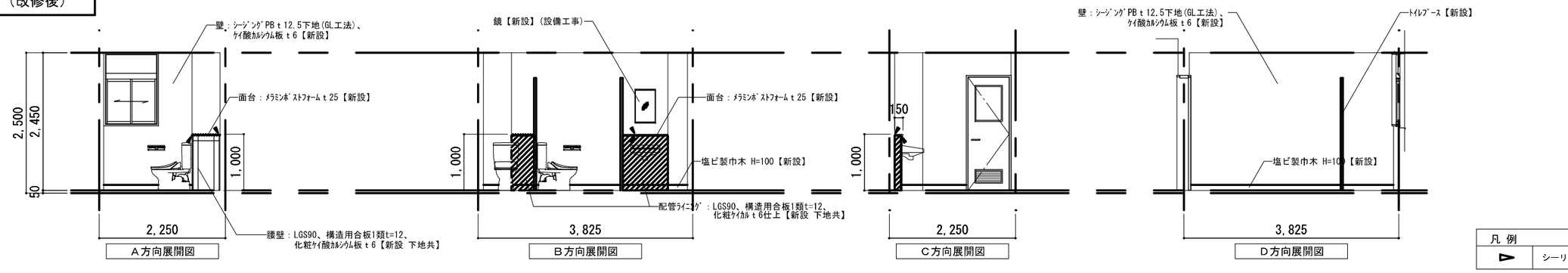
1階 男子トイレ（改修後）



1階 女子トイレ（改修前）

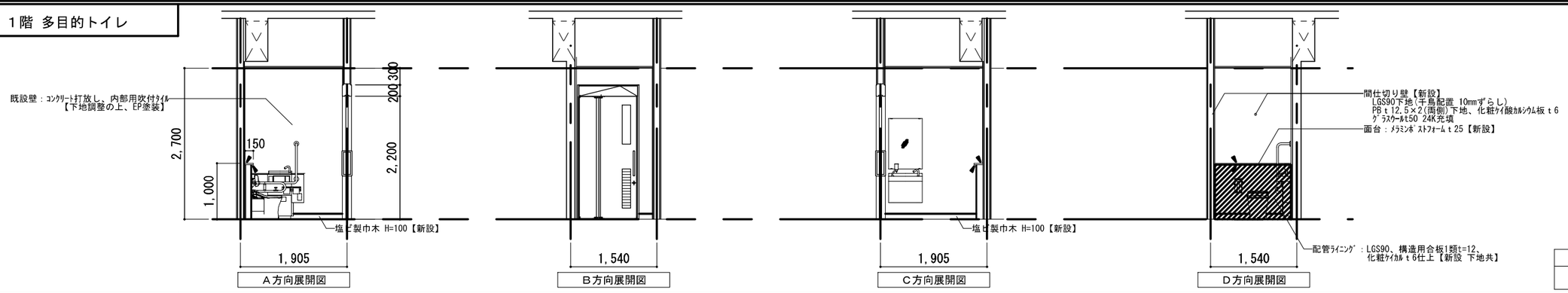


1階 女子トイレ（改修後）

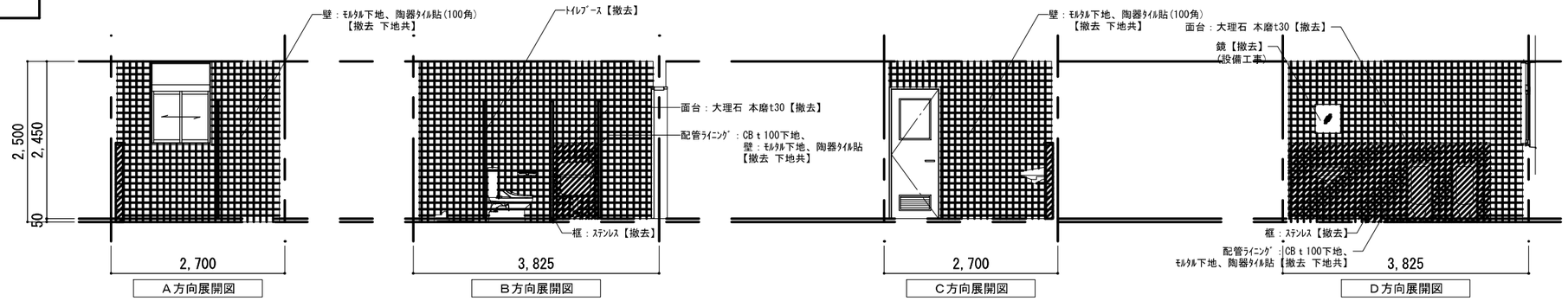


備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　展開図 1階 男子・女子トイレ	A−41 原図：A3

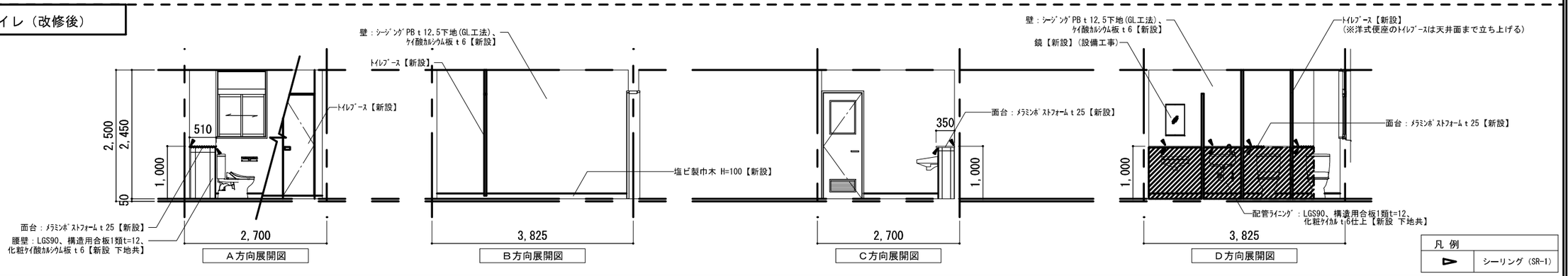
1階 多目的トイレ



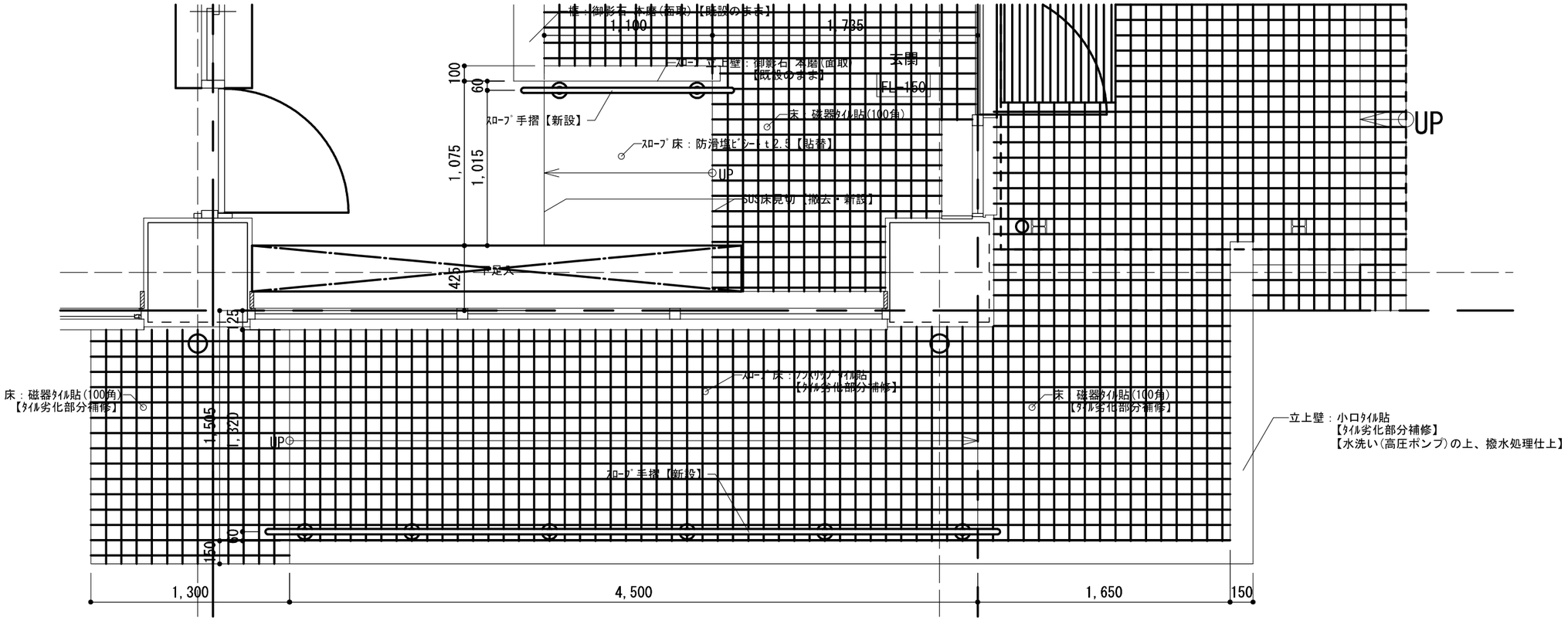
2階 トイレ（改修前）



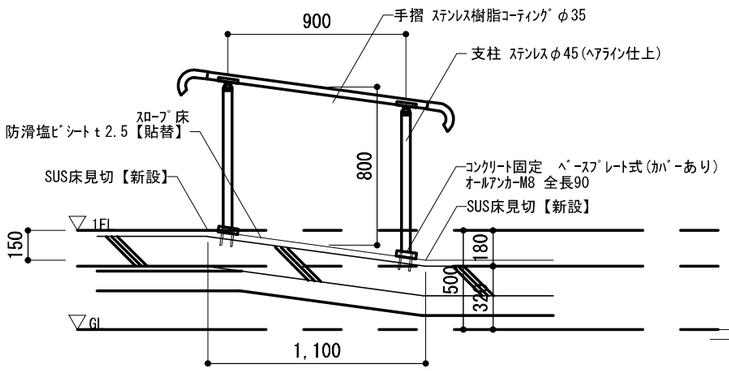
2階 トイレ（改修後）



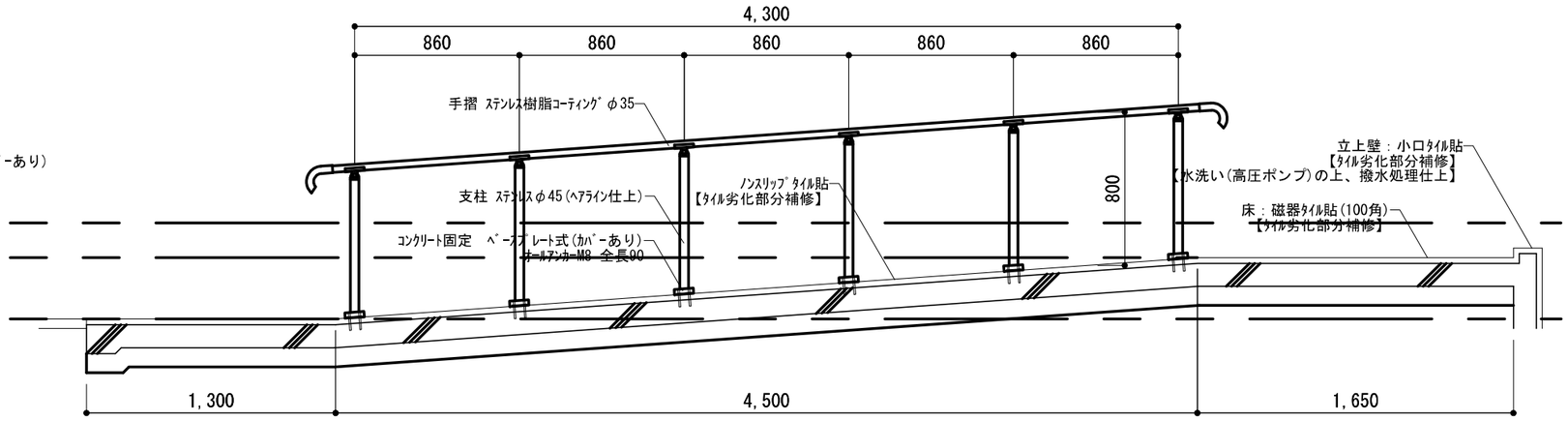
備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/80 DATE R７，３	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−42
					図面名称	展開図 1階 多目的トイレ・2階 トイレ	原図：A3



玄関・屋外スロープ　平面詳細図

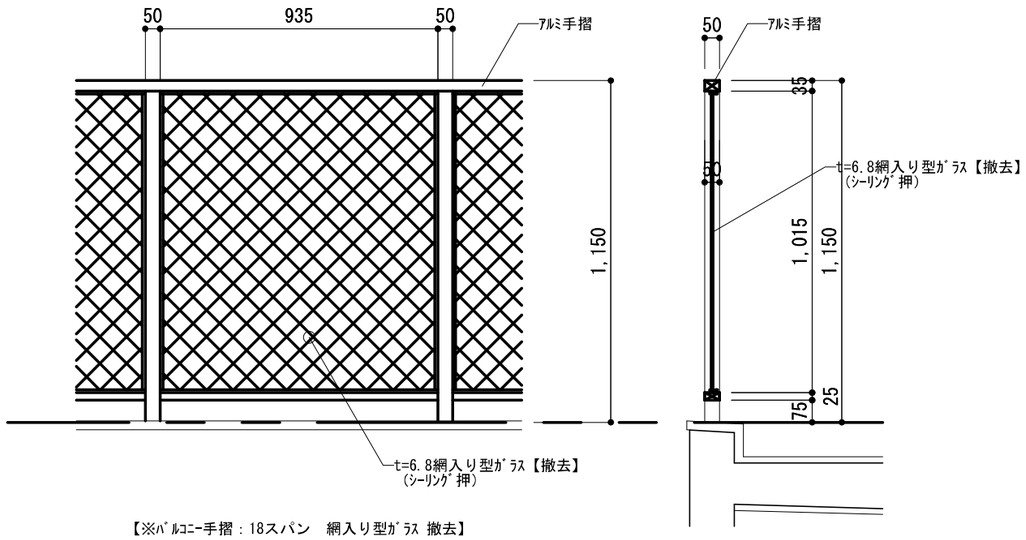


玄関スロープ　断面詳細図



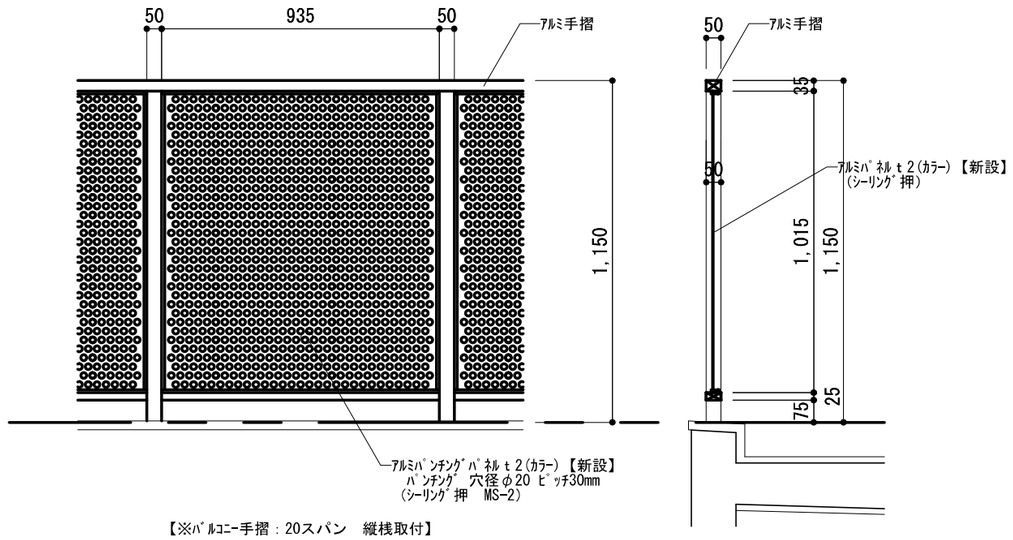
屋外スロープ　断面詳細図

備考	玄関・屋外スロープ手摺は㈱シロクマ 支柱:ABR-707、手摺:ABR-35SA 同等品以上	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1－861　一級建築士 №352551 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A3 : 1/30 DATE R7.3	工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称 スロープ手摺詳細図	A-43 原図：A3



【※ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺：18スパン　網入り型ｶﾞﾗｽ 撤去】

正面図　断面図

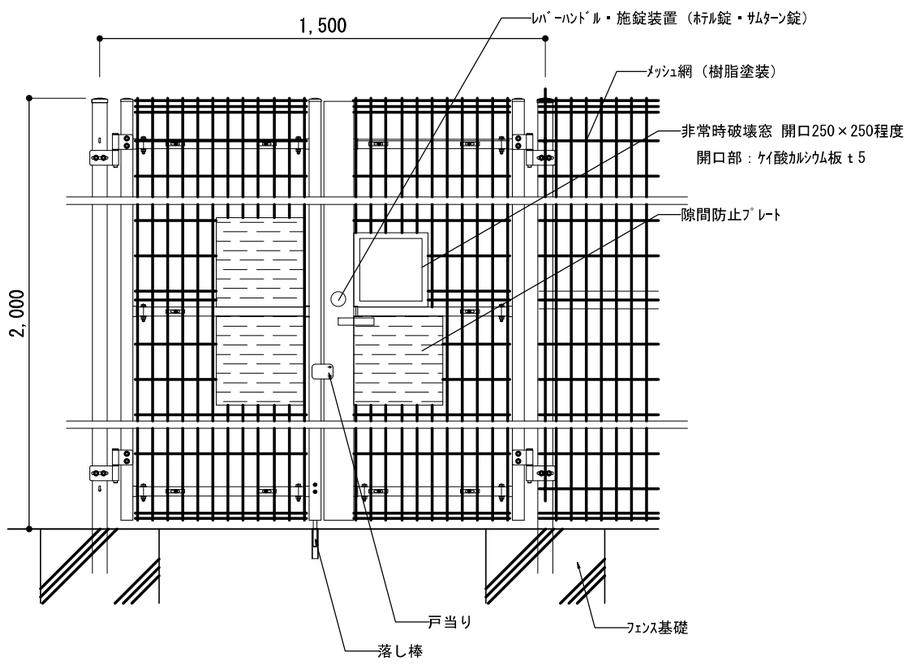


【※ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺：20スパン　縦桟取付】

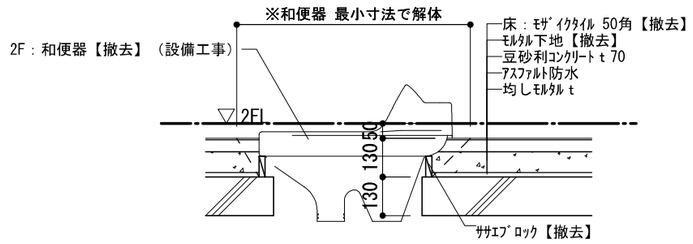
正面図　断面図

改修前　改修後

ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺　改修図

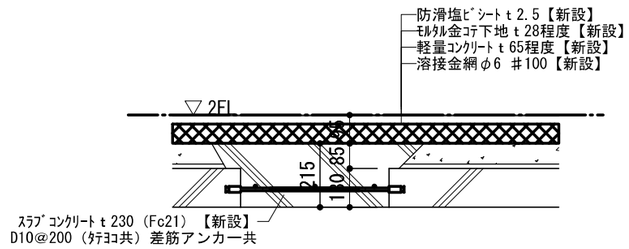


屋外階段　両開きﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　正面図



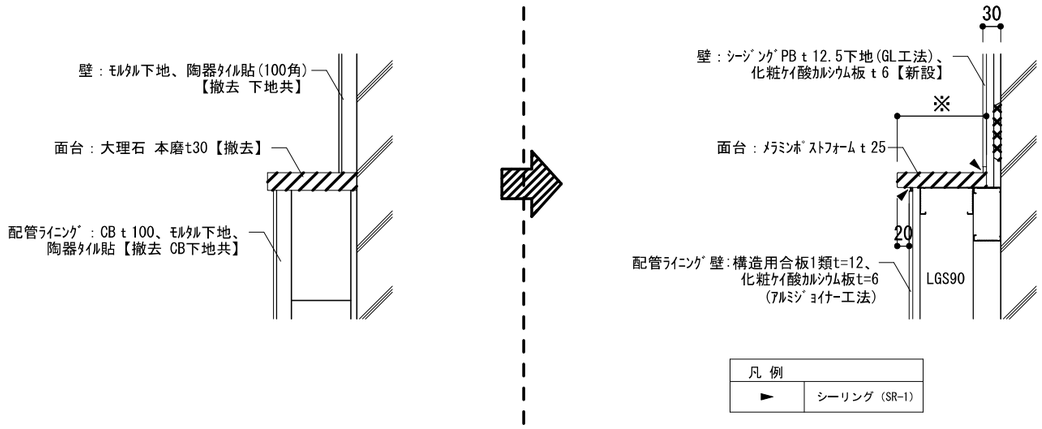
改修前

改修後



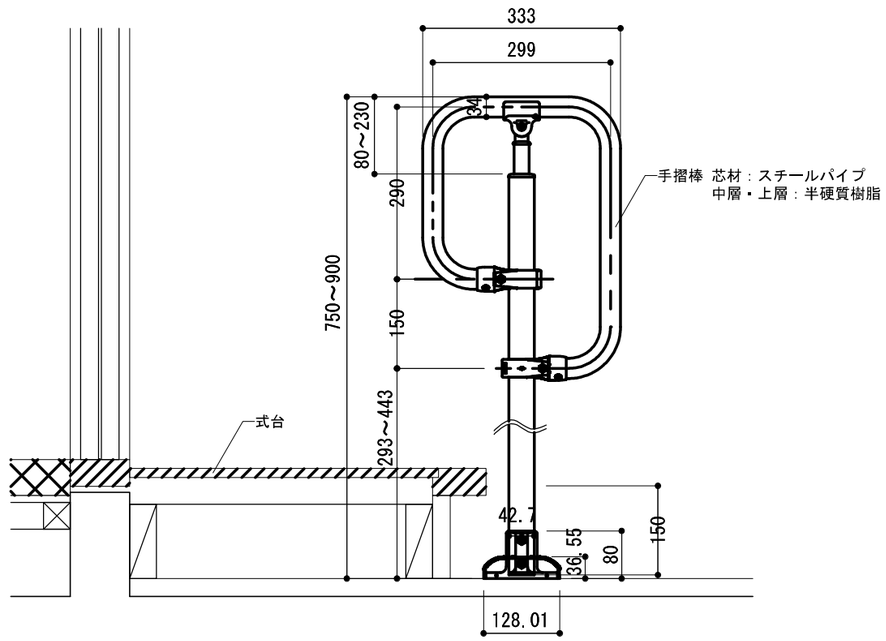
２階 便器改修詳細図　改修図

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者 一級建築士 №352551 田端進也	設計担当者 一級建築士 №352551 田端進也	SCALE A３ : 1/20 DATE R７，３	工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事 図面名称　雑詳細図（１）	A−44 原図：A3



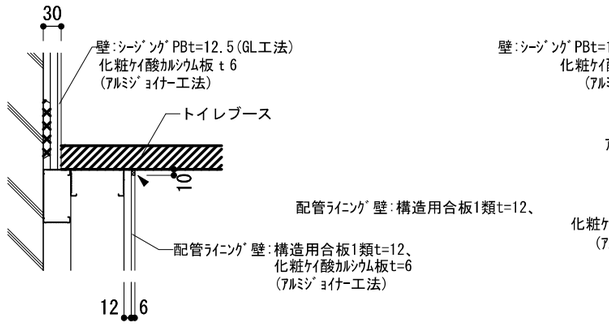
改修前　改修後

トイレ壁・配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ壁断面詳細図　改修図

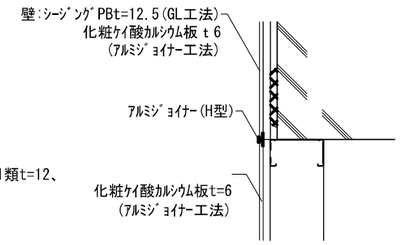


※手摺取付位置・手摺高の寸法等は監督職員に承認を得ること。
（マツ六株式会社　フリーＲレール　ベースプレート式　ｇ型スタンド 同等品以上）

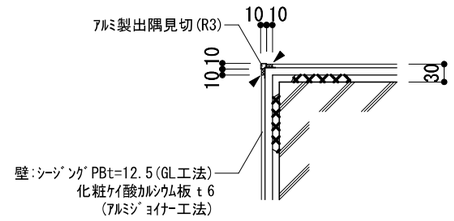
2階廊下　段差手摺【新設】　詳細図



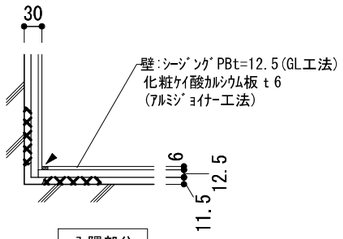
配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ・ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 取合い部分



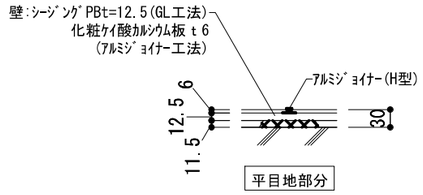
配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ・RC壁 取合い部分



出隅部分



入隅部分



平目地部分

凡 例

►	シーリング (SR-1)

トイレ 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目地 詳細図

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

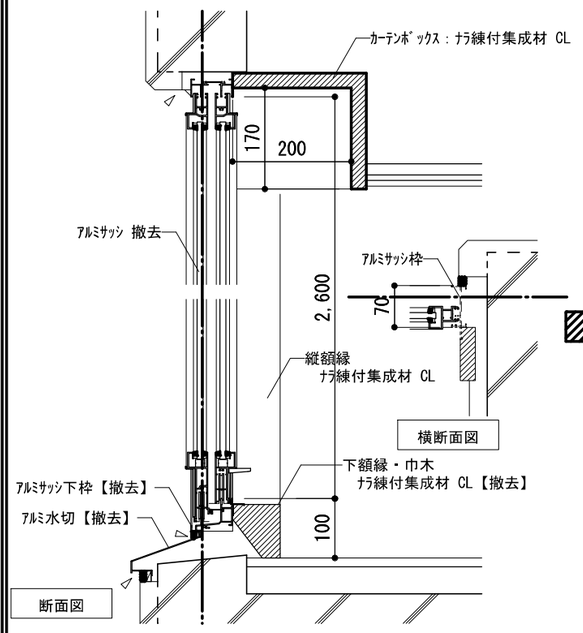
設計代表者	設計担当者
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也

SCALE A３ : 1/10
DATE R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　雑詳細図（２）

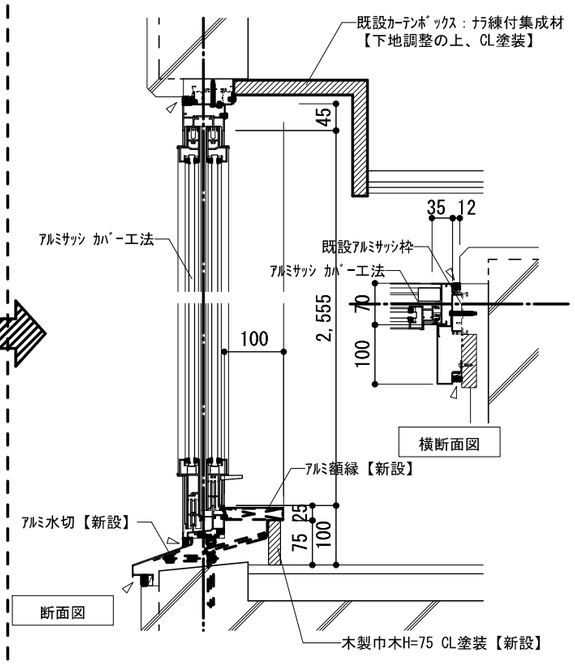
A−45
原図：A3

改修前



凡 例	
►	ｻｯｼ廻りシーリング撤去

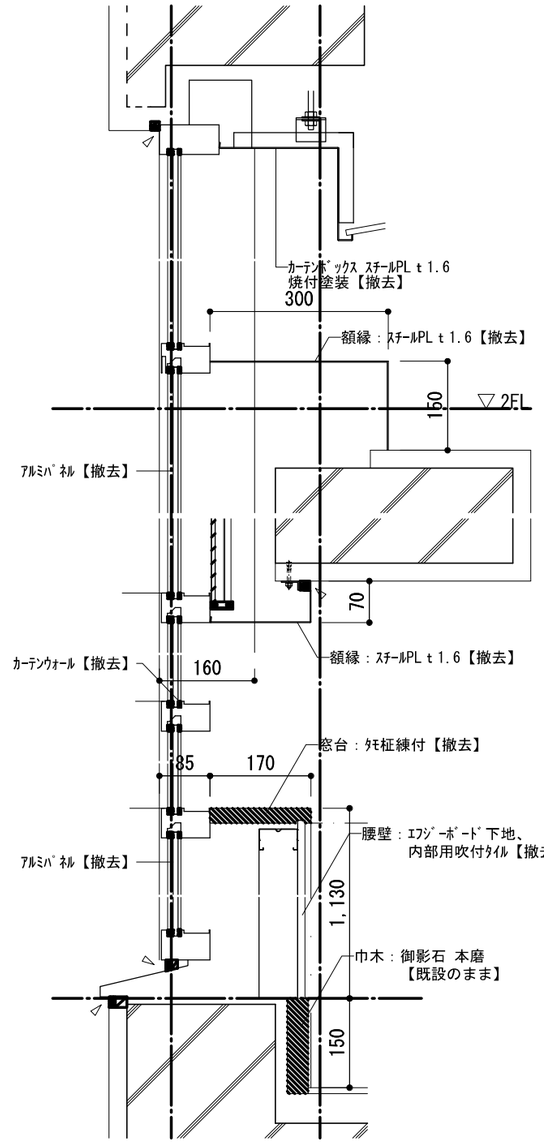
改修後



凡 例	
►	ｻｯｼ廻りシーリング MS-2

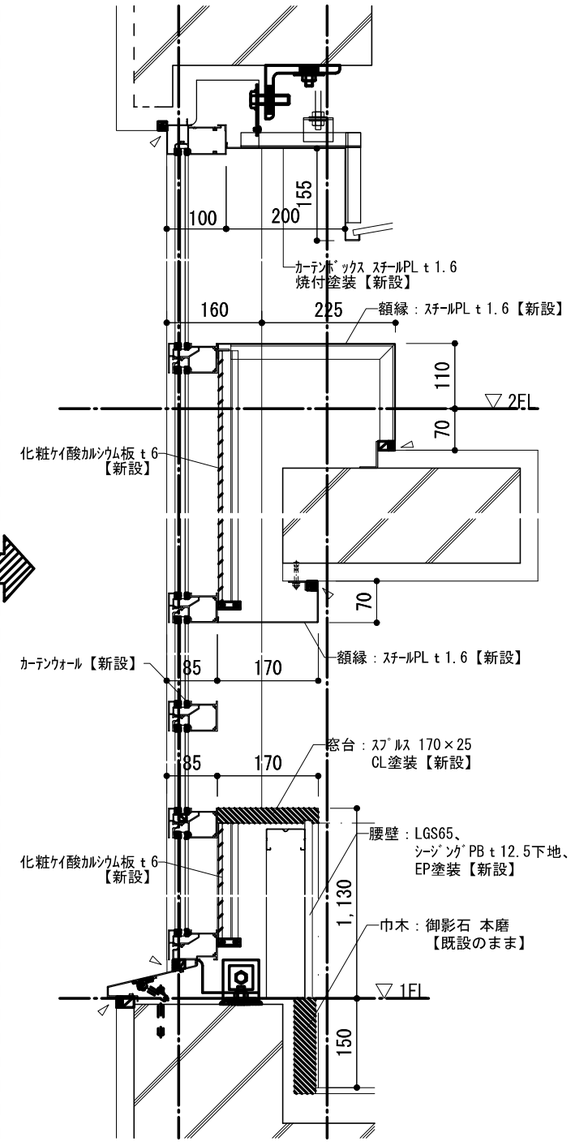
AW-6 建具断面詳細図

改修前



凡 例	
►	ｻｯｼ廻りシーリング撤去

改修後



凡 例	
►	ｻｯｼ廻りシーリング MS-2

CW-1 建具断面詳細図

備考	

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A−46
一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/10	図面名称	雑詳細図（３）	原図：A3
		DATE R７，３			

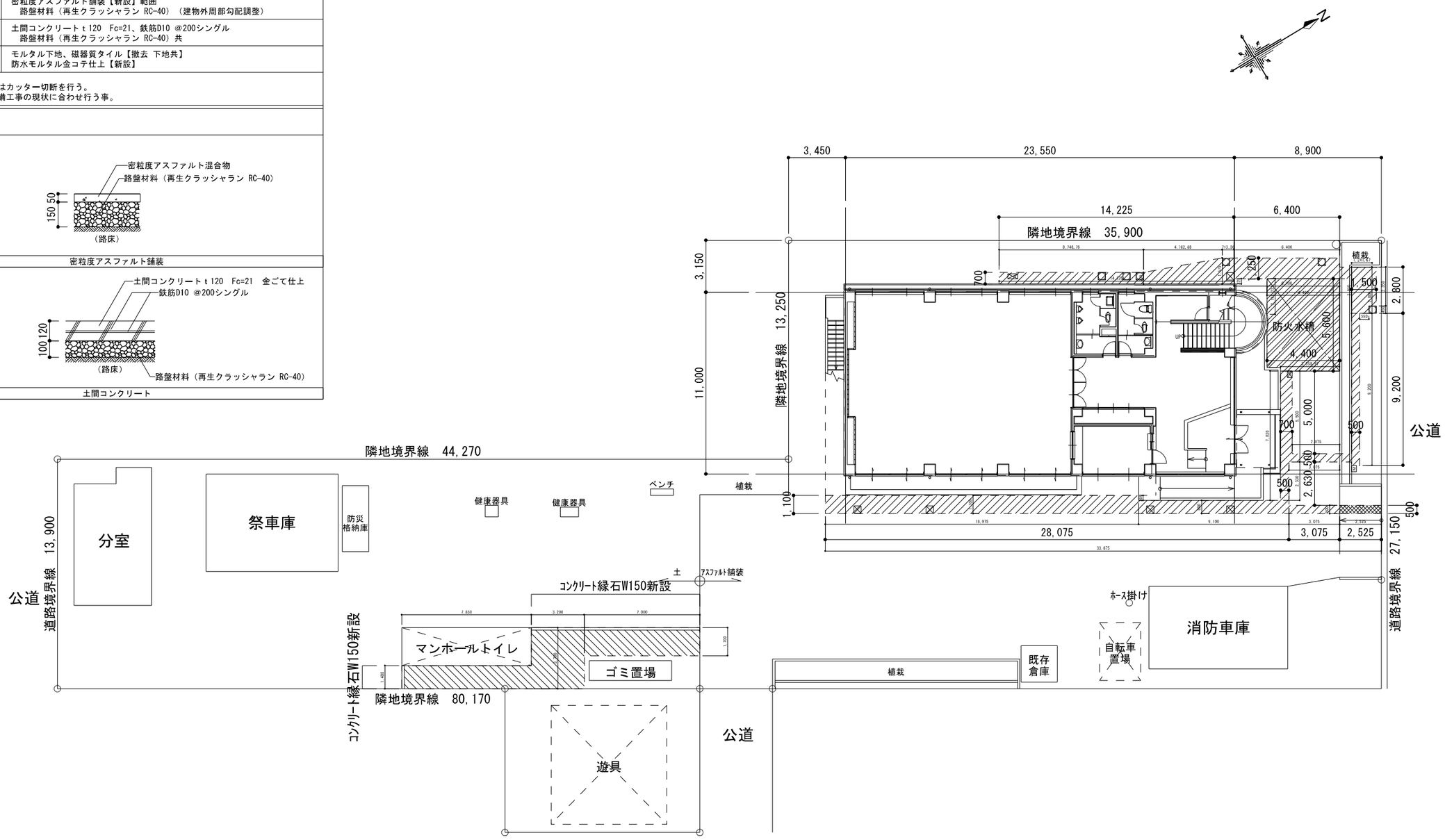
凡 例	
	密粒度アスファルト舗装【撤去】【新設】範囲 路盤材料（再生クラッシャラン RC-40）（建物外周部勾配調整）
	密粒度アスファルト舗装【新設】範囲 路盤材料（再生クラッシャラン RC-40）（建物外周部勾配調整）
	土間コンクリート t 120　Fc=21、鉄筋D10 @200シングル 路盤材料（再生クラッシャラン RC-40）共
	モルタル下地、磁器質タイル【撤去 下地共】 防水モルタル金コテ仕上【新設】

※注記
・舗装撤去範囲廻りはカッター切断を行う。
・舗装改修範囲は設備工事の現状に合わせ行う事。

舗装断面詳細

密粒度アスファルト舗装

土間コンクリート



備考		三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	天神公民館 長寿命化改修工事	A-47
		（株）田端隆建築設計	一級建築士 №352551 田端進也	一級建築士 №352551 田端進也	A３ : 1/250	図面名称	外構図	原図：A3
					DATE R７，１			

カーテン・ブラインドリスト

階	室名	種別					建具・サイズ				下端家具	カーテン・ブラインドボックス	カーテン	備　考
		遮光カーテン	レースカーテン	暗幕	ブラインド	ロールスクリーン	符号	数量	W	H		H	形式	
1F	事務室	撤去・新設	撤去・新設				AW-4	1	3680	1800	無	100	引分け	
					撤去・新設		AW-15	1	1600	1100	有	100	-	
	大会議室	撤去・新設	撤去・新設				AW-1	1	4080	2700	有	100	引分け	
		撤去・新設	撤去・新設				AW-2	2	3680	2700	有	100	引分け	
		撤去・新設	撤去・新設				AW-3	1	4080	1800	無	100	引分け	
		撤去・新設	撤去・新設				AW-4	2	3680	1800	無	100	引分け	
												100		
2F	ロビー		撤去・新設				AW-6(ﾎｰﾙ側)	1	1805	2600	有	100		2連引違窓でﾎｰﾙ側部分を改修
	小会議室		撤去・新設				AW-6(小会議室側)	2	1805	2600	有	100		2連引違窓で小会議室側部分を改修
			撤去・新設				AW-6	1	3680	2600	有	100		
	調理実習室		撤去・新設				AW-7	2	3680	1650	有	100		

特記事項

・カーテンレール、カーテンは特記なき限り、更新とする。
・カーテン、暗幕、ロールスクリーンはすべて 「防炎認定品」とする。
・カーテンレールは特記なき限り、シングルとする。
・カーテン、カーテンレールは引分けの場合、重ね長さ300mm確保すること。
・仕立て時は現地にて寸法実測のこと。
・下端家具「無」の場合は、額縁下より200mm程度下げること。
・V字ハンガーレール は、【一時取外し】【再取付】とする。

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第１－８６１　一級建築士 №３５２５５１ 田端 進也

設計代表者
一級建築士
№352551
田端進也

設計担当者
一級建築士
№352551
田端進也

SCALE
A３ : No Scale
DATE
R７，３

工事名称　天神公民館 長寿命化改修工事
図面名称　カーテン・ブラインドリスト

A−48
原図：A3